マニュアルについて

本製品に同梱されているマニュアルを紹介します。

安心してお使いいただくために

●パソコンをお取り扱いになるときに守っていただきたいこと

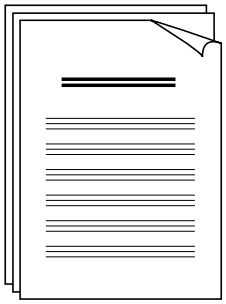
ご使用の前に必ずお読みください。

取扱説明書（本書）

●接続方法とWindowsのセットアップ
●ハードウェアについて
●パソコンの取り扱い
●再セットアップ
●困ったときのQ&A
●BIOSセットアップ

その他の説明、ご案内など

●保守サービスのご案内
●ソフトウェアの使用許諾書
●付属品チェックリスト
●保証書
など



もくじ

マニュアルについて 1
もくじ 2
はじめに 5
本書の読みかた 7

1章　パソコンの準備 9

1 同梱品の確認 10

2 各部の名称と機能 11

1 本体正面 11
2 本体背面 13
3 マウス 15

3 接続について 16

1 接続完成図 16
2 ディスプレイ（別売り）の接続 17
3 キーボードの接続 19
4 マウスの接続 19
5 電源への接続 20

4 初めて電源を入れるときは 21

1 電源を入れる 21
2 Windows XPのセットアップ 22
3 Windows 2000のセットアップ 28
4 ユーザ登録をする 35

2章　電源の入れかたと切りかた 37

1 電源の入れかた 38

2 電源の切りかた 39

1 Windows XPの場合 39
2 Windows 2000の場合 39

3 省電力機能について 40

1 省電力機能について 40
2 省電力モードについて 41
3 省電力モードへの移行（Windows XP） 42
4 省電力モードへの移行（Windows 2000） 44
5 省電力モードからの復帰 46

3章　ハードウェアについて 49

1 キーボード 50

2 CD-ROM ドライブ／ CD-R/RW ドライブ 52

3 フロッピーディスクドライブ 58

4 機器の拡張を行うときは 60

5 本体カバーの取りはずし／取り付け 62

6 オプションカード 67

7 増設ハードディスクドライブ 71

8 増設５型ドライブ 82

9 増設メモリ 86

10 内部ケーブルの接続 90

4章　パソコンの取り扱い 93

1 日常の取り扱いについて 94

2 内蔵バッテリの交換 99

5章　再セットアップ 101

1 再セットアップとは 102

2 再セットアップする 103

6章　困ったときは 107

1 困ったときのＱ＆Ａ 108

7章 BIOSセットアップ 117
1 BIOSセットアップとは 118
1 起動方法 118
2 操作方法 119
3 メインメニュー 120
2 BIOSを工場出荷時設定に戻すには 122
3 Standard CMOS Setupの詳細 126
4 Advanced CMOS Setupの詳細 128
5 Advanced Chipset Setupの詳細 131
6 Power Management Setupの詳細 134
7 PCI/Plug and Play Setupの詳細 138
8 Peripheral Setupの詳細 139
9 Hardware Monitor Setupの詳細 142
10 Auto-Detect Hard Disks 144
11 パスワードの設定 145

付録 147
1 製品仕様 148
2 各インタフェース 152
3 エラーメッセージ 160
4 技術基準適合について 162

トラブルチェックシート 163

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本書は本製品の基本的な取り扱いかたを説明しています。
本製品はご購入のモデルにより、システム（OS）が異なります。ご購入のモデルに対応した部分をお読みください。
本製品を安心してお使いいただくために重要な事項が添付の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

記載について

・本書に記載している画面は、表示例です。実際に表示される画面と異なる場合があります。

Trademarks

・Intel、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
・PS/2 は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
・Microsoft、MS-DOS、Windows、Bookshelf は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Bookshelf Basic は、次の書籍を基に制作されました。『新英和中辞典』第６版（c）研究社 1967, 1994, 1998、『新和英中辞典』第４版（c）研究社 1993, 1995, 1998、『新明解国語辞典』第５版（c）三省堂 1972, 1974, 1981, 1989, 1997
・Drag'n Drop CD はイージーシステムズジャパン株式会社と株式会社デジオンの商標です。
・Easy systems はイージーシステムズジャパン株式会社の登録商標です。
・DigiOn は株式会社デジオンの登録商標です。
・VERITAS は米国 VERITAS 社の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標または登録商標として使用している場合があります。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

お願い

- 記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスク）や、CD-R、CD-RW に記憶された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- 購入時に定められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- 本製品でサポートしているシステム（OS）は次のとおりです。
  ・Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版
  ・Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
  上記以外のシステム（OS）は動作の保証を行っておりません。

お使いになる前に本体同梱の東芝パソコンお客さま登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。
保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

参照マニュアル

- 本製品で使用するオペレーティングシステム（OS）の説明については、各システムに付属の『ファーストステップガイド』または『クイックスタートガイド』または『Windows のヘルプ』をご覧ください。
- ご購入のモデルによって、次のアプリケーションをご用意しています。
  ・Microsoft® Office XP Personal
  ・Drag'n Drop CD
  それぞれの説明については、それぞれの『アプリケーションソフトに付属の説明書』をご覧ください。

本書の読みかた

記号の意味

警 告 ・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示しています。

注 意 ・誤った取り扱いをすると、人が傷害*1を負う可能性、または、物的損害*2のみが発生する可能性のあることを示しています。

＊1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさす。

＊2：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害をさす。

・データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。

・知っておくと便利なことを説明しています。

☞ 参照先を示しています。
本書内の参照先は「　　」で示し、他の説明書の参照先は『　　』で示しています。

（注） 補足説明をしています。

画面の表しかた

画面の全部、または一部を表します。

【例】

Total = XXXX KB

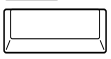
このように画面上または本文中の文字を X で表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを□で囲んで示しています。

Y キーを押す ..... を押してください。

1 キーを押す ..... を押してください。

Space キーを押す .....  を押してください。

操作の表しかた

操作や作業は、次のように示します。

【例】
操作が１つで済む場合は、次のように示します。

Y キーを押す

キーを「＋」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

Ctrl ＋ Alt ＋ Delete キーを押す

Ctrl キーと Alt キーを押したまま Delete キーを押します。

用語について

本書では、次の用語について定義します。

システム ..... 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム（OS）を示します。

Windows XP ..... Microsoft® Windows®XP Professional operating system 日本語版を示します。

Windows 2000 ..... Microsoft® Windows®2000 Professional operating system 日本語版を示します。

Windows ..... Windows XP、Windows 2000 を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
..... アプリケーションソフトウェアを示します。

CD-ROM モデル ..... CD-ROM ドライブが内蔵されているモデルを示します。

CD-R/RW モデル ..... CD-R/RW ドライブが内蔵されているモデルを示します。

アプリケーションモデル ... Microsoft® Office XP Personal がプレインストールされているモデルを示します。

1

パソコンの準備

本章では、パソコンの電源を入れる前に、必要な準備と
「Windows セットアップ」について説明します。

1 同梱品の確認 10

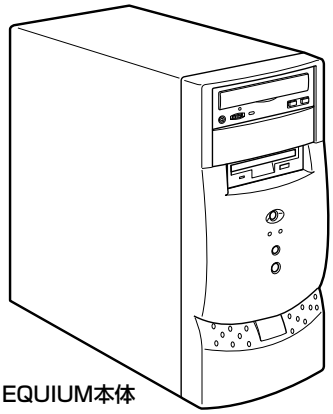
2 各部の名称と機能 11

3 接続について 16

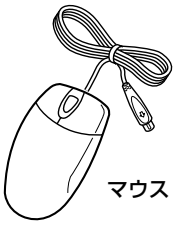
4 初めて電源を入れるときは 21

1 同梱品の確認

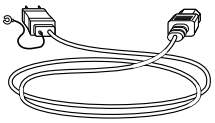
主な同梱物を次にあげます。添付の『付属品チェックリスト』にて梱包箱の中の付属品をご確認ください。
万一、本製品に不都合な点が生じた場合は、東芝営業窓口または、『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションまでご連絡ください。



EQUIUM本体

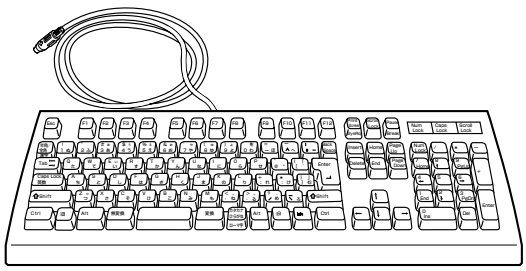


マウス

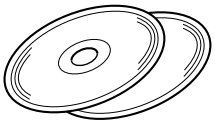


電源コード

増設5型ドライブ
専用取り付けネジ



キーボード



リカバリ用CD-ROMなど
詳細は『付属品チェックリスト』をご覧ください。

(注) 同梱されているマニュアルについては、巻頭の「マニュアルについて」をご覧ください。また、この他にも、同梱物があります。『付属品チェックリスト』をご覧ください。

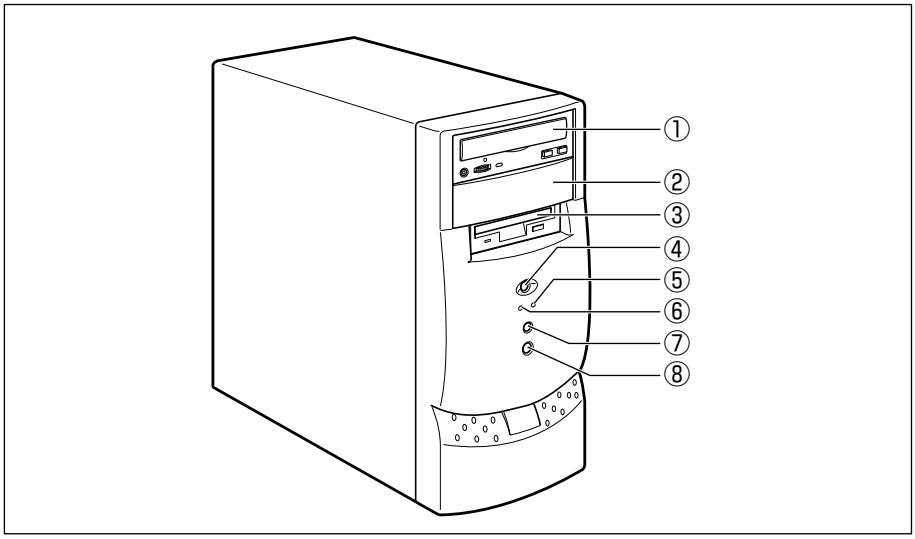
メモ

・アプリケーションCDには、本製品でご利用になれるドライバおよびアプリケーションが入っています。詳細については、アプリケーションCDをCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブにセットし、表示される初期画面をご覧ください。
・システムをWindows 2000から、Windows XPに変更する場合は、同システムの市販品の購入が必要です。本製品に対応のドライバは東芝PC総合情報サイト［http://dynabook.com/］に掲載予定です。ただし、対応可能な機能には制限があります。

2 各部の名称と機能

1 本体正面

＊イラストは、CD-ROM モデルです。



①CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブ

ご購入のモデルによって異なります。

☞「3 章 2 CD-ROM ドライブ／ CD-R/RW ドライブ」

②ファイルスロット

5 型タイプの周辺装置などを増設できます。

☞「3 章 8 増設 5 型ドライブ」

③フロッピーディスクドライブ

フロッピーディスクドライブが使用できます。

☞「3 章 3 フロッピーディスクドライブ」

④スリープスイッチ

パソコン本体の省電力モードと通常モードを切り替えます。

☞ 省電力モードについて ➪「2 章 3 省電力機能について」

⑤電源ランプ

電源が ON のとき緑色に点灯します。

パソコン本体が省電力モード（システムのスタンバイ）のときは橙色に点灯します。

☞ 電源ランプの詳細 ➪「2 章 3 省電力機能について」

お願い

・ディスプレイの画面が真っ暗でも、電源ランプが橙色に点灯している時はスタンバイです。作成中のデータが消失するおそれがあるので、電源スイッチを押さないでください。

⑥HDD アクセスランプ

ハードディスクドライブの読み書きが行われているときに緑色に点灯します。

⑦リセットスイッチ RESET

システムの再起動を行います。

・正常に動作しているときは押さないでください。システムがロックした（キーボードやマウスからの入力を受け付けない）場合のみ使用してください。保存していないデータは消えてしまいます。

・通常の再起動は、［スタート］-［終了オプション］または［シャットダウン］をクリックし、［再起動］を選択して行います。

⑧電源スイッチ ⏻

パソコン本体の電源を入れるためのスイッチです。

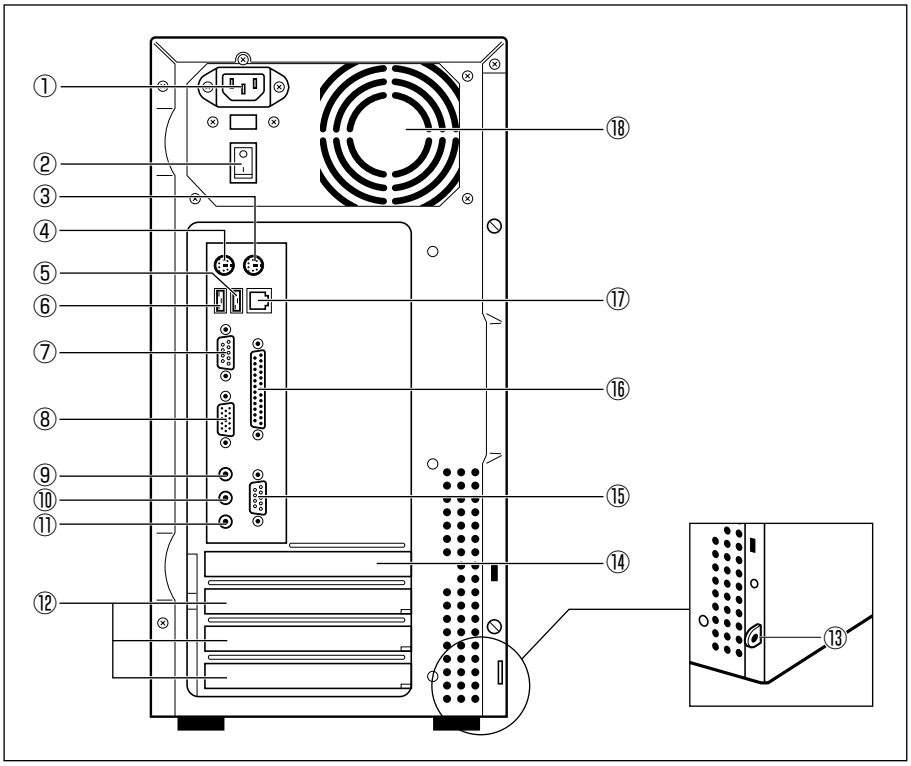
電源を入れるときは、電源スイッチを押し、電源ランプが点灯したことを確認してから離します。

☞「2 章 電源の入れかたと切りかた」

⚠ 注 意　・スイッチ類を強く押し込まないでください。
本体が壊れるおそれがあります。
通常モードから省電力モードへの切り替えおよび省電力モードの解除には、多少時間がかかります（システムの状態によって異なります）。

☞ 省電力モードについて ➪「2 章 3 省電力機能について」

② 本体背面



①電源コネクタ（AC POWER INLET）
電源コードを接続します。
☞「本章 3-5 電源への接続」

②AC スイッチ
AC 電源の接続、切断を行います。

③マウスコネクタ
付属の PS/2 マウスを接続します。
☞「本章 3-4 マウスの接続」

④キーボードコネクタ
付属のキーボードを接続します。
☞「本章 3-3 キーボードの接続」

⑤USB コネクタ 1
USB1.1 対応機器が接続できます。

⑥USB コネクタ 2
USB1.1 対応機器が接続できます。

⑦シリアルコネクタ 1（RS-232C、COM1）
外付けモデムなどが接続できます。

⑧アナログ RGB コネクタ

ディスプレイを接続します。

☞「本章 3-2 ディスプレイ（別売り）の接続」

⑨LINE OUT 端子

3.5 φ mm ステレオミニジャックタイプのスピーカが接続できます（本製品にはスピーカは付属していません。アンプ付きスピーカをお買い求めください）。

⑩LINE IN 端子

3.5 φ mm モノラルミニジャックタイプのオーディオ機器などが接続できます。

⑪マイク端子

3.5 φ mm モノラルミニジャックタイプのマイクが接続できます（本製品にマイクは付属していません。パソコン用コンデンサマイクをお買い求めください）。

⑫PCI スロット

PCI 対応カードが取り付けられます。

☞「3 章 6 オプションカード」

⑬セキュリティロックスロット

盗難／カバー開閉防止用に、鍵などを取り付けることができます。

⑭AGP スロット

AGP スロット用表示カードが取り付けられます。

☞「3 章 6 オプションカード」

⑮シリアルコネクタ 2（RS-232C、COM2）

外付けモデムなどが接続できます。

⑯パラレルコネクタ（プリンタ）

プリンタが接続できます。

プリンタ以外でも、セントロニクスインタフェース仕様のケーブルが取り付けられます。

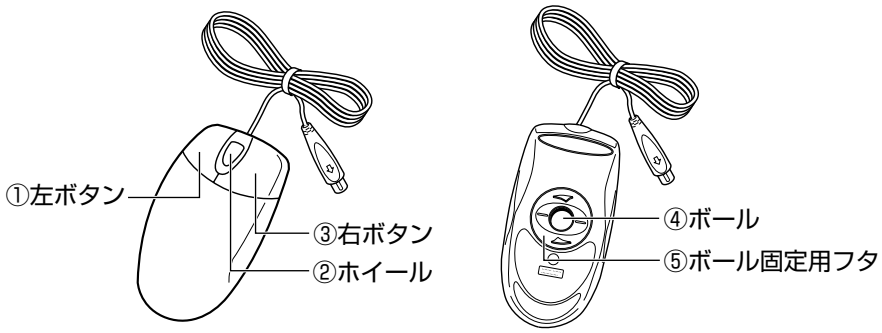
⑰LAN コネクタ

ネットワークケーブルを接続します。ネットワーク管理者の指示に従って、ネットワークの設定を行ってください。

⑱通風孔

本製品内部で発生する熱を放出します。ふさがないでください。

3 マウス



①左ボタン
文字やアイコンを選択することができます（アプリケーションにより、機能が異なります）。

②ホイール
画面のスクロールなどができます（ホイール付きマウス対応のアプリケーションで使用できます）。

③右ボタン
操作を取り消したり、文字やアイコンのコピーを行います（アプリケーションにより、機能が異なります）。

④ボール
マウスの中に入っています。ボールが転がる方向に合わせて画面上のポインタが移動します。

⑤ボール固定用フタ
ボールが飛び出さないように押さえているフタです。マウスのお手入れのときのみ、取りはずしてください。

3 接続について

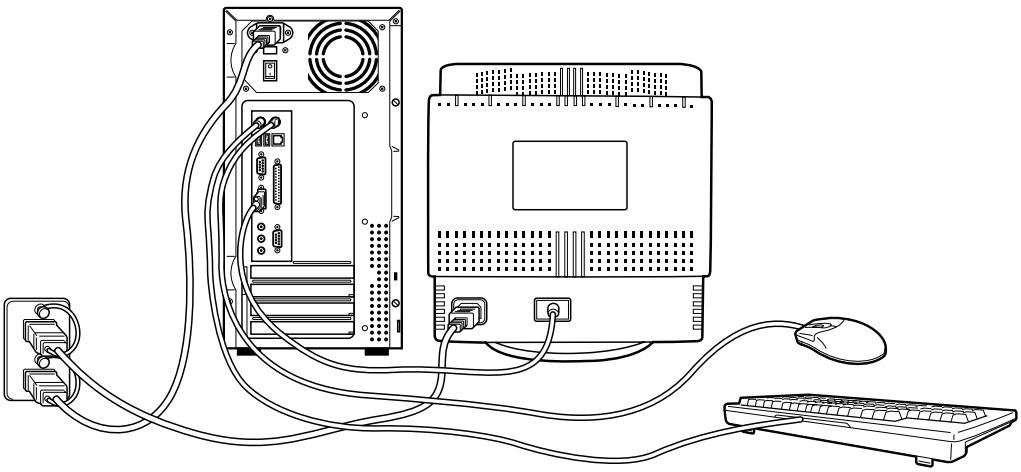
ケーブル類を接続する際には、次のことにご注意ください。

- 本体および接続する機器の電源を切る
- ケーブル類の取り付け／取りはずしは、必ずコネクタを持って行う
- コネクタの形状に注意して挿入し、コネクタに固定ネジがある場合はしっかりと固定する
- 次のものはシステムのセットアップが終了してから接続する
  - ・LAN ケーブル
  - ・増設メモリ
  - ・プリンタなどの周辺機器

注 意　・ケーブル類を本体に接続した状態で、ケーブル類に無理な力を加えないでください。ケーブル類の破損および、本体の故障の原因となります。

1 接続完成図

EQUIUM を接続した例を次に示します。



（注）EQUIUM にディスプレイは同梱されておりません。

② ディスプレイ（別売り）の接続

接続の際は『ディスプレイに付属の説明書』をご覧のうえ、作業を行ってください。
ディスプレイは必ず接続してください。

お願い

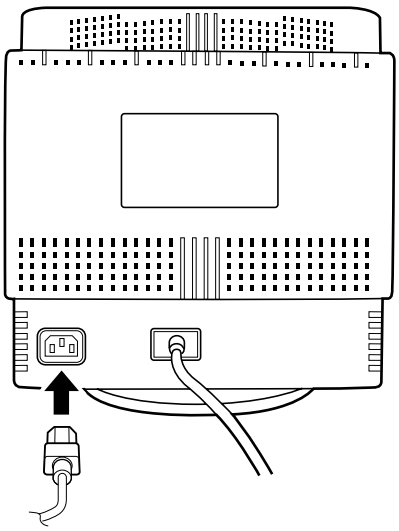
・電源コードは、必ず付属の電源コードをお使いください。
市販の電源コードや他の電気製品の電源コードには、形状が同じでも定格電圧・電流が異なるものがあります。
・電源コードのプラグから出ているアース線は、安全のため必ずアース端子に接続してください。万一漏電した場合の感電を防止します。
・電源コードを接続する場合は、(1)アース線、(2)プラグの順に行ってください。

アナログ RGB ディスプレイの接続

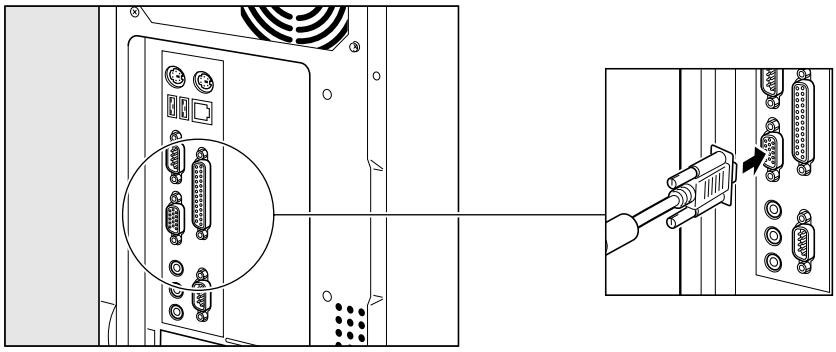
取り付け

1 ディスプレイの電源、本体の電源が切れていることを確認する

2 電源コードをディスプレイ背面にある電源コネクタに差し込む



3 信号ケーブルコネクタを本体背面のアナログ RGB コネクタに接続し、固定用ネジを手で回して固定する

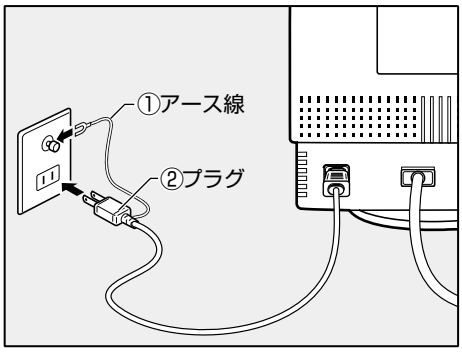


お願い

・固定用ネジは、必ず手で回して固定してください。ドライバなどを使用すると固定用ネジが破損するおそれがあります。

4 電源コードのアース線をアース端子に接続する①

5 電源コードのプラグを電源コンセント(AC100V)に差し込む②



注 意 ・AC100V 以外のコンセントには差し込まないでください。

取りはずし

信号ケーブル、電源コードを、ディスプレイから取りはずす場合は、ディスプレイの電源と本体の電源が切れていることを確認し、取り付けと逆の手順を行ってください。
電源コードを取りはずす場合は、プラグ→アース線の順に行ってください。

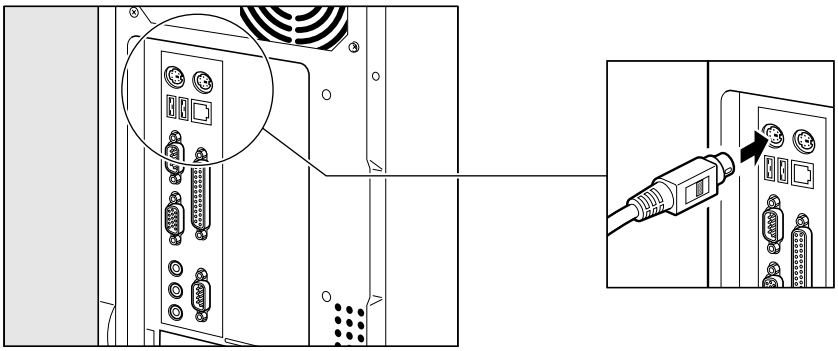
注 意 ・信号ケーブルを本体から取りはずす場合は、信号ケーブルコネクタの固定用ネジを手でゆるめ、固定用ネジがアナログ RGB コネクタから完全にはずれた状態で行ってください。
固定用ネジがアナログ RGB コネクタに接続された状態で、信号ケーブルに無理な力を加えると、信号ケーブルの破損、および、本体の故障の原因となります。

③ キーボードの接続

⚠ 注 意 ・キーボードの接続は、本体の電源が切れている状態で行ってください。
本体の電源が入った状態で接続すると、本体の故障の原因となります。

1 **キーボードのプラグを本体背面のキーボードコネクタ に差し込む**

キーボードは、プラグに刻印されているキーボードマークを右にして、しっかりと奥まで差し込んでください。

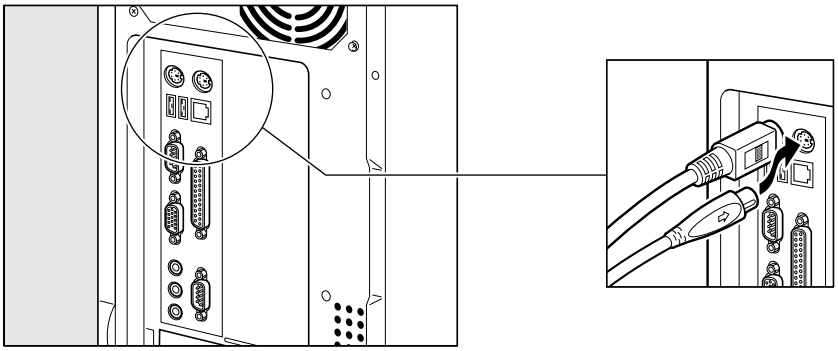


④ マウスの接続

⚠ 注 意 ・マウスの接続は、本体の電源が切れている状態で行ってください。
本体の電源が入った状態で接続すると、本体の故障の原因となります。

1 **マウスのプラグを本体背面のマウスコネクタ に差し込む**

マウスは、プラグに刻印されている矢印マークを右にして、しっかりと奥まで差し込んでください。



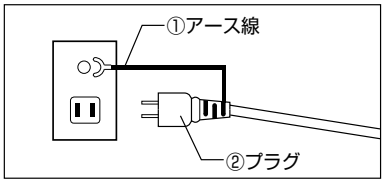
5 電源への接続

空調機や複写機などの高い消費電力を必要としたり、ノイズを発生させる機器と同じコンセントから電源を取らないでください。

定格電圧	AC100V（50Hz／60Hz）
消費電力	最大200W

注 意
・電源コードは付属のアース線付き２ピンコードを使用してください。
・アース線は感電を防止するための電線です。コンセントのアース端子に接続しておくと、万一漏電した場合の感電を防止します。安全のために必ず接続してください。

お願い
・電源コードの接続は、最後に行ってください。
・電源コードの接続は、①アース線、②プラグの順に行ってください。取りはずす場合は、取り付けと逆の順番（プラグ→アース線）で行ってください。
・コンセントから抜くときは必ず差し込みプラグを持って引き抜いてください。
・コードの上に重いものを載せないでください。
・コードを無理に曲げたり、ねじったり、結んだり、つぎ足したりしないでください。
・熱器具に触れないよう、十分な距離をとってください。

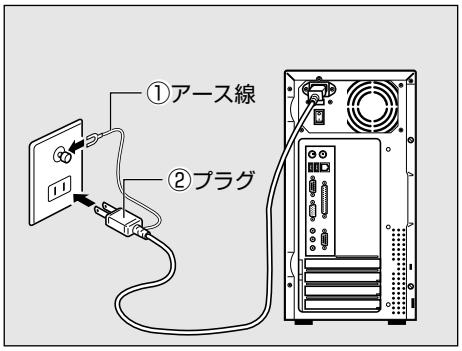


1 ディスプレイの電源が切れていることを確認する

2 電源コードのプラグを本体背面の電源コネクタに差し込む

3 電源コードのアース線をアース端子に接続する①

4 電源コードのプラグを電源コンセント（AC100V）に接続する②



④ 初めて電源を入れるときは

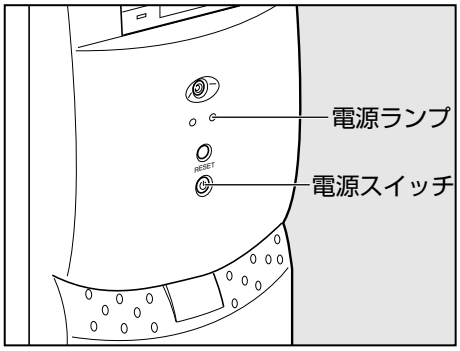
① 電源を入れる

1 ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を入れる

2 本体背面の AC スイッチを ON にする

3 本体前面の電源スイッチ ⏻ を押す

電源ランプ（本体前面の緑色のランプ）が点灯します。本製品は自動的に電源 ON 時にセルフテストを実行します。



パソコン本体の電源を初めて入れるときは、Windows が使えるようにするために、「Windows セットアップ」という操作が必要です。
1 度 Windows のセットアップをすれば、以降は、電源を入れるとすぐに Windows を使用することができます。
本製品には、次のモデルがあります。

・Windows XP モデル
・Windows 2000 モデル

セットアップの方法はシステムによって異なります。ご購入のモデルを確認のうえ、システムに応じたセットアップ手順をご覧ください。

セットアップをするときのご注意

注 意

- **マウスとキーボードが接続されていることを確認してください。接続していないと、セットアップを行うことができません。**
- **増設メモリやオプションカードを取り付けたり、プリンタなどを接続していると、正しくセットアップできない場合があります。ディスプレイやマウス、キーボード以外の周辺機器の取り付けや接続はシステムのセットアップ終了後に行ってください。**
- **セットアップを行うときは、LAN ケーブルは接続しないでください。LAN ケーブルが接続されていると、ネットワークの設定が既定値（default）のままネットワークに接続してしまうため、ネットワークに障害をもたらす場合があります。**
- **システムのセットアップ中は、絶対に電源を切らないでください。**
- **やむをえない場合以外は、セットアップ中にキャンセルしないでください。正しくセットアップできない場合があります。**

お願い

- ケーブル類が確実に接続されていることを、もう 1 度確認してください。
- セットアップを行わないと、あらかじめインストールされているシステム（Windows XP ／ 2000）やアプリケーションを使用することはできません。

・15 分以上キーを押さない（マウスの操作も含む）場合、省電力機能がはたらき、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。Shift キーなどを押すと画面が表示されます。また、電源ランプが橙色に点灯しているとき（スタンバイ状態）は、スリープスイッチを押す、マウスを操作する、または、キーボードから入力すると画面が表示されます。
・リカバリ CD で再セットアップ（システムの復元）を行った場合にも、「Windows セットアップ」の作業が必要です。

② Windows XP のセットアップ

Windows XP のセットアップでは、次のことを行います。

- マイクロソフト 使用許諾契約書（Windows のライセンス）への同意
  マイクロソフト 使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、［同意します］を選択しないと、Windows を使用することはできません。
- 管理者パスワードの設定
  Administrator のパスワードを入力します。
- ユーザ名の設定
  ユーザ名の設定を行います。

ネットワークに接続する設定は、セットアップ完了後に行えますので、ここでは省略した場合の手順を説明します。
ネットワークの設定を行う場合は、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

・Product Key がパソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。
Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、はがしたり傷つけたりなどして、絶対になくさないでください。再発行はできません。
紛失した場合、マイクロソフト社からの保守サービスが受けられなくなります。

セットアップ時の画面について

セットアップの途中で［インターネットに接続する方法を指定してください］画面が表示された場合は、［省略］ボタンをクリックして次の画面に進んでください。

セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行ってください。
初めて電源を入れると、［Microsoft Windows へようこそ］画面が表示されます。

メモ

・Windows セットアップのヘルプを表示するには、画面右下の ? ボタンをクリックするか F1 キーを押します。

1 ［次へ］ボタンをクリックする

［使用許諾契約］画面が表示されます。

2 画面下部の［同意します］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする

契約の内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックして画面をスクロールさせてください。

なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

メモ

・［同意しません］を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

［コンピュータに名前を付けてください］画面が表示されます。

3 ［省略］ボタンをクリックする

［管理者パスワードを設定してください］画面が表示されます。

4 [管理者パスワード] にパスワードを入力する

Administrator と呼ばれる管理者のユーザアカウントでは、コンピュータにフルアクセスできます。

パスワードには半角の英数文字および記号を使用することができます。

お願い

・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。
例えば「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

5 [パスワードの確認入力] にもう 1 度パスワードを入力し、[次へ] ボタンをクリックする

[このコンピュータをドメインに参加させますか？] 画面が表示されます。

6 [いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

[インターネット接続が選択されませんでした] 画面が表示されます。

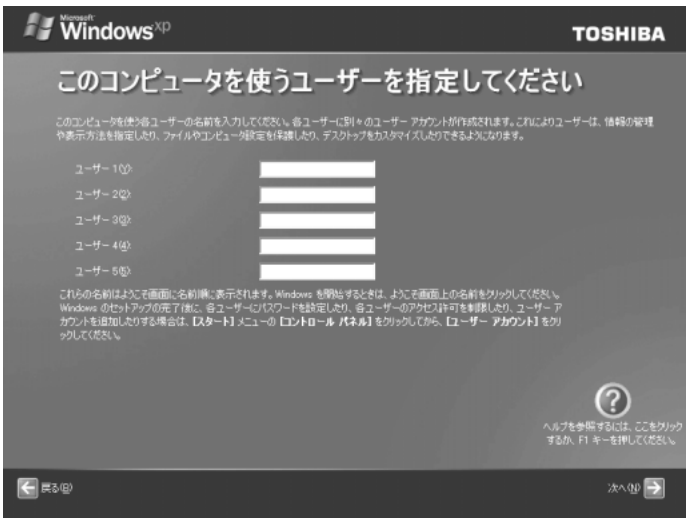
7 [省略] ボタンをクリックする

[Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？] 画面が表示されます。

8 [いいえ、今回はユーザー登録しません] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

マイクロソフト社へのユーザ登録は、セットアップ完了後に行えますので、ここでは省略した場合について説明します。

[このコンピュータを使うユーザーを指定してください] 画面が表示されます。



9 [ユーザー 1] 欄に使う人の名前を入力する

Windows XP では複数（5 人まで）のユーザを設定し、それぞれのユーザごとに別々の環境を構築できますが、ここでは 1 人の名前だけ入力した場合について説明します。

「｜」（カーソル）が表示されている位置から文字などを入力できます。

メモ

・ひらがなや漢字の入力のしかた
標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。
例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 N A K A T A とキーを押す
“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、BackSpaceキーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、Enterキーを押す
“なかた”で確定されます。
漢字に変換する場合はSpaceキーを押し、目的の漢字が表示されたら、Enterキーを押す
Spaceキーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。Enterキーを押すと、選択した漢字で確定します。

10 [次へ] ボタンをクリックする

［設定が完了しました］画面が表示されます。

11 [完了] ボタンをクリックする

Windowsのセットアップが終了してパソコンが再起動し、デスクトップ画面が表示されます。

メモ

・ご購入時のパーティション設定は、約半分の領域がCドライブ（NTFS）に設定されています。残りの領域をドライブとして使用するには、「ディスクの管理」を使用してください。
・東芝とマイクロソフト社へのユーザ登録を行ってください。
☞ ユーザ登録 ➪「本節 4 ユーザ登録をする」

Windowsの使いかた

Windowsの使いかたについては、『Microsoft Windows XP Professional ファーストステップガイド』、または［スタート］-［ヘルプとサポート］をクリックして、『ヘルプとサポートセンター』をご覧ください。

3 Windows 2000のセットアップ

Windows 2000のセットアップでは、次のことを行います。

- マイクロソフト 使用許諾契約書（Windowsのライセンス）への同意
  マイクロソフト 使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、［同意する］を選択しないと、Windowsを使用することはできません。
- ユーザ情報の登録
  名前、会社名または組織名（省略可能）を登録します。
- コンピュータ名の指定
  使用するコンピュータ名とAdministratorのパスワードを入力します。
  コンピュータ名の付けかたに関しては、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 日付と時刻の設定
  ［日付と時刻の設定］画面でパソコンの日付と時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。
- ネットワークの設定
  ワークグループまたはドメイン名の設定を行います。
  ネットワークの設定は、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

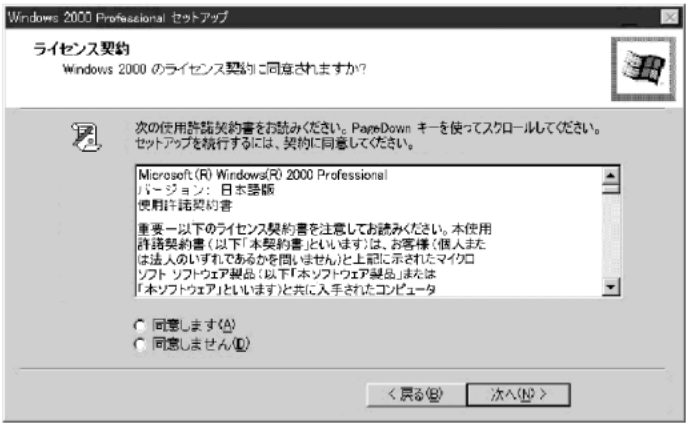
・Product Keyがパソコン本体に貼られているMicrosoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。
Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、はがしたり傷つけたりなどして、絶対になくさないでください。再発行はできません。
紛失した場合、マイクロソフト社からの保守サービスが受けられなくなります。

セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行ってください。
初めて電源を入れると、［Windows 2000 セットアップウィザードの開始］画面が表示されます。

1 ［次へ］ボタンをクリックする

［ライセンス契約］画面が表示されます。
契約の内容を必ずお読みください。
表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか、PageUpキー／PageDownキーを使って、画面をスクロールさせてください。
なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



2 画面下部の［同意します］をチェックして［次へ］ボタンをクリックする

メモ

・［同意しません］を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

［ソフトウェアの個人用設定］画面が表示されます。

3 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。組織名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後Tabキーを押します。

メモ

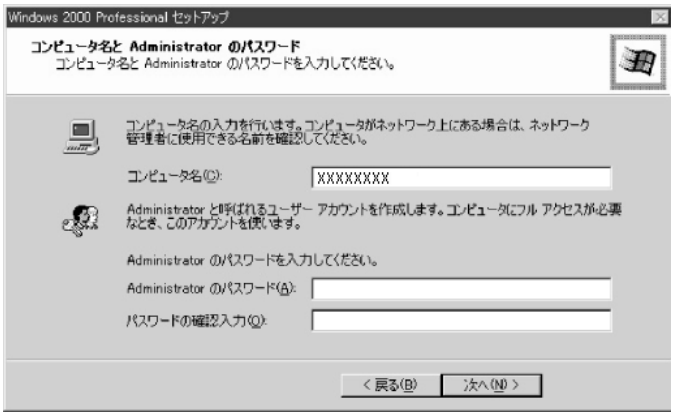
・日本語入力システムが起動しています。
ひらがなや漢字の入力のしかた
標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。
例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 N A K A T A とキーを押す
“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、BackSpace キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、Enter キーを押す
“なかた”で確定されます。
漢字に変換する場合はSpace キーを押し、目的の漢字が表示されたら、Enter キーを押す
Space キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。Enter キーを押すと、選択した漢字で確定します。

4 [次へ] ボタンをクリックする

[コンピュータ名と Administrator のパスワード] 画面が表示されます。



5 コンピュータ名と Administrator のパスワードを入力する

コンピュータ名の付けかたに関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Administrator と呼ばれるユーザ名を作成します。コンピュータにフルアクセスする場合に使用します。パスワードには半角の英数文字および記号を使用することができます。

お願い

・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。
例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

6 [次へ] ボタンをクリックする

[日付と時刻の設定] 画面が表示されます。

7 [日付と時刻] の設定をする

日付と時刻を確認します。

タイムゾーンで「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていることを確認します。「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていない場合は▼ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

8 [次へ] ボタンをクリックする

[ネットワークの設定] 画面が表示されます。

9 ネットワークの設定をする

ネットワークの設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。

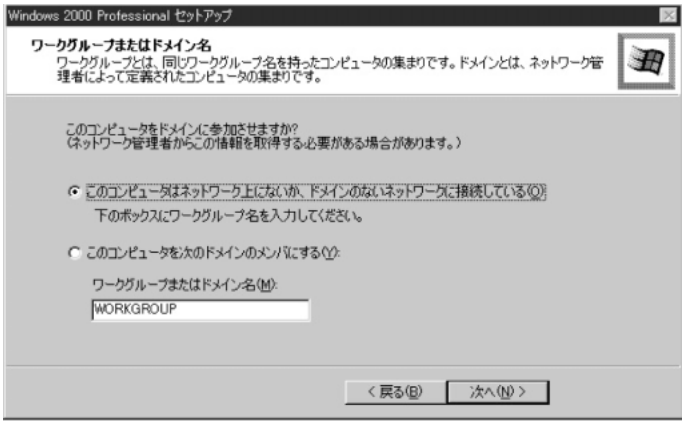
標準設定またはカスタム設定のどちらかを選択してください。

お願い

・お使いのネットワーク環境によって設定が異なりますので、ネットワークの設定は必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

10 [次へ] ボタンをクリックする

[ワークグループまたはドメイン名] 画面が表示されます。



11 ワークグループまたはドメイン名の設定をする

ワークグループまたはドメイン名の設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。
ワークグループまたはドメインのどちらかを選択してください。
選択後、[ワークグループまたはドメイン名] にワークグループ（ドメイン）名を入力してください。

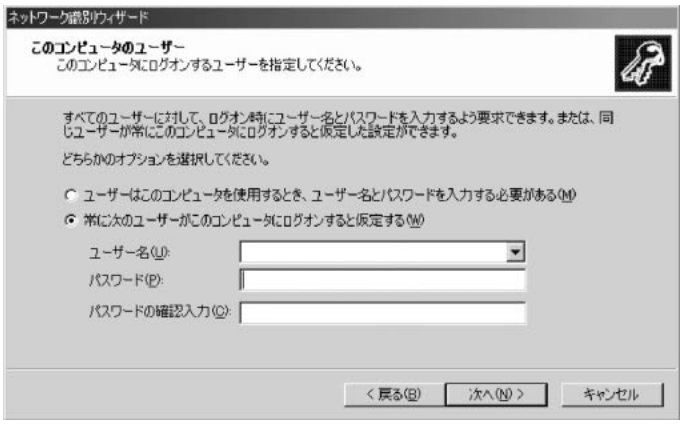
・お使いのネットワーク環境によって設定、およびワークグループ（ドメイン）名が異なります。必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

12 [次へ] ボタンをクリックする

設定を保存後、再起動します。再起動後に［ネットワーク識別ウィザードの開始］画面が表示されます。ここで、コンピュータをネットワークに接続する手続きをします。

13 [次へ] ボタンをクリックする

[このコンピュータのユーザー] 画面が表示されます。



14 ユーザの設定をする

このコンピュータで使用するユーザを指定します。

- 「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」
  ..... 指定したユーザでパスワードを入力してからログオンします。
- 「常に次のユーザーがコンピュータにログオンすると仮定する」
  ..... 指定したユーザで自動的にログオンします。
  ここで指定できるユーザは手順３で入力した名前、あるいは Administrator です。
  ▼ボタンをクリックして選択してください。

15 [次へ] ボタンをクリックする

[ネットワーク識別ウィザードの終了] 画面が表示されます。

16 [完了] ボタンをクリックする

Windows 2000のセットアップを完了しました。

手順14で「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき…」を選択した場合、[Windowsへログオン]画面が表示されます。Administratorのパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックすると、Administratorでログオンし、[Windows 2000の紹介]画面が表示されます。

手順14で「常に次のユーザーがコンピュータに…」を選択した場合、指定されたユーザ（Administratorまたは例：中田）で自動的にログオンし、[Windows 2000の紹介]画面が表示されます。

メモ

・[Windows 2000の紹介]の下部にあるチェックボックス（スタートアップ時にこの画面を表示）をクリックしてチェックを解除すると、次にWindows 2000が起動したときは[Windows 2000の紹介]は表示されません。

☞ [Windows 2000の紹介]画面を再表示する方法 ➪『Windows 2000のヘルプ』

・ご購入時のパーティション設定は、約半分の領域がCドライブ（NTFS）に設定されています。残りの領域をドライブとして使用するには、「ディスクの管理」を使用してください。

・東芝とマイクロソフト社へのユーザ登録を行ってください。

☞ ユーザ登録 ➪「本節 4 ユーザ登録をする」

Windowsの使いかた

Windowsの使いかたについては、『Microsoft Windows 2000 Professional クイックスタートガイド』、または［スタート］-［ヘルプ］をクリックして、『Windows 2000のヘルプ』をご覧ください。

4 ユーザ登録をする

本製品をお使いになるにあたって、東芝へのユーザ登録およびマイクロソフト社へのユーザ登録は必ず行ってください。登録はそれぞれ行う必要があります。登録を行わないと、今後のサポートを受けられない場合があります。インターネットで登録する場合は、モデムなどが必要です（本製品はモデムを搭載しておりません）。
いずれの場合もインターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。
LAN を使ってインターネットに接続する場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。

東芝へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。
次のいずれかの方法で行ってください。

インターネットで登録する

インターネットに接続するための設定を行った後、次のアドレスのページから登録してください。

http://www3.toshiba.co.jp/tpmc/userj/index_j.htm

はがきで登録する

本製品に同梱されている登録はがきに必要事項を記入し、送付してください。

マイクロソフト社へのユーザ登録

Windows XP の場合、インターネットで登録を行います。
Windows 2000 の場合は、同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

インターネットで登録する

インターネットに接続するための設定を行った後、次の手順でウィザードを起動します。画面の指示に従って登録してください。

● Windows XP の場合

① [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックする
② [名前] に [regwiz /r] と入力し、[OK] ボタンをクリックする

● Windows 2000 の場合

① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [はじめに] をクリックする
② [今すぐ登録] をクリックする

はがきで登録する（Windows 2000）

本製品に同梱されている登録はがきに必要事項を記入し、送付してください。

2

電源の入れかたと切りかた

本章では、パソコン本体の電源の入れかたと切りかたについて説明します。

1 電源の入れかた 38

2 電源の切りかた 39

3 省電力機能について 40

1 電源の入れかた

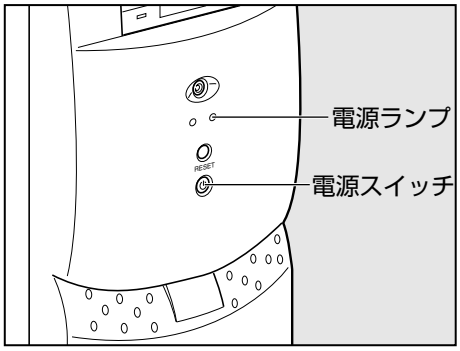
ここでは、Windows のセットアップを終えた後、電源を入れる方法について説明します。

1 ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を入れる

2 本体背面の AC スイッチを ON にする

3 本体前面の電源スイッチ ⏻ を押す

電源ランプ（本体前面の緑色のランプ）が点灯します。本製品は自動的に電源 ON 時にセルフテストを実行します。



メモ

・パソコン本体が起動すると、自動的にパソコン内部のテストを行います。これをセルフテストといいます。セルフテストによって、エラーが発見される場合があります。

☞ セルフテストでのエラーの対処方法について ➪「付録 3 エラーメッセージ」

・フロッピーディスクやリカバリ CD などの起動可能なメディアをセットしたまま電源を入れると、ハードディスクドライブからシステムが起動しません。
フロッピーディスクや CD を取り出して、もう 1 度電源を入れてください。

② 電源の切りかた

電源を切る方法はシステムによって異なります。
お使いのシステムを確認のうえ、次の手順に従って電源を切ってください。

電源切断時のお願い

- 電源スイッチで電源を切らないでください。作業中に電源スイッチで電源を切ると、故障やデータ消失の原因になります。
  なお、システムの異常などで強制的に電源を切りたい場合は、電源スイッチを４秒以上押し続けると電源が切れます。その際、作成中のデータは消失する可能性があります。
- 電源を切った後、もう１度電源を入れる場合は、５秒以上たってから入れてください。５秒以上経過していない場合は、誤動作することがあります。
- アプリケーションが起動しているときは、終了処理を行ってシステムに戻してください。
  ☞『各アプリケーションに付属の説明書』
- HDD アクセスランプ 、CD アクセスランプが消えていることを確認してください。
- 電源を切った後、本製品を移動する場合は、30 秒以上たってから移動してください。電源切断直後はハードディスクドライブ、ファン等の駆動部分が完全に停止していません。電源切断直後の移動は機器の故障の原因となります。

① Windows XP の場合

1. ［スタート］-［終了オプション］をクリックする
2. ［コンピュータの電源を切る］画面で［電源を切る］をクリックする
3. ディスプレイなどの、本製品に接続している周辺機器の電源を切る

② Windows 2000 の場合

1. ［スタート］-［シャットダウン］をクリックする
2. ［Windows のシャットダウン］画面で、ドロップダウンリストから［シャットダウン］を選択し、［OK］ボタンをクリックする
3. ディスプレイなどの、本製品に接続している周辺機器の電源を切る

3 省電力機能について

1 省電力機能について

省電力機能とは、パソコンのシステム、ハードディスクドライブ、ディスプレイなどを省電力モードにして消費電力を抑制する機能です。
省電力モード中は、次の状態になります。

・省電力モードでも一定の電力を消費しています。長時間使用しない場合は、1 度省電力状態を解除してから Windows を終了してください。

	本体の電源ランプ	システム／アプリケーション
システムが省電力モード（スタンバイ状態）のとき	橙色に点灯	停止する
ディスプレイが省電力モードのとき	緑色に点灯	停止しない
ハードディスクドライブが省電力モードのとき	緑色に点灯	停止しない
休止状態のとき	消灯	停止する

本製品にあらかじめインストールされている Windows は、省電力機能を備えています。設定されている情報に従って、省電力機能を作動させることができます。ここでは、本製品と Windows の省電力機能について簡単に紹介します。

❷ 省電力モードについて

本製品にある省電力モードとその動作は次のとおりです。

ディスプレイ	画面表示が消えます。
ハードディスクドライブ	モータの回転を停止します。
オプションカード	動作を停止します。 （＊カードによっては本製品を再起動するなどして初期化が必要になります。）
LAN接続 （ネットワークへの接続）	切断します。

スタンバイ

本製品の消費電力を抑制します。通常モードへの復帰は、多少時間がかかります。また、ネットワークに接続していない場合は時間がかかることがあります。
スタンバイはBIOSセットアップの［Power Management Setup］の［ACPI Standby State］で、次のように設定を切り替えることができます。

・［S1/POS］（Power On Suspend）..... ハードディスクドライブ、ディスプレイ、PCIカード、PCカードなどの周辺機器の電源を切断します。
・［S3/STR］（Suspend To RAM）..... メモリ以外の電源を切断します。

メモ

・工場出荷状態では、BIOSセットアップの［Power Management Setup］の［ACPI Standby State］は［S3/STR］に設定されています。［S3/STR］の方が消費電力を抑えることができますが、オプションカードスロットまたはUSBコネクタに接続したデバイスによっては正常にスタンバイ状態に移行しない、またはスタンバイ状態から通常モードに復帰しない場合があります。動作に問題が生じる場合は、［S1/POS］に設定してください。それでも動作に問題が生じる場合は、省電力機能を使用しない設定に変更してください。

☞ BIOSセットアップについて ➪「7章 BIOSセットアップ」

休止状態

本製品の消費電力を最小限に抑制します。休止状態に移行する直前の状態をハードディスクに保存します。通常モードへ復帰するとき、休止状態に移行する直前の状態を再現します。通常モードへの復帰は、多少時間がかかります。

3 省電力モードへの移行（Windows XP）

設定された時間内にマウスまたはキーボードでの操作がない場合、自動的に省電力モード（スタンバイ／休止状態）に移行します。
省電力モードに移行するまでの時間の設定方法は、次のとおりです。

システムの省電力モード

スタンバイ

1 **［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする**

2 **［電源オプション］をクリックする**

3 **［電源オプションのプロパティ］の［電源設定］タブの［システムスタンバイ］で時間を選択する**

初期値は［25 分後］です。
省電力モードを使用しない場合は、［なし］を選択してください。

4 **［OK］ボタンをクリックする**

・システムをスタンバイにすると、LAN 接続は切断され、取り付けられているオプションカードの動作は停止します。

手動でシステムをスタンバイに移行させることもできます。
操作方法は次のとおりです。

- ［スタート］メニューからの実行
  ①［スタート］ボタンをクリックし、［終了オプション］をクリックする
  ②［スタンバイ］をクリックする
- スリープスイッチを押す
  スリープスイッチを押してスタンバイに移行することができます。
  あらかじめ［電源オプションのプロパティ］の［詳細設定］タブにある［コンピュータのスリープボタンを押したとき］を［スタンバイ］に設定しておいてください。初期値は［スタンバイ］です。
- 電源スイッチを押す
  電源スイッチを押してスタンバイに移行することができます。
  あらかじめ［電源オプションのプロパティ］の［詳細設定］タブにある［コンピュータの電源ボタンを押したとき］を［スタンバイ］に設定しておいてください。初期値は［シャットダウン］です。

休止状態

1 **［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする**

2 **［電源オプション］をクリックする**

3 **［電源オプションのプロパティ］の［電源設定］タブの［システム休止状態］で時間を選択する**

初期値は［なし］です。
省電力モードを使用しない場合は、［なし］を選択してください。

4 **［OK］ボタンをクリックする**

メモ

・システムを休止状態にすると、LAN 接続は切断され、取り付けられているオプションカードの動作は停止します。
・［システム休止状態］が表示されていないときは、［休止状態］タブの［休止状態を有効にする］をチェックして［適用］ボタンをクリックしてください。なお、工場出荷時は［休止状態を有効にする］はチェックされています。

手動でシステムを休止状態に移行させることもできます。
操作方法は次のとおりです。

●［スタート］メニューからの実行
① ［スタート］ボタンをクリックし、［終了オプション］をクリックする
② Shift キーを押しながら［休止状態］をクリックする

●スリープスイッチを押す
スリープスイッチを押して休止状態にすることができます。
あらかじめ［電源オプションのプロパティ］の［詳細設定］タブにある［コンピュータのスリープボタンを押したとき］を［休止状態］に設定しておいてください。初期値は［スタンバイ］です。

●電源スイッチを押す
電源スイッチを押して休止状態に移行することができます。
あらかじめ［電源オプションのプロパティ］の［詳細設定］タブにある［コンピュータの電源ボタンを押したとき］を［休止状態］に設定してください。初期値は［シャットダウン］です。

ディスプレイの省電力モード

1 **［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする**

2 **［電源オプション］をクリックする**

3 **［電源オプションのプロパティ］の［電源設定］タブの［モニタの電源を切る］で時間を選択する**

初期値は［15 分後］です。
省電力モードを使用しない場合は、［なし］を選択してください。

4 **［OK］ボタンをクリックする**

ハードディスクドライブの省電力モード

1 **［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする**

2 **［電源オプション］をクリックする**

3 **［電源オプションのプロパティ］の［電源設定］タブの［ハードディスクの電源を切る］で時間を選択する**

初期値は［20 分後］です。
省電力モードを使用しない場合は、［なし］を選択してください。

4 **［OK］ボタンをクリックする**

4 省電力モードへの移行（Windows 2000）

設定された時間内にマウスまたはキーボードでの操作がない場合、自動的に省電力モード（スタンバイ／休止状態）に移行します。
省電力モードに移行するまでの時間の設定方法は、次のとおりです。

システムの省電力モード

スタンバイ

1 **［コントロールパネル］を開き、［電源オプション］アイコンをダブルクリックする**

2 **［電源オプションのプロパティ］の［電源設定］タブの［システムスタンバイ］で時間を選択する**

初期値は［25 分後］です。
省電力モードを使用しない場合は、［なし］を選択してください。

3 **［OK］ボタンをクリックする**

メモ ・システムをスタンバイにすると、LAN 接続は切断され、取り付けられているオプションカードの動作は停止します。

手動でシステムをスタンバイに移行させることもできます。
操作方法は次のとおりです。

●［スタート］メニューからの実行
① ［スタート］ボタンをクリックし、［シャットダウン］をクリックする
② ドロップダウンリストから［スタンバイ］を選択し、［OK］ボタンをクリックする

●スリープスイッチを押す
スリープスイッチを押してスタンバイに移行することができます。
あらかじめ［電源オプションのプロパティ］の［詳細］タブにある［コンピュータのスリープボタンを押したとき］を［スタンバイ］に設定しておいてください。初期値は［スタンバイ］です。

●電源スイッチを押す
電源スイッチを押してスタンバイに移行することができます。
あらかじめ［電源オプションのプロパティ］の［詳細］タブにある［コンピュータの電源ボタンを押したとき］を［スタンバイ］に設定しておいてください。初期値は［電源オフ］です。

休止状態

1 ［コントロールパネル］を開き、［電源オプション］アイコンをダブルクリックする

2 ［電源オプションのプロパティ］の［電源設定］タブの［システム休止状態］で時間を選択する

初期値は［なし］です。
省電力モードを使用しない場合は、［なし］を選択してください。

3 ［OK］ボタンをクリックする

メモ
・システムを休止状態にすると、LAN 接続は切断され、取り付けられているオプションカードの動作は停止します。
・［システム休止状態］が表示されていないときは、［休止状態］タブの［休止状態をサポートする］をチェックして［適用］ボタンをクリックしてください。なお、工場出荷時は［休止状態をサポートする］はチェックされています。

手動でシステムを休止状態に移行させることもできます。
操作方法は次のとおりです。

●［スタート］メニューからの実行
① ［スタート］ボタンをクリックし、［シャットダウン］をクリックする
② ドロップダウンリストから［休止状態］を選択し、［OK］ボタンをクリックする

●スリープスイッチを押す
スリープスイッチを押して休止状態に移行することができます。
あらかじめ［電源オプションのプロパティ］の［詳細］タブにある［コンピュータのスリープボタンを押したとき］を［休止状態］に設定しておいてください。初期値は［スタンバイ］です。

●電源スイッチを押す
電源スイッチを押して休止状態に移行することができます。
あらかじめ［電源オプションのプロパティ］の［詳細］タブにある［コンピュータの電源ボタンを押したとき］を［休止状態］に設定しておいてください。初期値は［電源オフ］です。

ディスプレイの省電力モード

1 **［コントロールパネル］を開き、［電源オプション］アイコンをダブルクリックする**

2 **［電源オプションのプロパティ］の［電源設定］タブの［モニタの電源を切る］で時間を選択する**

初期値は［15分後］です。
省電力モードを使用しない場合は、［なし］を選択してください。

3 **［OK］ボタンをクリックする**

ハードディスクドライブの省電力モード

1 **［コントロールパネル］を開き、［電源オプション］アイコンをダブルクリックする**

2 **［電源オプションのプロパティ］の［電源設定］タブの［ハードディスクの電源を切る］で時間を選択する**

初期値は［20分後］です。
省電力モードを使用しない場合は、［なし］を選択してください。

3 **［OK］ボタンをクリックする**

5 省電力モードからの復帰

スタンバイからの復帰

システムのスタンバイから復帰するには、次の操作を行ってください。

- キーボード入力をする
- スリープスイッチを押す
- マウスを操作する

・スタンバイ状態から通常モードへ復帰するとき、マウス操作を行ってもなかなか反応しない場合があります。この場合は、キーボード入力、またはスリープスイッチを押して復帰させてください。

休止状態からの復帰

休止状態から復帰するには、電源スイッチを押してください。

ディスプレイの省電力モードからの復帰

ディスプレイの省電力モードから復帰するには、次の操作を行ってください。

- キーボード入力をする
- マウスを動かす

ハードディスクの省電力モードからの復帰

ハードディスクの省電力モードは、ハードディスクのファイルへアクセスすることで、自動的に省電力モードから復帰します。

3

ハードウェアについて

本章ではパソコン本体にオプションカードや
増設メモリなどを取り付ける方法について説明します。
注意事項を守り、正しく取り扱ってください。

1 キーボード 50
2 CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブ ... 52
3 フロッピーディスクドライブ 58
4 機器の拡張を行うときは 60
5 本体カバーの取りはずし／取り付け 62
6 オプションカード 67
7 増設ハードディスクドライブ 71
8 増設５型ドライブ 82
9 増設メモリ 86
10 内部ケーブルの接続 90

1 キーボード

本製品のキーボードは、106 日本語（A01）キーボード（Ctrl+ 英数）に Windows をより便利に使う Win（ウィンドウズ）キー、アプリケーションキーを追加した 109A キーボードです。

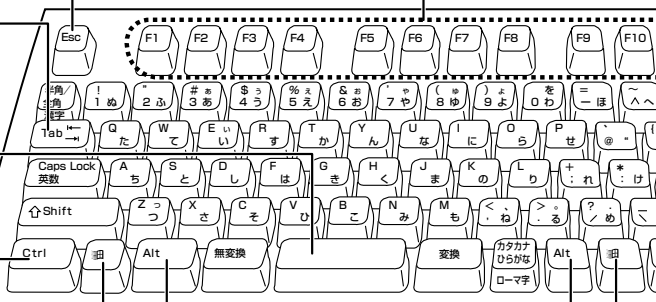
BackSpace（バックスペース）キー
カーソルが左に移動し、文字が削除されます。

F（ファンクション）キー　(F1～F12)
各アプリケーションソフトにより、いろいろな機能が割り当てられます。

Esc（エスケープ）キー
操作の取り消しなどに使用します。

Tab（タブ）キー
項目を移動するときなどに使用します。

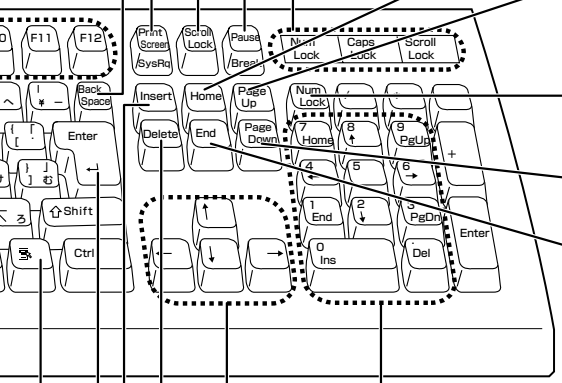
Space（スペース）キー
空白文字を入力するときや、入力した文字をかな漢字変換するときに使用します。



Alt（オルト）キー
他のキーと組み合わせて使用します
（アプリケーションごとに機能が異なります）。

Win（ウィンドウズ）キー
他のキーとの組み合わせで、ショートカットとして使用できます。

Ctrl（コントロール）キー
他のキーと組み合わせて使用します（アプリケーションごとに機能が異なります）。



Print Screen（プリントスクリーン）キー
画面のハードコピーをクリップボードに一時的に貼り付けます。

Scroll Lock（スクロールロック）キー
画面スクロールを禁止します。

Pause（ポーズ）キー
ハードコピーの出力など、操作を一時的に止めます。

インジケータ
Num Lock、Caps Lock、Scroll Lockの状態を示します。

Home（ホーム）キー
カーソルを行、または文書の最初に一度に移動します。

Page Up（ページアップ）キー
前の画面に切り替えます。

Num Lock（ナンバーロック）キー
テンキーを使用するときに押します。

Page Down（ページダウン）キー
次の画面に切り替えます。

End（エンド）キー
カーソルを行、または文書の最後に一度に移動します。

テンキー
Num Lockインジケータが点灯した状態で、
数字を入力することができます。

カーソルキー
カーソルを移動します。

Delete（デリート）キー
文字の削除などに使います。

Insert（インサート）キー
文字を挿入します。

Enter（エンター）キー
操作を実行するときなどに使います。

アプリケーションキー
マウスの右ボタンをクリックすることと同様に動作します。

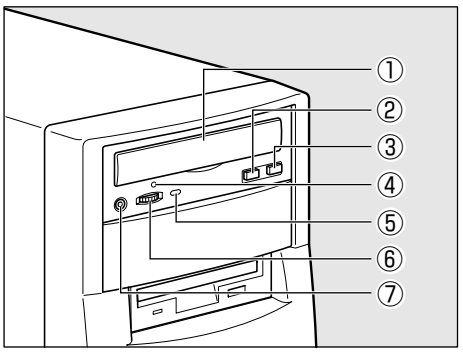
② CD-ROMドライブ／CD-R/RWドライブ

本製品にはCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブが内蔵されています。
内蔵されているドライブの種類は、ご購入のモデルにより、異なります。

お願い

・CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを使用しないときは、必ずCDを取り出しておいてください。
・市販のレンズクリーナは使用しないでください。CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブの故障の原因となります。

CD-ROMドライブ部分拡大図（CD-ROMモデルの場合）



①ディスクトレイ
CDをセットする部分です。

②再生／スキップボタン
音楽CDをセットしているときに再生を開始します。
音楽CDの再生中は、次の曲に進みます。
アプリケーションを使用して音楽CDを再生しているときは、ご使用になれません。

③停止／イジェクトボタン
ディスクトレイの出し入れのときに押します。
②再生／スキップボタンを押して音楽CDを再生しているときは音楽CDの再生を停止します。

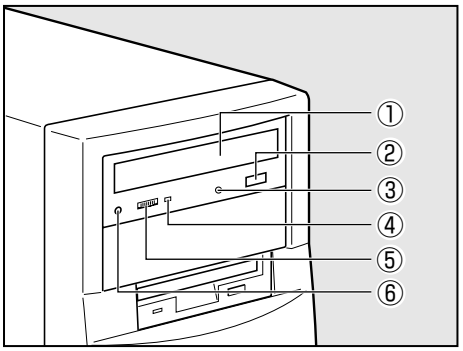
④イジェクトホール
故障などで電源が入らない場合、ディスクを強制的に出すときに使用します。通常は使用しません。

⑤CDアクセスランプ
CDの読み取りが行われているときに、緑色に点灯します。

⑥ボリューム
⑦のステレオホンジャックから出力されるCDサウンドの音量を調整できます。

⑦ステレオホンジャック
3.5 φ mmステレオミニジャックタイプのヘッドホンかイヤホンを接続できます。
音楽CDをアナログ再生しているときにCDサウンドが出力されます。
アプリケーションによっては、デジタル出力を使用して音楽CDを再生する場合があります。その場合は、ステレオホンジャックから出力されませんので、アプリケーションの設定を変更する必要があります。

CD-R/RW ドライブ部分拡大図（CD-R/RW モデルの場合）



①ディスクトレイ
CD をセットする部分です。出し入れは、イジェクトボタンで行います。

②イジェクトボタン
ディスクトレイの出し入れのときに押します。

③イジェクトホール
故障などで電源が入らない場合、ディスクを強制的に出すときに使用します。通常は使用しません。

④ CD アクセスランプ
CD の読み取りや書き込みが行われているときに、橙色に点灯します。

⑤ ボリューム
⑥のステレオホンジャックから出力される CD サウンドの音量を調整できます。

⑥ ステレオホンジャック
3.5 φ mm ステレオミニジャックタイプのヘッドホンかイヤホンを接続できます。
音楽 CD をアナログ再生しているときに CD サウンドが出力されます。
アプリケーションによっては、デジタル出力を使用して音楽 CD を再生する場合があります。その場合は、ステレオホンジャックから出力されませんので、アプリケーションの設定を変更する必要があります。

使用できるCD

読み込みできるCDは、次の種類です。

① 音楽CD
　8cm、12cmの音楽用CDが聴けます。
② フォトCD
③ CD-ROM
　使用するシステムに適合するISO9660フォーマットのもの
④ CDエクストラ
⑤ CD-R
⑥ CD-RW

・ISO9660フォーマットとは、パソコンのシステム（OS）や機種が異なっていても共通に利用することができるCD-ROMのフォーマットであり、ISO（国際標準化機構）が1988年に定めました。

また、CD-R/RWモデルで書き込みできるCDは、次の種類です。

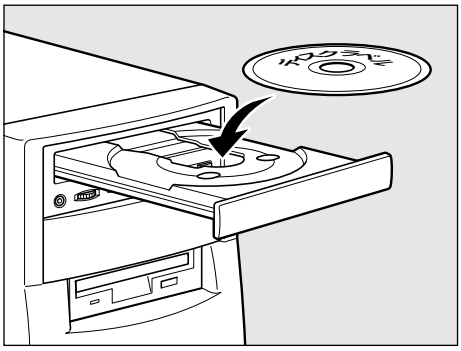
① CD-R（書き込みは1回）
② CD-RW

CDのセットと取り出し

注 意　・電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。CDのデータやCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブが壊れるおそれがあります。

・CDのセットと取り出しは、電源ON時に行ってください。電源OFF時にイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイの出し入れはできません。また、イジェクトボタンは、CDアクセスランプが消灯している状態で押してください。
・故障などで電源が入らない場合は、CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブのイジェクトホールを先の細い、丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたもの）で押してください。ディスクトレイが出てきます。
・CDをディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
・CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを使用しないときは、必ずCDを取り出しておいてください。
・外側を切り欠いたCDなど正常な円形ではないCDや、変形したCD、かたよった位置にラベルを貼ったCDは使用しないでください。異常振動の発生や故障の原因となります。

CD のセット



1 CD-ROM ドライブの停止／イジェクトボタンまたは CD-R/RW ドライブのイジェクトボタンを押す

ディスクトレイが出てきます。

2 CD ディスクラベルを上にして、ディスクトレイの中央にのせる

3 CD-ROM ドライブの停止／イジェクトボタンまたは CD-R/RW ドライブのイジェクトボタンを押す

ディスクトレイが格納されます。

CD の取り出し

1 CD-ROM ドライブの停止／イジェクトボタンまたは CD-R/RW ドライブのイジェクトボタンを押す

ディスクトレイが出てきます。

2 CD の中央と外側の縁を持って取り出す

3 CD-ROM ドライブの停止／イジェクトボタンまたは CD-R/RW ドライブのイジェクトボタンを押す

ディスクトレイが格納されます。

CD-R、CD-RWに書き込む

CD-R/RW モデルの場合、CD-R、CD-RW にデータを書き込むことができます。
書き込みを行うためのアプリケーションとして、「Drag'n Drop CD」を添付しています。ご使用の際はインストールしてください。インストールについては「Drag'n Drop CD」の CD-ROM をセットし、表示された画面に従ってください。

CD-R、CD-RW に書き込みを行うときは、次のご注意をよくお読みのうえご使用ください。
守らずにご使用になると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ご使用のパソコンの設定によっては、書き込みに失敗することがあります。
本機に搭載している CD-R/RW ドライブには書き込みエラーを防ぐバッファーアンダーランエラー防止機能を内蔵していますが、電源切断やドライブへのショックなどの本体異常や、記録メディアの状態などによっては、処理が正常に行えず、エラーとなる場合があります。
書き込みに失敗した CD-R の損害については、当社は一切その責任を負いません。
また、記憶内容の変化・消失など、CD-R、CD-RW に保存した内容の損害および内容の損失・消失により生じる経済的損害といった派生的損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

メモ ・CD-R に書き込みできるのは 1 回限りです。書き込みに失敗した CD-R は再利用できませんが、CD-RW はフォーマットすると再利用できます。

書き込む前に

- CD-R は CD-R/RW ドライブの書き込み速度に対応しているものをご使用ください。
  また、ご使用になる際は、次のメーカの CD-R をおすすめします。
  太陽誘電（株）、三井化学（株）、三菱化学（株）、リコー（株）、
  日立マクセル（株）、富士写真フイルム（株）、ソニー（株）
  上記以外のメーカの CD-R をご使用になると、うまく書き込みができない場合があります。
- CD-RW には 2 倍速対応、1 倍速～ 4 倍速対応、そして 4 倍速～ 10 倍速対応（High Speed CD-RW）があります。メディアの対応速度に合わせた速度で書き込みを行ってください。
  また、ご使用になる際は、次のメーカの CD-RW をおすすめします。
  CD-RW　：三菱化学（株）、リコー（株）、日立マクセル（株）、
  富士写真フイルム（株）、ソニー（株）
  High Speed CD-RW ：三菱化学（株）、リコー（株）、日立マクセル（株）、
  富士写真フイルム（株）
  上記以外のメーカの CD-RW をご使用になると、うまく書き込みができない場合があります。
- 「Drag'n Drop CD」以外の CD-R、CD-RW 書き込み用ソフトウェアは動作保証しておりません。Windows 標準のライティング機能や市販のライティングソフトは使用しないでください。

- 書き込みを行う際は、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。
  ☞ 省電力機能について ➪「2 章 3 省電力機能について」
- 書き込み用ソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
- スクリーンセーバなど CPU に負担のかかるソフトウェアは動作しないように設定してください。
- ウイルスチェックソフトを起動している場合は、終了させてください。
- 常駐型のディスクユーティリティやディスクのアクセスを高速化させるユーティリティなどは、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことをおすすめします。
- LAN を経由しての書き込みは行わないでください。LAN を経由する場合は、データをいったん本製品のハードディスクドライブに保存してから書き込みを行ってください。
- フロッピーディスク、PC カードタイプのハードディスクドライブ、USB 接続のハードディスクドライブなど、本製品のハードディスクドライブ以外の記憶装置にあるデータの書き込みは行わないでください。USB 接続のハードディスクドライブ等の周辺機器にあるデータは、いったん本製品のハードディスクドライブに保存してから書き込みを行ってください。

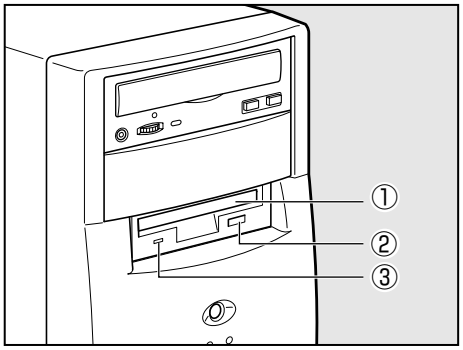
書き込み / 削除を行うときは

- マウスを動かす、ウィンドウを開くなど、パソコン本体の操作を行わないでください。
- LAN、モデムなど、通信アプリケーションを起動しないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 周辺機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- 重要なデータについては、必ずデータ書き込み終了後に、データが正しく書き込まれたことを確認してください。

③ フロッピーディスクドライブ

本製品のフロッピーディスクドライブで、3.5 型 2HD、2DD 形式のフロッピーディスクが使用できます。

部分拡大図（本体正面）



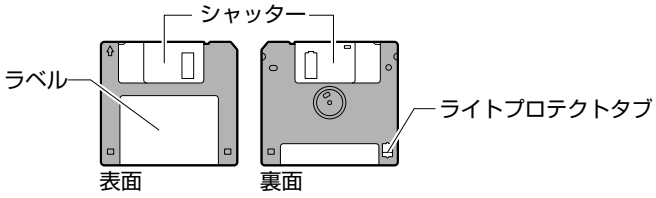
①ディスク挿入口
フロッピーディスクを挿入します。取り出しは、イジェクトボタンで行います。

②FD イジェクトボタン
フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出すとき、押します。

③FDD アクセスランプ
フロッピーディスクの読み書きが行われているときに緑色に点灯します。

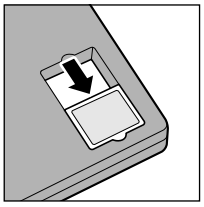
3.5 型フロッピーディスク

フロッピーディスクには、大切な情報を保護するための書き込み保護機構がついています。これにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。



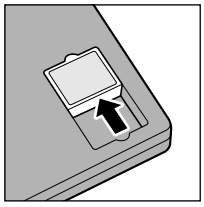
書き込み保護をセットするには

図のようにライトプロテクトタブを外側に移動させて、穴が開いた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みはできません。データの読み込みはできます。



書き込み保護を解除するには

図のようにライトプロテクトタブを内側に移動させて、穴が閉じた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みも読み込みもできます。



なお、いずれの場合も「カチッ」と音がするまでライトプロテクトタブを移動させてください。

フロッピーディスクのセットと取り出し

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入することを「フロッピーディスクをセットする」といいます。

フロッピーディスクのセット

1 **フロッピーディスクの隅に書かれている矢印の向きに合わせて挿入する**

「カチッ」と音がするまで挿入します。
正しくセットされるとFDイジェクトボタンが出てきます。

フロッピーディスクの取り出し

1 **FDイジェクトボタンを押す**

フロッピーディスクが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

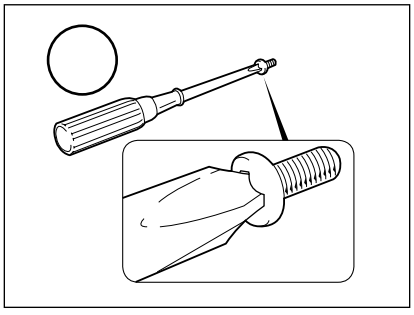
・FDDアクセスランプ点灯中は、データの書き込み、読み取り中です。アクセスランプ点灯中に次のことを行うと、フロッピーディスク内のデータが消失することがあります。
　・FDイジェクトボタンを押す
　・パソコン本体の電源を切る
・フロッピーディスクドライブを使用しないときは、必ずフロッピーディスクを取り出しておいてください。

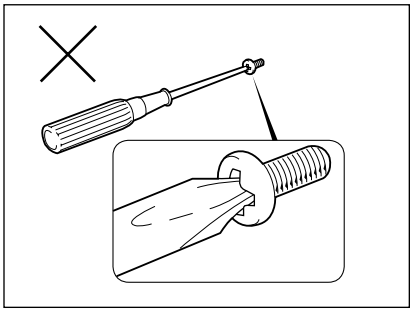
④ 機器の拡張を行うときは

システムの拡張についてはパソコンの内部について、ある程度の知識や経験（メモリ増設、オプションカードの取り付けなど）のあるかたを対象としております。システム拡張の経験のないかた、難しいと思われるかたはお買い上げの販売店、または同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションにご相談ください（作業をご依頼の場合は有償で行います）。

作業前の注意事項

- 湿気やホコリが少なく、直射日光の当たらない場所で作業を行ってください。
- 温度範囲は 10 ～ 35℃、湿度範囲は 20 ～ 80%Rh ですが、結露するような急激な温度変化を与えないでください。
- 必ず周辺機器に付属の説明書をお読みになったうえで、取り付けを行ってください。
- 注意事項は周辺機器によって異なります。各項目をよく読んでから作業を行ってください。
- 作業は指定された手順で行ってください。
- 取り付け作業時にプリント基板の角などで指を傷つけないように、作業用手袋の使用をおすすめします。
- 静電気の発生しやすい環境（じゅうたんの上など）で作業しないでください。静電気を帯びることにより電子部品が故障することがあります。
- 必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから取り付け、取りはずし作業を行ってください。
- 作業上必要な場所以外には、手を触れないでください。
  内部には高電圧部分が数多くあり、万一触ると危険です。
- 取りはずしたネジは紛失しないように注意してください。また、機器内部に落とさないでください。
- ネジは数種類あります。取りはずしたネジは必ず元のネジ穴に取り付けてください。
- 異常や故障が発生したら、『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- オプションカードには鋭い突起があります。手を傷つけないようにしてください。
- コネクタの接続、オプションカードの取り付けなどで、ドライバを使用する場合は、必ずネジにあったものをご使用ください。
  ネジに合わないドライバは、十字穴にすきまができて安定しません。また、無理に使用すると、十字穴をつぶす原因になります。





● 本体へのケーブル接続は、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり曲がったりします。ケーブルのコネクタに固定用ネジがある場合は、ケーブルがはずれないようにネジをしめてください。
● 電源コードの接続は、①アース線の接続、②プラグの電源コンセントへの接続の順に行ってください。取りはずす場合は、①プラグ、②アース線の順に行ってください。

注 意
・この章で説明されている「5 本体カバーの取りはずし／取り付け」以降の作業を行う前に、システムを終了させ、パソコン本体と接続されているすべての周辺機器の電源を切り、その後パソコン本体に接続されているすべてのケーブル類を取りはずしてください。パソコン本体を開け、作業を行う前に、電源を切りケーブル類を取りはずしておかないと、作業者のケガや機器の損傷を招くことがあります。
・本体カバーをはずして作業する場合、本体の電源コードを抜いて 1 分以上たってから作業してください。機器の故障の原因となります。
・本体カバーをはずして作業する場合、内部には鋭利なところがありますので、十分注意してください。なお、作業に際しては手袋の使用をおすすめします。

お願い

・本体カバーを取りはずした状態での操作はしないでください。電源を入れる前には、必ず本体カバーを取り付けてください。

作業前の準備

システムの拡張作業で、次のような道具が必要になる場合があります。あらかじめ、ご用意ください。

・＋（プラス）ドライバ
・作業用手袋
・取りはずしたネジなどを入れる袋

オプション取り付け時の設定

周辺機器によっては、セットアップでの設定が必要になるものがあります。

☞ 設定について
➪「7 章 BIOS セットアップ」、『各オプションに付属の説明書』

5 本体カバーの取りはずし／取り付け

> ⚠ 注 意 ・オプション装着などのほかは、カバーを開けないでください。故障の原因となる場合があります。
> ・本体内の板金、メインボードなどで指を傷つけないように、作業用手袋の使用をおすすめします。

システムを拡張する場合、取り付け位置は本体内部であるため、本体カバーを取りはずすことが必要です。
先に本体カバーの取りはずしかた、取り付けかたをまとめて説明します。
それぞれのオプションの取り付け、取りはずしについては次節より説明します。

本体カバーの取りはずし

1 「本章 4 機器の拡張を行うときは」での事前の注意事項を確認する

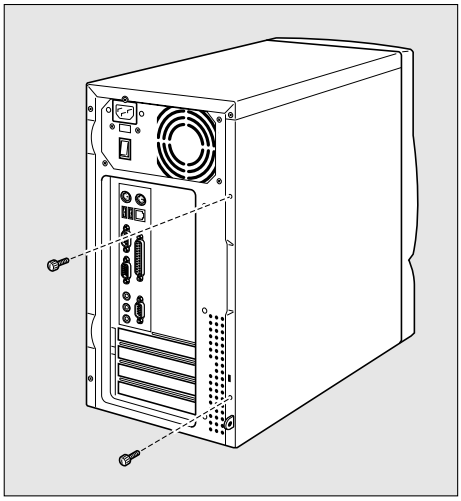
2 パソコン本体の電源を切る

3 パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る

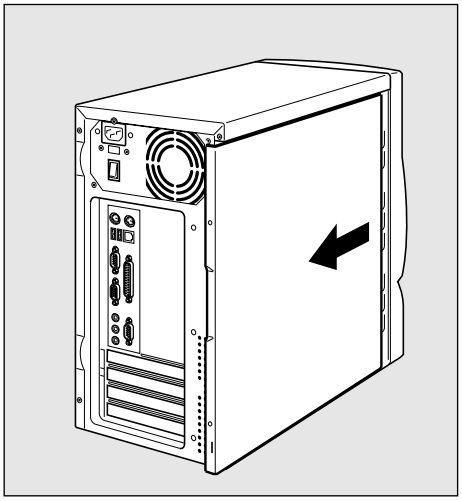
4 電源コンセントから電源コードのプラグを引き抜き、アース線を取りはずし、本体に接続されているすべてのケーブルを取りはずす

> ⚠ 注 意 ・電源を切っただけでは、メインボードは通電状態となっています。通電状態でコネクタの抜き差しを行うと、故障の原因となります。
> 必ず電源コードを抜いてから作業を行ってください。

5 本体背面のネジ２本をはずす



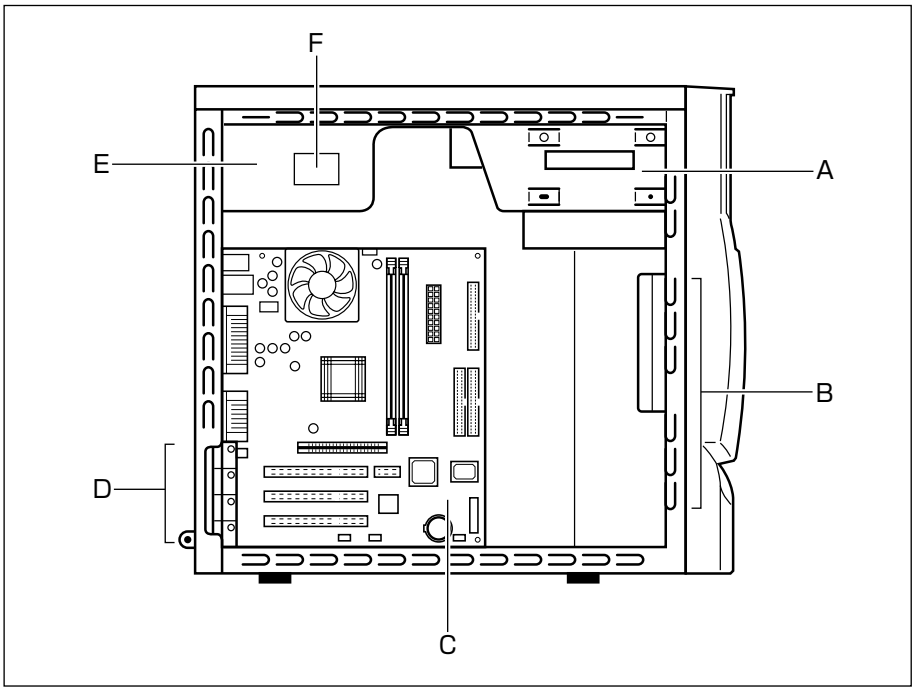
6 本体カバーを後方へずらし、取りはずす



⚠ 注 意 ・カバーの取り扱いに注意してください。
落としたり、ぶつけたりして手や足をケガするおそれがあります。

本体カバーを取りはずしたところ（左側面）

⚠ 注 意　・ユーザ作業エリア以外は分解しないでください。
高電圧部による感電のおそれがありますので、絶対に触れないでください。



E、F 以外はユーザ作業エリアです。

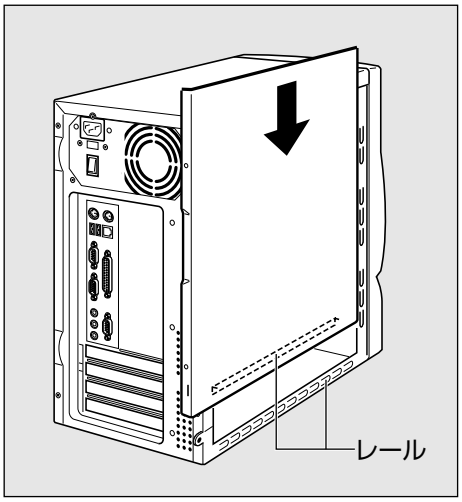
A. ファイルスロット
CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブ 1 個が標準で内蔵
B. ハードディスクスロット
ハードディスクドライブ 1 個が標準で内蔵
C. メインボード
D. 拡張スロット
AGP スロット 1 個、PCI スロット 3 個
E. 電源ユニット
F. 電源警告ラベル
（電源ユニットのカバーははずさないでください。内部には高電圧部分があり、感電・火災・故障のおそれがあります。）

本体カバーの取り付け

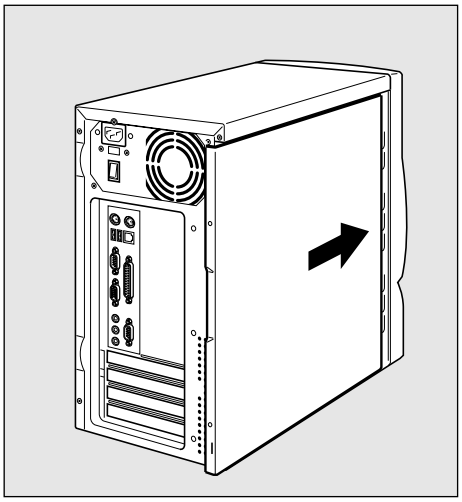
1 「本章 4 機器の拡張を行うときは」での事前の注意事項を確認する

2 工具類や部品類を本体内部に残していないこと、部品類の取り付けが正しく、しっかり行われていることを確認する

3 本体カバーを、本体前面から 2cm 程度離れた位置に、下側のレールを本体に合わせてのせる

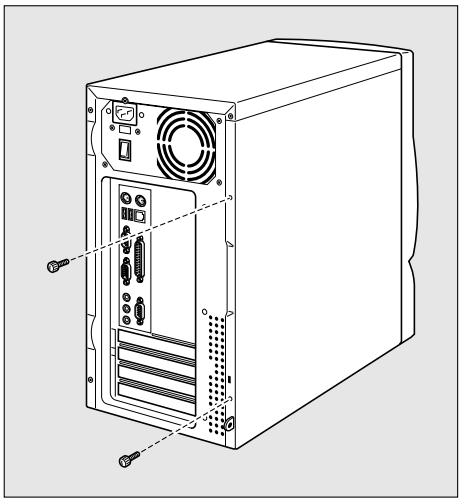


4 前方にスライドさせる



⚠ 注 意 ・ケーブル類をはさみ込まないようにしてください。

5 本体背面にネジ２本を取り付け、固定する

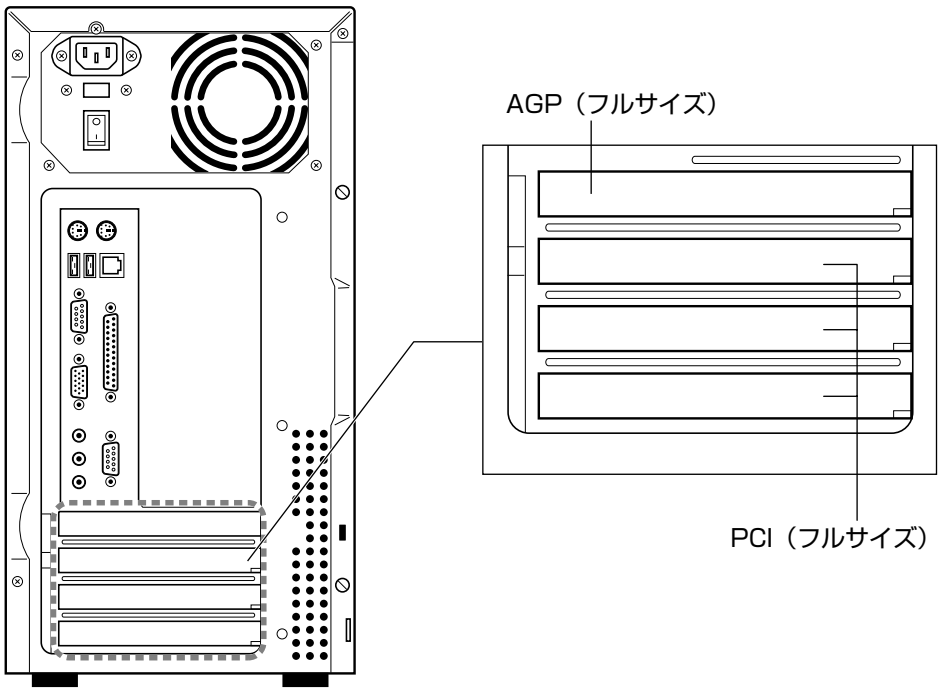


6 オプションカード

お願い
・PC97 規格に対応していないカードは正常に動作しない場合があります。

拡張スロットの位置

本体にはオプションカード用のフルサイズの拡張スロットが合計４個用意されています。
下の図のように、上から AGP スロットが１個、PCI スロットが３個となっています。
本製品では、PC97 規格に対応したオプションカードを使用できます。



注 意　・オプションカードの取り付けに際しては、拡張スロットの電流容量を超えないように注意してください。

☞ 電流容量について
➪「付録 2- 拡張スロットの電流容量」、『各オプションカードに付属の説明書』

お願い
・オプションカードは、特に静電気に対して敏感で、その取り扱いには注意が必要です。
カードを持つときは、カードの縁を持つようにして、部品や金メッキ部分には触らないようにしてください。保護袋や本体からカードを抜き出したときには、水平で、接地された、静電気のないところに、部品面を上にして置くようにしてください。
カードは、どんな面の上でも、滑らせて移動させないでください。

オプションカードの外形図

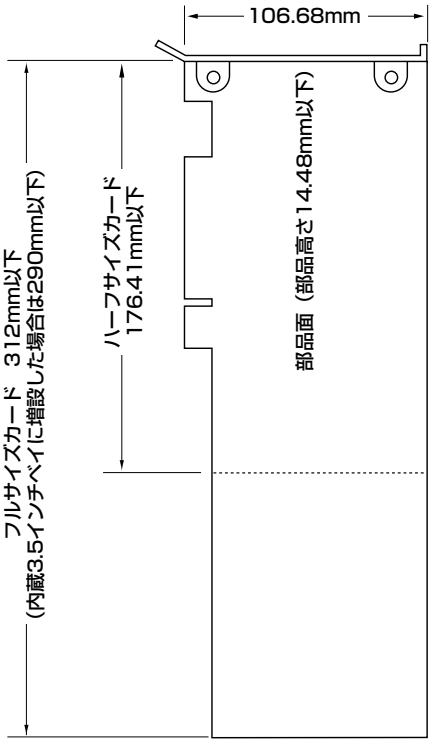
各スロット用のカードの種類と本体に装着可能なカードの外形図を示します。

注 意　・接触による事故防止のため高さ制限を守ったカードを使用してください。

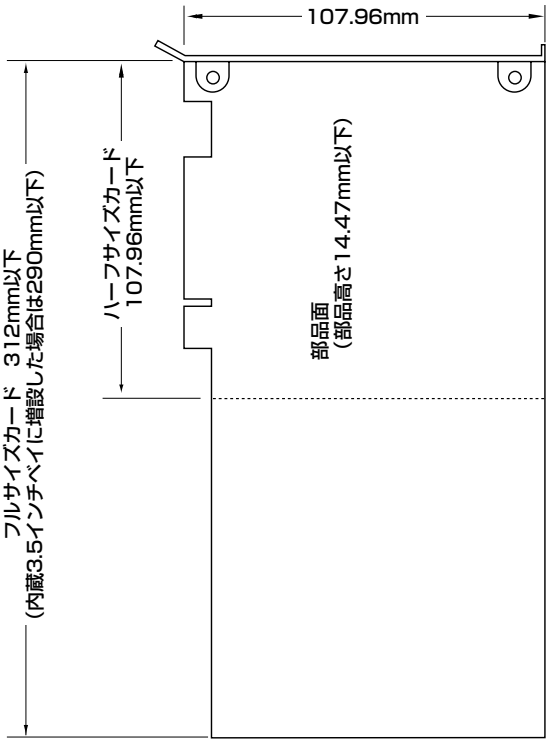
お願い

・本体内に装着できるオプションカードは、次に示すサイズ以下のものです。このサイズを超える大きさのカードは取り付けないでください。故障や不具合が発生する場合があります。

● PCI タイプカード外形図



● AGP タイプカード外形図



オプションカードの取り付け

お願い

・この作業を行うとき、メインボードや他のボードの部品を損傷しないように注意してください。

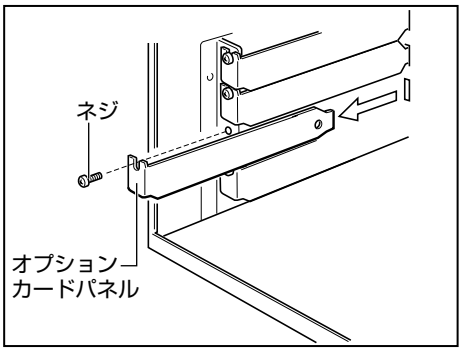
1 **「本章 4 機器の拡張を行うときは」での事前の注意事項を確認する**

2 **本体カバーを取りはずす**

☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

3 **オプションカードパネルを固定しているネジ1本をはずしてパネルを取りはずす**

取りはずしたパネルは、大切に保管しておいてください。



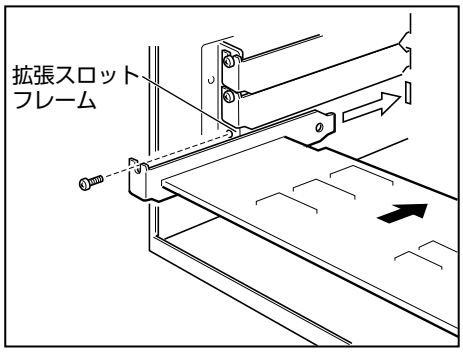
4 **保護袋からオプションカードを抜き出し、水平で、接地された、静電気のないところに、部品面を上にして置く**

保護袋は再度取りはずしたときのために保管しておいてください。

5 **オプションカードのジャンパやスイッチの設定が必要な場合は、カードに付属の説明書に従って設定する**

6 **カードの上の縁、または上の角のところを持って、図のようにカードをセットする**

オプションカードのエッジ（金メッキ部分）を拡張スロットコネクタにしっかり合わせて押し入れます。



⚠ 注 意
- **オプションカードには鋭い突起があります。取り付け作業時には、指を傷つけないように、作業用手袋の使用をおすすめします。**
- **オプションカードをセットするときは、本体内部のケーブルを傷つけないようにしてください。ケーブルに傷がつくと、故障の原因になります。**

7 **拡張スロットフレームのネジ穴と、オプションのコネクタパネルの切れ込みを合わせる**

コネクタパネルは、オプションカードパネルのあった場所にぴったりと納まります。

8 **ネジを止める**

ネジをしめる前に、コネクタパネルをネジの方に、上に寄せるようにします。これを怠ると、このパネルが、隣のスロットのカバーやオプションカードに接触してしまいます。

9 **必要があれば取り付けたオプションカードにケーブル類を接続する**

10 **本体カバーを取り付ける**

☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

オプションカードの取りはずし

取り付け時の図を参照しながら作業を進めてください。

☞「本節 オプションカードの取り付け」

1 「本章 4 機器の拡張を行うときは」での事前の注意事項を確認する

2 本体カバーを取りはずす

☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

3 オプションカードに接続されているケーブルがあれば、はずす

再度取り付けるときのために、取りはずしたケーブルは大切に保管しておいてください。

4 オプションカードのコネクタパネルを固定しているネジを取りはずす

5 オプションカードの縁を持って、カードが拡張スロットコネクタからはずれるまで引き抜く

⚠ 注 意 ・オプションカードには鋭い突起があります。オプションカードを引き抜くときは指を傷つけないように作業用手袋の使用をおすすめします。
・オプションカードを引き抜くときは、本体内部のケーブルを傷つけないようにしてください。ケーブルに傷がつくと、故障の原因になります。

6 オプションカードを、静電気対策された保護袋に入れて保管する

7 取りはずしたときに保管してあったオプションカードパネルを取り付けて、ネジ 1 本でとめる

⚠ 注 意 ・空いたスロットには必ずオプションカードパネルをつけるようにしてください。電磁ノイズと機器の冷却に問題が起きることがあります。

8 本体カバーを取り付ける

☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

7 増設ハードディスクドライブ

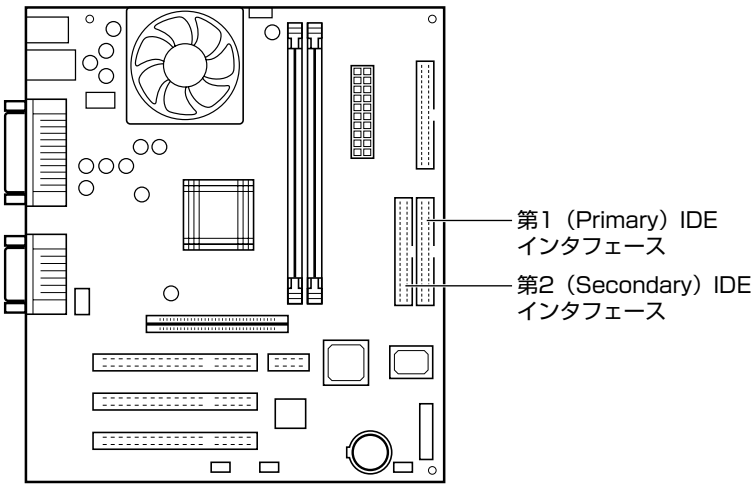
本製品の、IDE インタフェースに IDE ハードディスクドライブを接続し、増設する方法について説明します。

IDE インタフェースについて

IDE 装置は、本製品のメインボード上の第 1（Primary）IDE インタフェースに 2 台、第 2（Secondary）IDE インタフェースに 1 台の、合計 3 台まで接続することができます。

それぞれの IDE インタフェースに接続するドライブは、1 台目をマスタ（Master）、2 台目をスレーブ（Slave）と呼びます。

本製品ではすでに、第 1（Primary）IDE インタフェースのマスタ（Master）にハードディスクドライブ、第 2（Secondary）IDE インタフェースのマスタ（Master）に CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブが接続されています。



増設ハードディスクドライブのジャンパについて

IDEインタフェースに増設ハードディスクドライブを接続する場合は、各増設ハードディスクドライブにマスタ（Master）とスレーブ（Slave）の設定を行う必要があります。

接続時の注意

本製品にIDE装置を増設する場合は、必ず次の表のように増設を行ってください。

第1（Primary）IDEインタフェース		第2（Secondary）IDEインターフェース
マスタ（Master）	スレーブ（Slave）	マスタ（Master）
ハードディスクドライブ接続済	増設1台目	CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブ接続済

☞ 増設ハードディスクドライブの取り付け
➪『増設ハードディスクドライブに付属の説明書』

メモ

・増設ハードディスクドライブはEQUIUM専用のオプションをお買い求めください。取り付けについてはオプションに付属の説明書をご覧ください。
なお、PV3000シリーズ専用の増設ハードディスクドライブは、ご利用になることはできません。

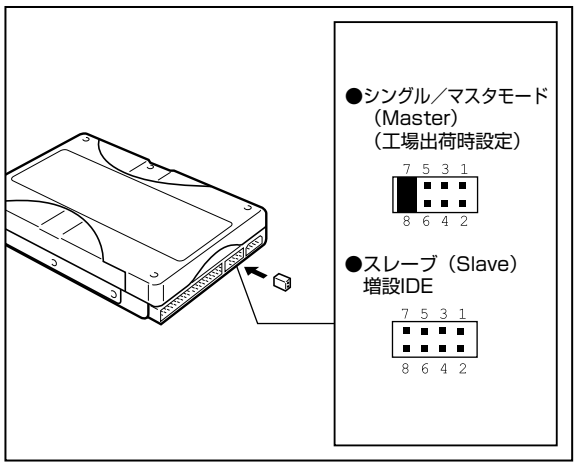
ハードディスクドライブを増設する場合

第1（Primary）IDEインタフェースにハードディスクドライブを増設する場合は、接続済みのハードディスクドライブ背面のジャンパストラップがシングル／マスタモード（Master）になっていることを確認し、増設するハードディスクドライブの設定をスレーブ（Slave）にしてください。

お願い

・ハードディスクドライブを1台で使用する場合は、ジャンパストラップをシングル／マスタモード（Master）に設定してください。スレーブ（Slave）の設定では、動作しません。

●ジャンパの設定



増設ハードディスクドライブの取り付け

1 「本章 4 機器の拡張を行うときは」での事前の注意事項を確認する

2 本体カバーをはずす

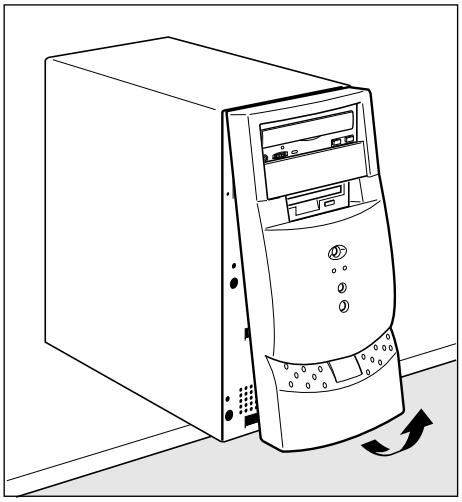
☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

3 安定した台の端に本体を置く

4 フロントベゼルを取りはずす

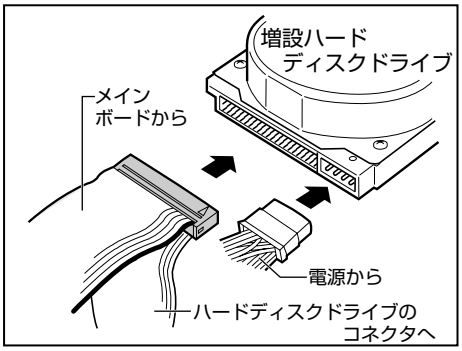
フロントベゼル底面のくぼみに手をかけ、手前に強く引いてください。

⚠ **注 意** ・台から本体が落ちないように、しっかりとおさえて作業を行ってください。

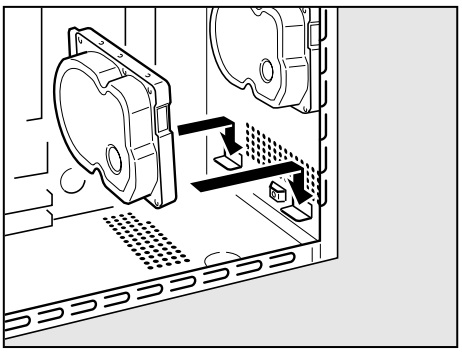


5 ドライブにケーブルを接続する

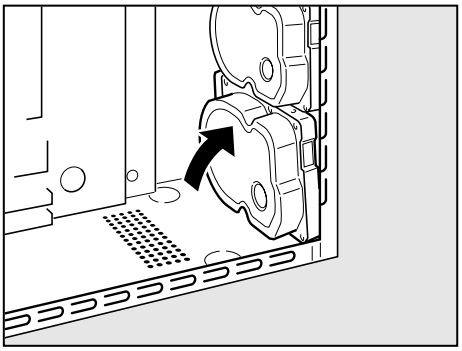
このときコネクタの向きに注意してください。



6 ハードディスクの底面を、本体の増設ハードディスクスロット用の台にのせる

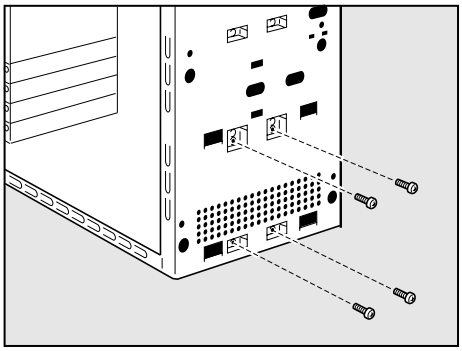


7 倒れないように手でおさえ、ネジ穴の位置を合わせる



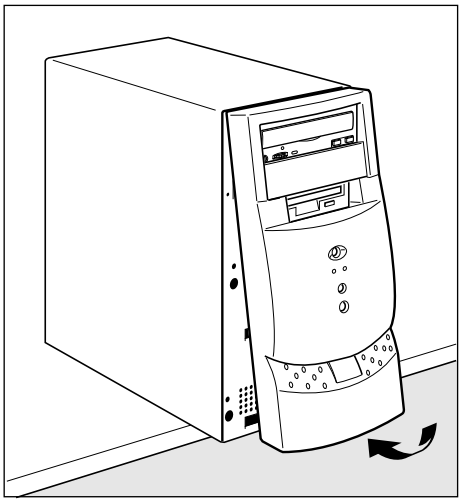
⚠ 注 意 ・ハードディスクを取り付けるときに、ケーブル類をはさみ込まないようにしてください。故障の原因となるおそれがあります。

8 ネジ４本でハードディスクを本体のハードディスクスロットに取り付ける



9 フロントベゼルを取り付ける

CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブの位置を合わせてかぶせ、フロントベゼル中程と下側の左右を押してツメを押し込み、固定します。



10 本体カバーを取り付ける

☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

増設ハードディスクドライブの取りはずし

取り付け時の図を参照しながら作業を進めてください。

☞「本節 - 増設ハードディスクドライブの取り付け」

1 「本章 4 機器の拡張を行うときは」での事前の注意事項を確認する

2 本体カバーをはずす

☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

3 安定した台の端に本体を置く

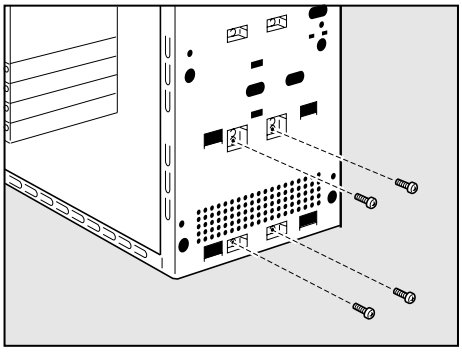
4 フロントベゼルを取りはずす

フロントベゼル底面のくぼみに手をかけ、手前に強く引いてください。

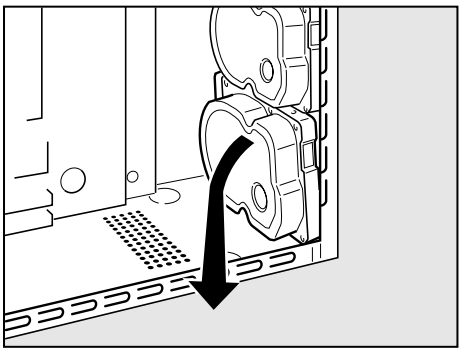
注 意　・台から本体が落ちないように、しっかりとおさえて作業を行ってください。

5 増設ハードディスクドライブを固定しているネジ４本をはずす

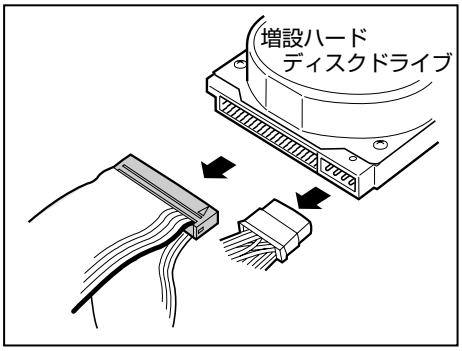
増設ハードディスクドライブが倒れないように手で押さえながらネジをはずしてください。



6 本体から増設ハードディスクドライブを取りはずす



7 増設ハードディスクドライブからケーブルをはずす



☞ ケーブル機器の接続関係について ➪「本章 10 内部ケーブルの接続」

再接続の際に、間違った接続をすると故障の原因となりますのでご注意ください。

8 フロントベゼルを取り付ける

CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブの位置を合わせてかぶせ、フロントベゼル中程と下側の左右を押してツメを押し込み、固定します。

9 本体カバーを取り付ける

☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

増設ハードディスクドライブの設定

何もインストールされていないハードディスクドライブを増設した後、システムに認識させるには、次の操作が必要です。

☞ ハードディスクドライブの増設方法

➪「本節 - 増設ハードディスクドライブの取り付け」

Windows XP の場合

1 コンピュータの管理者アカウントでログオンする

2 [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする

3 [管理ツール] をクリックする

4 [コンピュータの管理] をダブルクリックする

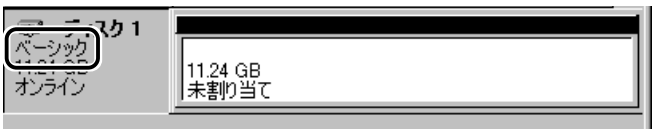
5 [ディスクの管理] をダブルクリックする

セカンドハードディスクを取り付けた後の最初の起動では、セカンドハードディスク（例：ディスク 1）は［不明］と表示されます。

6 [ディスク 1] の領域を右クリックし、表示されたメニューから [ディスクの初期化] をクリックする

7 初期化するディスク（例：ディスク 1）をチェックし [OK] ボタンをクリックする

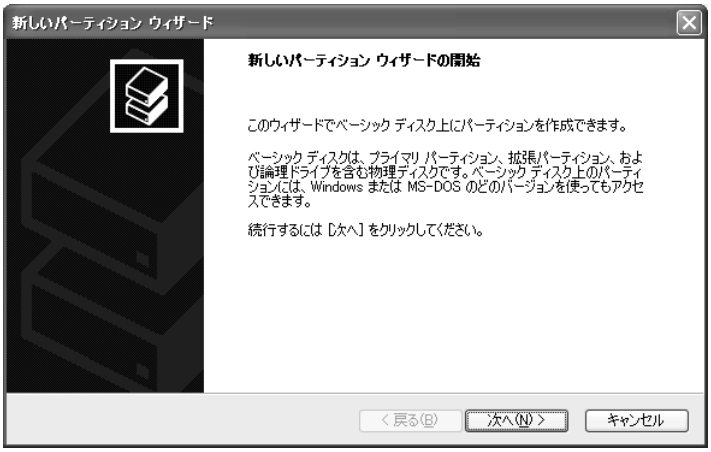
初期化したハードディスク（例：ディスク 1）は［ベーシック］と表示されます。



8 セカンドハードディスク（例：ディスク 1）の [未割り当て] の領域を右クリックする

9 表示されるメニューで［新しいパーティション］をクリックする

［新しいパーティションウィザード］が起動します。



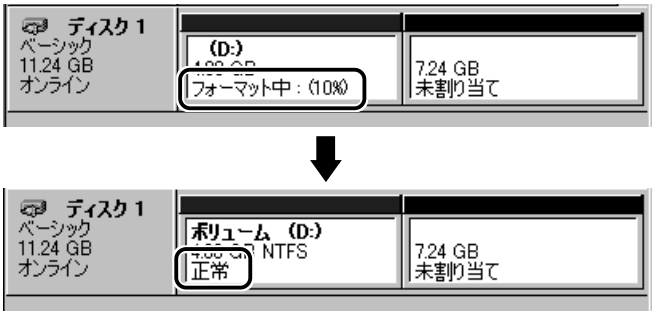
10 ［次へ］ボタンをクリックし、ウィザードに従って設定する

・パーティションの種類
・パーティションサイズ
・ドライブ文字またはパスの割り当て
・フォーマット
・ファイルシステム

プライマリパーティション、または拡張パーティションの作成ができますが、ここではプライマリパーティションを4GB・NTFSフォーマットで作成した場合を想定しています。
設定が完了すると、確認画面が表示されます。

11 設定内容を確認し、［完了］ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。
パーティションのステータスが［正常］に変われば完了です。



詳しくは「コンピュータの管理」のヘルプをご覧ください。

ヘルプの起動方法

［コンピュータの管理］-［操作］-［ヘルプ］をクリックする

Windows 2000 の場合

1 Administrators グループのユーザアカウントでログオンする

2 ［コントロールパネル］を開き、［管理ツール］アイコンをダブルクリックする

3 ［コンピュータの管理］をダブルクリックする

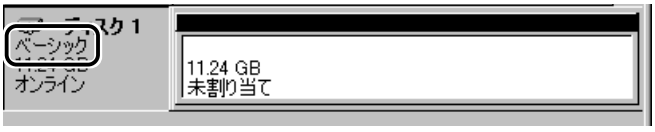
4 ［記憶域］-［ディスクの管理］をクリックする

ハードディスクを増設した後の最初の起動では、増設したハードディスク（例：ディスク 1）は［不明］と表示されます。

5 ［ディスク 1］の領域を右クリックし、表示されるメニューで［署名］をクリックする

6 署名するディスクをチェックし［OK］ボタンをクリックする

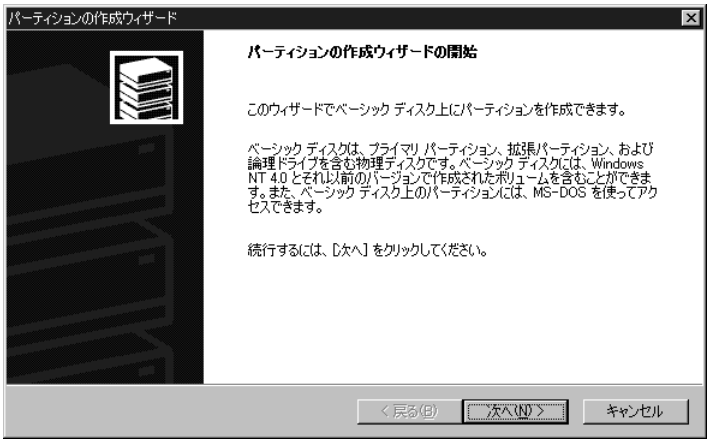
増設したハードディスク（例：ディスク 1）は［ベーシック］と表示されます。



7 増設したハードディスク（例：ディスク 1）の［未割り当て］の領域を右クリックする

8 表示されるメニューで［パーティションの作成］をクリックする

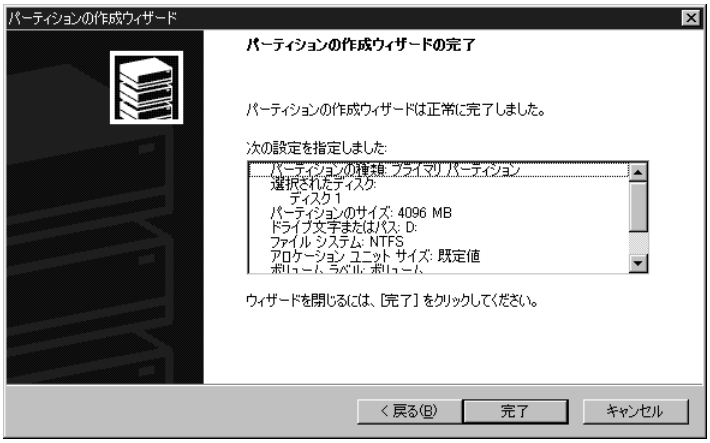
［パーティションの作成ウィザード］が起動します。



9 ［次へ］ボタンをクリックし、ウィザードに従って設定する

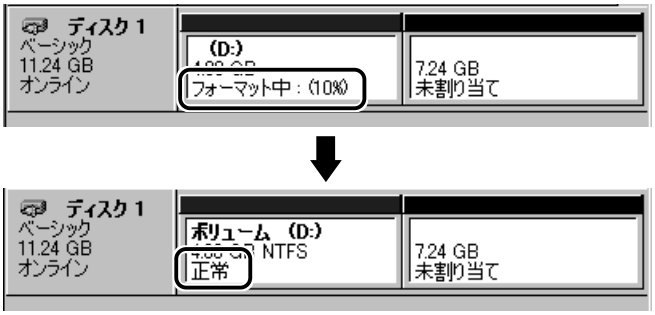
・パーティションの種類
・パーティションサイズ
・ドライブ文字またはパスの割り当て
・フォーマット
・ファイルシステム

プライマリパーティション、または拡張パーティションの作成ができますが、ここではプライマリパーティションを 4GB・NTFS フォーマットで作成した場合を想定しています。
設定が完了すると、確認画面が表示されます。



10 設定内容を確認し、［完了］ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。
パーティションのステータスが［正常］に変われば完了です。



詳しくは「コンピュータの管理」のヘルプをご覧ください。

ヘルプの起動方法

［コンピュータの管理］-［操作］-［ヘルプ］をクリックする

8 増設５型ドライブ

増設５型ドライブの取り付け

1 「本章 4 機器の拡張を行うときは」での事前の注意事項を確認する

2 本体カバーを取りはずす

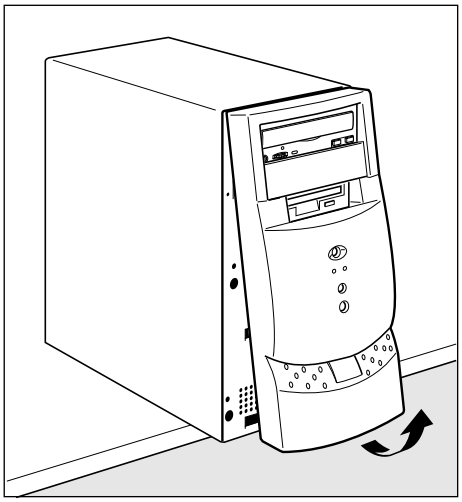
☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

3 安定した台の端に本体を置く

4 フロントベゼルを取りはずす

フロントベゼル底面のくぼみに手をかけ、手前に強く引いてください。

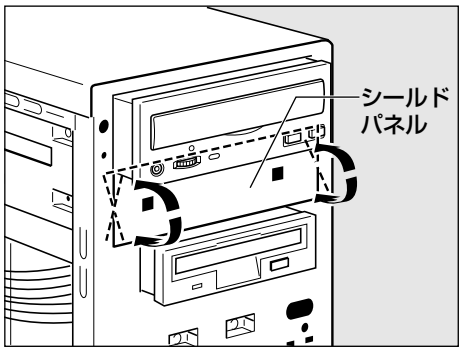
⚠ 注 意 ・台から本体が落ちないように、しっかりとおさえて作業を行ってください。



5 装着するオプションドライブによって、ドライブ側のジャンパスイッチやディップスイッチの設定をする

☞ 設定について ➪『それぞれのオプションに付属の説明書』

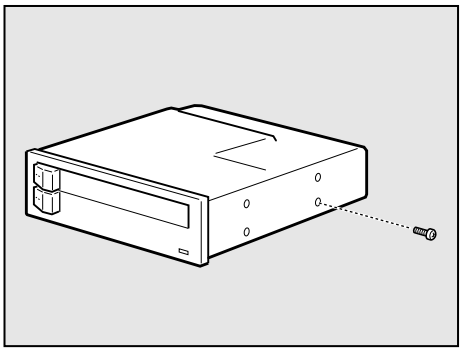
6 シールドパネルの矢印の位置を何度か押し、シールドパネルを取りはずす



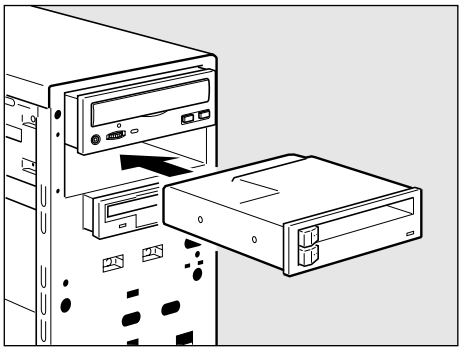
⚠ 注 意 ・シールドパネルを取りはずすときは、指を傷つけないように作業用手袋の使用をおすすめします。
シールドパネルを取りはずすときに折った部分はとがっていますので触れないでください。

7 本体同梱の増設５型ドライブ専用取り付けネジを図の位置に取り付ける

オプションドライブに付属のネジは、ここでは使用しないでください。

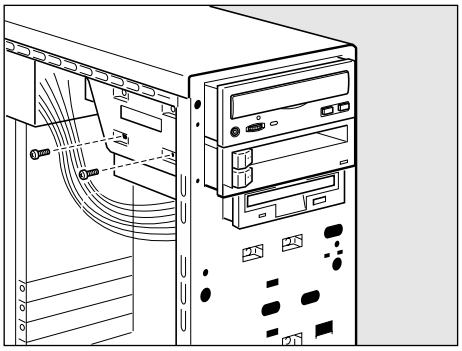


8 ファイルスロットにオプションドライブを取り付ける



9 オプションドライブに付属のネジ２本でオプションドライブを固定する

本体同梱のネジ（増設５型ドライブ専用取り付けネジ）は、ここでは使用しないでください。



10 オプションドライブとケーブルを接続する

ケーブルが正しい場所に接続されているか確認してください。

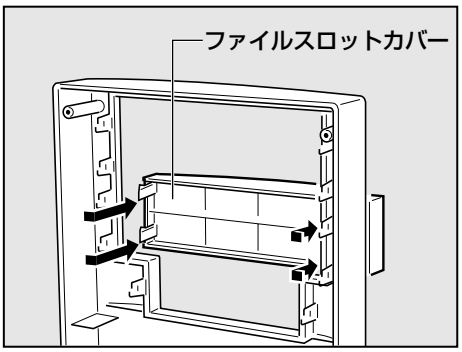
☞ オプションドライブのケーブル接続 ➪『オプションに付属の説明書』

11 電源コネクタをオプションドライブに接続する

12 本体カバーを取り付ける

☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

13 フロントベゼルに付いているファイルスロットカバーを取りはずす



お願い

・取りはずしたファイルスロットカバーはなくさないように大切に保管してください。

14 フロントベゼルを取り付ける

CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブの位置を合わせてかぶせ、フロントベゼルの中程と下側の左右を押してツメを押し込み、固定します。

15 電源コードとキーボードを接続する

16 本体前面の電源スイッチを押して電源を入れる

17 必要があれば、BIOS セットアップを起動し、設定を変更する

☞ BIOS セットアップ ➪「7 章 BIOS セットアップ」

増設５型ドライブの取りはずし

取り付け時の図を参照しながら作業を進めてください。

☞「本節 - 増設５型ドライブの取り付け」

1 「本章 4 機器の拡張を行うときは」での事前の注意事項を確認する

2 本体カバーを取りはずす

☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

3 安定した台の端に本体を置く

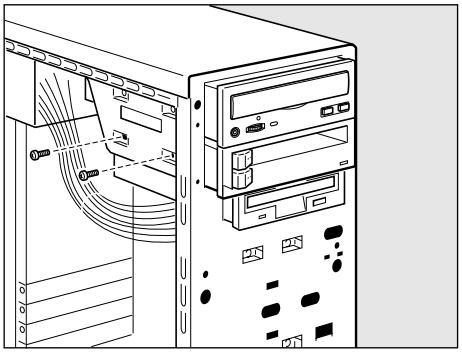
4 フロントベゼルを取りはずす

フロントベゼル底面のくぼみに手をかけ、手前に強く引いてください。

注 意 ・台から本体が落ちないように、しっかりとおさえて作業を行ってください。

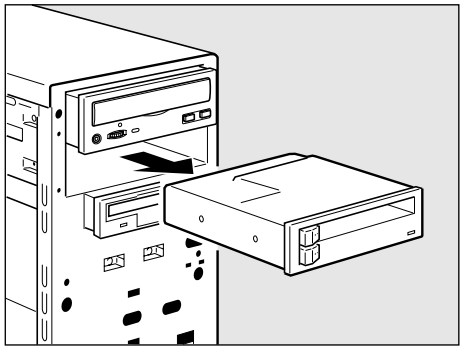
5 オプションドライブに接続されている電源コネクタとケーブルをはずす

6 オプションドライブを固定しているネジ2本をはずす

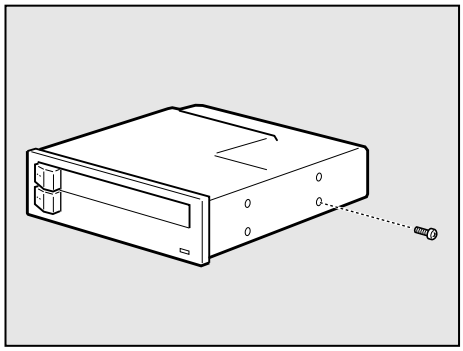


7 オプションドライブを引き抜く

取りはずしたドライブは、適切な箱などに入れて大切に保管してください。



8 オプションドライブから増設5型ドライブ専用取り付けネジ1本をはずす



9 フロントベゼルにファイルスロットカバーを取り付ける

10 フロントベゼルを取り付ける

CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブの位置を合わせてかぶせ、フロントベゼルの中程と下側の左右を押してツメを押し込み、固定します。

11 本体カバーを取り付ける

☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

12 電源コードとキーボードを接続する

13 本体前面の電源スイッチを押して電源を入れる

14 必要があれば、BIOS セットアップを起動し、設定を変更する

☞ BIOS セットアップ ➪「7 章 BIOS セットアップ」

9 増設メモリ

・必ずメモリに付属の説明書をお読みになったうえで作業を行ってください。
・増設メモリの取り付けが難しいと思われるかたは、保守サービスでの取り付けをおすすめします。同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションに作業をご依頼ください（有償です）。

本製品には次のメモリが取り付けられます。

128MB DIMMメモリ	ECCなし*1PC100規格または／PC133規格*2
256MB DIMMメモリ	

*1 ECC付きメモリも使用できますが、ECC機能はサポートされません。
*2 PC100(100MHz)での動作となります。

メインボード上の２つのメモリソケットには最大512MB（256MB × 2）のメモリを取り付けることができます（標準メモリとしてメモリが１枚または２枚取り付けられています）。
標準メモリを取りはずし、256MBのメモリを２枚実装することにより、最大512MBのメモリ容量にすることができます。
メモリ増設ソケットは、DIMM1がバンク０用、DIMM2がバンク１用です。

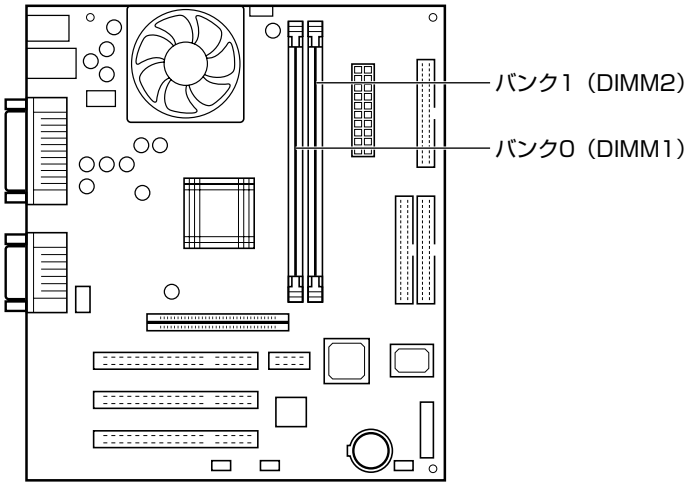
メモリ1枚	増設メモリ1枚	
	128MB	256MB
128MB	256MB	384MB
256MB	384MB	512MB

注 意
・メモリ増設の際は、ご使用のモデルにあったメモリを使用してください。異種のメモリを使用すると正常に動作しない場合があります。
・メモリを増設されるときは、必ず本製品のオプションをお買い求めください。その他の製品を使用することはできません。もし使用した場合は、本体が正常に動作しない、または故障の原因になります。

・システムバスクロック（FSB）とメモリの動作クロックは次のとおりです。

システムバスクロック	100MHz
メモリ動作クロック	100MHz（PC100対応）

・ECC機能はサポートしていません。



お願い

・カードエッジ（接点）は金メッキタイプを使用し、ハンダメッキは使用しないでください。本体が正しく動作しないことがあります。

増設メモリの取り付け

注 意

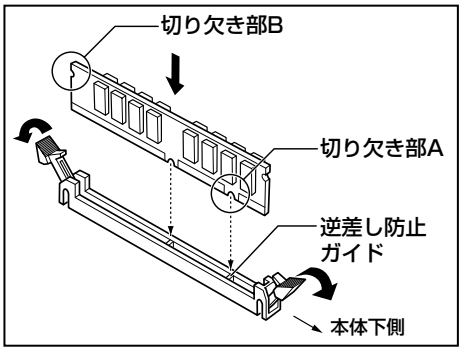
・増設メモリは、静電気に大変弱い部品で構成されています。身体に静電気を帯びた状態で増設メモリを扱うと、増設メモリが破壊する原因となります。増設メモリカードの取り付け／取りはずしを行う場合は、静電気を逃がしてから作業を行ってください。接地された手近にある金属製のものに軽く指をふれるだけで、静電気を防ぐことができます。

1 「本章 4 機器の拡張を行うときは」での事前の注意事項を確認する

2 本体カバーを取りはずす

☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

3 メモリ増設ソケットの左右のフックを外側に倒し、増設メモリの切り欠き部Aを、メモリ増設ソケットの逆差し防止ガイドに合わせる

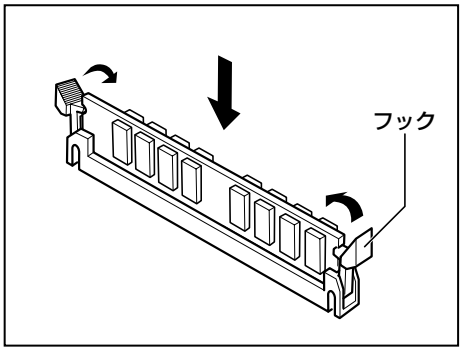


注 意

・増設メモリの挿入方向をまちがえないでください。まちがえて取り付けると増設メモリまたはメモリ増設ソケットを破損する原因になります。

4 メモリ増設ソケットの左右のフックが切り欠き部Bに掛かるように、増設メモリをしっかり押し込む

増設メモリが左右のフックで固定されます。



注 意 ・増設メモリが完全に挿入されていない状態で、使用すると、異常動作したり、増設メモリまたはメモリ増設ソケットを破損する原因になります。
・内部のケーブルをメモリとソケットではさみ込まないようにしてください。

お願い ・メモリの接点（金メッキ部）がきちんとソケットに入っていることを確認してください。正常に取り付けられていないと、システムが正常に起動できなかったり、故障の原因となります。

5 本体カバーを取り付ける

☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

以上で増設メモリの取り付けは完了です。
増設したメモリが認識されているか、次の「メモリ容量の確認」で確認してください。

メモリ容量の確認

Windows を起動し、「東芝 PC 診断ツール」を使用してメモリ容量の確認を行います。

1 ［スタート］-［すべてのプログラム］または［プログラム］-［東芝ユーティリティ］-［PC 診断ツール］をクリックする

2 ［基本情報の表示］ボタンをクリックする

3 ［メモリ］の数値を確認する

次のような場合は、増設メモリが正しく取り付けられていないか、故障している可能性があります。もう 1 度正しく増設メモリの取り付けを行ってください。

・電源が入らない
・システムが起動しない
・数値が合っていない

増設メモリの取りはずし

取り付け時の図を参照しながら作業を進めてください。

☞「本節 - 増設メモリの取り付け」

注 意 ・増設メモリは、静電気に大変弱い部品で構成されています。身体に静電気を帯びた状態で増設メモリを扱うと、増設メモリが破壊する原因となります。増設メモリの取り付け／取りはずしを行う場合は、静電気を逃がしてから作業を行ってください。接地された手近にある金属製のものに軽く指をふれるだけで、静電気を防ぐことができます。

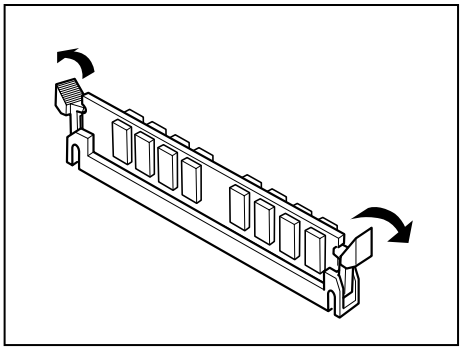
1 「本章 4 機器の拡張を行うときは」での事前の注意事項を確認する

2 本体カバーを取りはずす

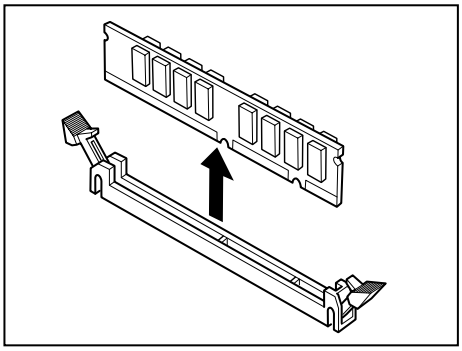
☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

3 メモリ増設ソケットの左右のフックを外側に倒す

増設メモリが少し出てきます。



4 増設メモリを真上に引き抜く



5 本体カバーを取り付ける

☞「本章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

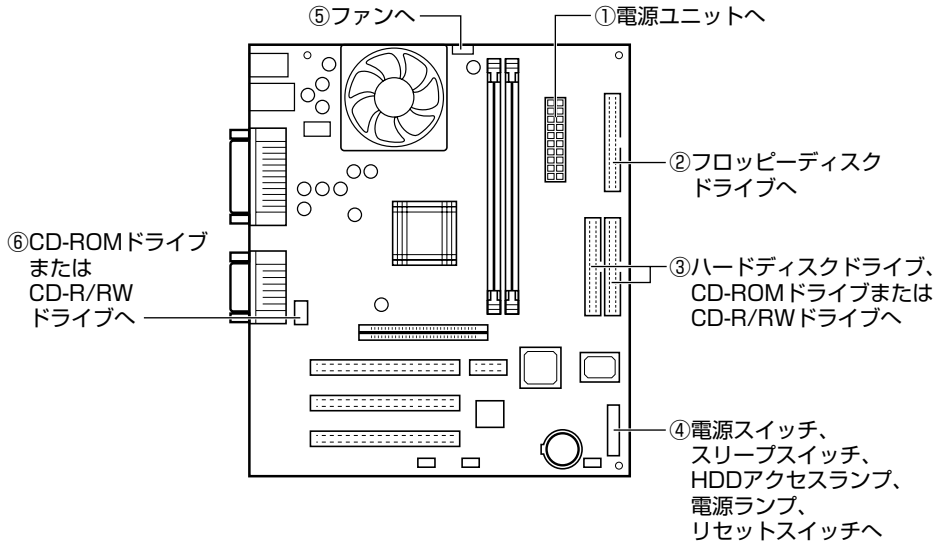
増設メモリを取りはずした後、メモリ容量が正しく認識されているか確認してください。

☞ メモリ容量の確認 ➪「本節 メモリ容量の確認」

10 内部ケーブルの接続

メインボードのコネクタ接続位置

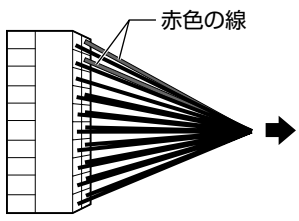
各コネクタの装置名は、接続先の装置を表します。



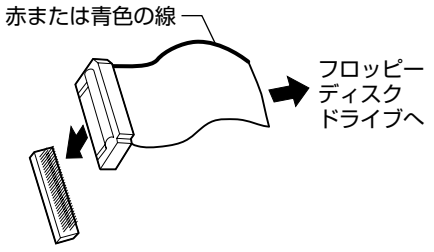
コネクタへの接続

コネクタへの接続方法を説明します。
接続の際は、コネクタの形状やケーブルの色に注意してください。
各イラストのタイトルは、接続先の装置を表します。

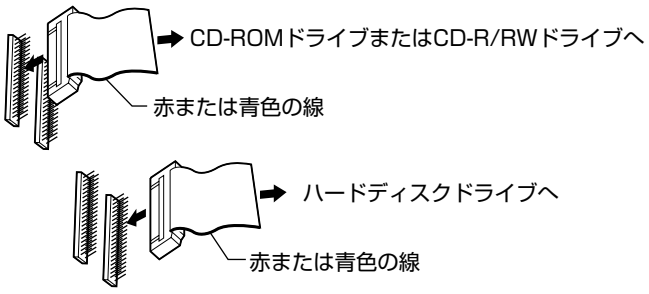
①電源ユニット



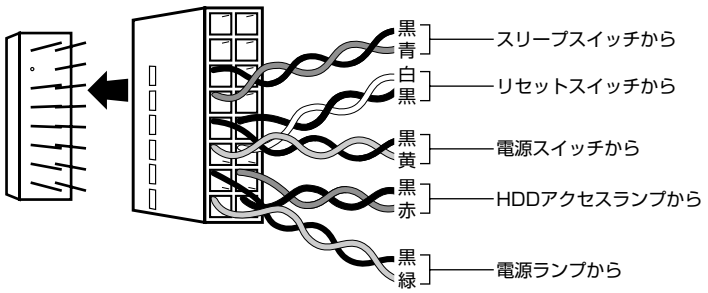
②フロッピーディスクドライブ



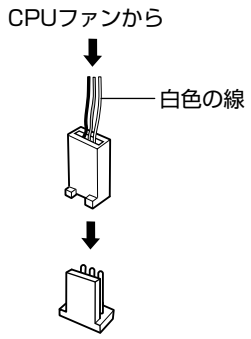
③ハードディスクドライブ、CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブ



④電源スイッチ、スリープスイッチ、HDDアクセスランプ、電源ランプ、リセットスイッチ



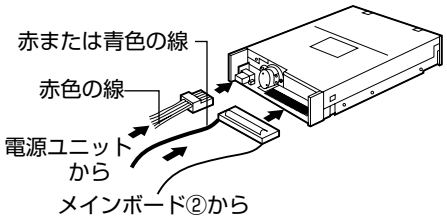
⑤ファン

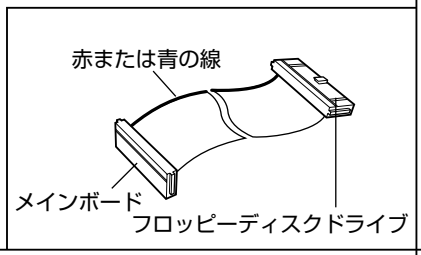


装置への接続

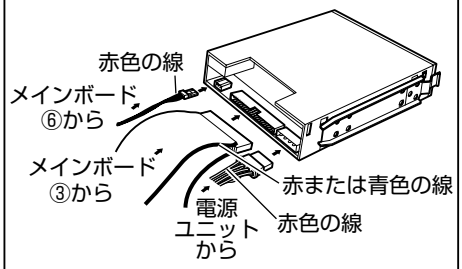
接続の際は、コネクタの形状やケーブルの色に注意してください。
各イラスト中の“メインボード＊から”という説明は、「メインボードのコネクタ接続位置」の接続装置名を表します。

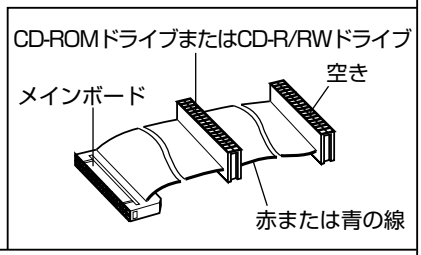
・フロッピーディスクドライブ



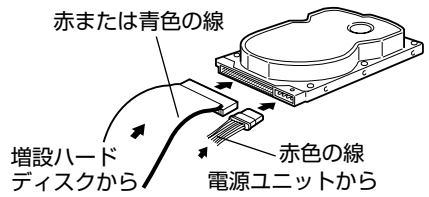


・CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブ

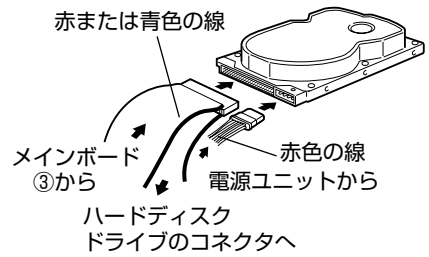


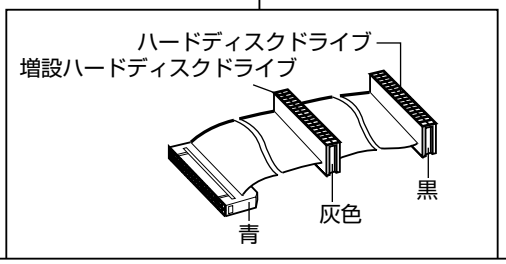


・ハードディスクドライブ



・増設ハードディスクドライブ





4

パソコンの取り扱い

日常のパソコンの取り扱いや消耗品について説明しています。

1 日常の取り扱いについて 94

2 内蔵バッテリの交換 99

1 日常の取り扱いについて

パソコン本体の取り扱い

携帯電話、無線機など電波を発生する機器を近くで使用した場合、動作に影響を与えることがあります。
その場合は、電波を発生する機器を本体から離してご使用ください。

連続運転について

長時間の（24 時間を超えるような）連続運転をしないでください。
パソコン本体を使わないときは、パソコン本体の電源を必ず切ってください。また、一時的に使用を中断するときは、パソコン本体前面のスリープスイッチを押してシステムを省電力モードにしてください。システム、ハードディスクドライブ、ディスプレイなどを省電力モードにすることができます。

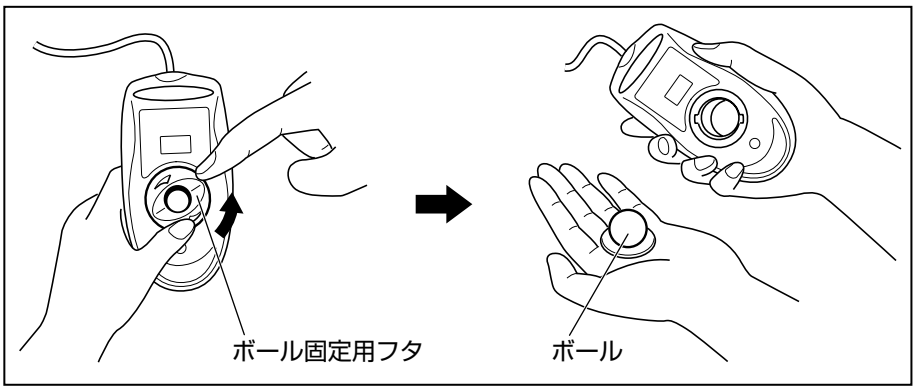
☞ 省電力モードについて ➪「2 章 3 省電力機能について」

長時間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

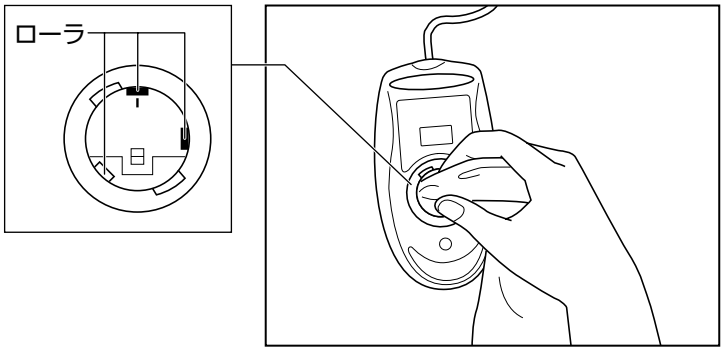
日常のお手入れと保管・運搬

- 本体の汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水を含ませた布で軽く拭き取ってください（ディスプレイ表示画面を除く）。
- ベンジンやシンナー、その他の薬品類を使うと変形または変色することがあります。また殺虫剤などをかけないようにしてください。
- 梱包箱を保管しておくと輸送などに使用でき便利です。
- 移動時に落とす、ぶつけるなどの強いショックを与えないようにしてください。誤動作したり、故障することがあります。
- CD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブは、市販のクリーナを使用しないでください。
- 電源ケーブルのプラグを長期間 AC コンセントに接続したままにすると、プラグやコンセントにホコリがたまることがあります。定期的にホコリを拭き取ってください。
- キーボードのキーの下やすきまに入ったホコリやゴミなどは、掃除機などで吸い出してください。
- マウスを長時間使用していると、ホコリなどがボールに付着し正常なマウスの動作を妨げ、動作不良の原因となることがあります。
  マウスのお手入れは、次の手順で行ってください。
  ①パソコン本体の電源を切ってください。

② マウス本体の裏面にあるボール固定用のフタを、矢印方向に回転させてはずし、ボールを取り出します（ネジは、絶対にはずさないでください）。



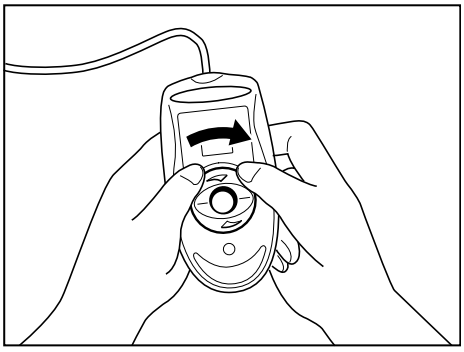
③ マウス内部のローラなどに付着した異物は、乾いた布で取り除いてください。



④ ボールを、水で洗います（中性洗剤を使用する場合はよくすすぎます）。

⑤ 乾いた布でボールの水分を拭き取り、十分乾燥させてからマウス本体に取り付けます。

⑥ ボール固定用のフタを、矢印方向に回転させて取り付けます。フタは、カチッと音がするまで回転させてください。



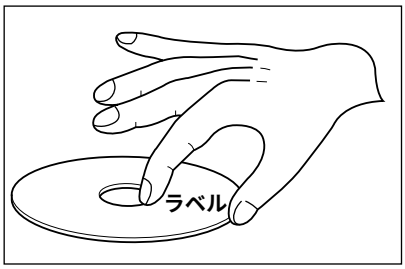
お願い

・ボール固定用のフタ以外は、絶対に分解しないでください。

CD の取り扱い

CD の内容は故障の原因にかかわらず保証できません。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

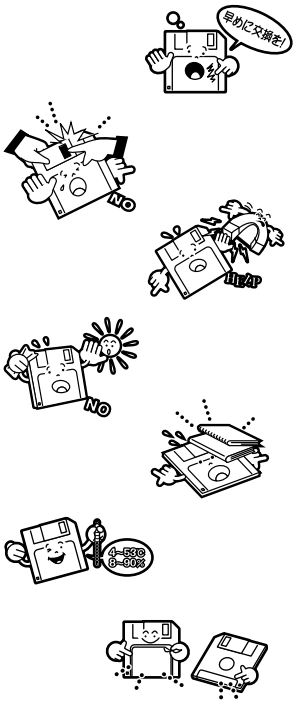
- CD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD を読み込むことができなくなります。
- CD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD の上に重いものを置かないでください。
- CD は専用のケースに入れ、保管してください。
- CD を持つときは、外側の溝か、中央の穴のところを持つようにしてください。データ記憶面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。



- CD のデータ記憶面に文字などを書かないでください。
- CD が汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。もし乾燥した布で拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。
  ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

フロッピーディスクの取り扱い

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。



- フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
  フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- シャッター部は開けないでください。また、磁性面には触れないでください。磁性面が汚れると使用できなくなります。
- スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。記録した内容が消失するおそれがあります。
- 直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
- 本やノートなど重いものを上に載せないでください。
- 次の範囲内の環境で保管してください。
  保管温度　4～53℃
  保管湿度　8～90%Rh
- ラベルは正しい位置に貼ってください。貼りかえるときは重ね貼りしないでください。
- ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
- 保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
- 食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。
- 3.5 型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。
  他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスクドライブの寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形 式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

妨害電波・電圧について

本製品はVCCI（情報処理装置等電波障害自主規制協議会）基準に適合している製品ですが、絶対に障害が発生しないということではありません。テレビ、ラジオへの影響がある場合は次のことを試みてください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える。
- テレビ、ラジオに対する本製品の方向を変える。
- テレビ、ラジオから離す。
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う。
- 受信機に屋外アンテナを使う。
- 平行フィーダを同軸ケーブルに替える。
- コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてみる。

以上のような対策を行ってみてもまったく効果がない場合は、お近くのサービスステーションへご相談ください。
VCCIマークのついていない周辺機器を接続すると、テレビ、ラジオなどに影響が出ることがありますのでご注意ください。

修理・サービスについて

保証期間中および保証期間後の保守サービスについては、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

② 内蔵バッテリの交換

このバッテリは時計およびシステム構成情報（BIOS セットアップの設定内容）を保持するためのものです。内蔵バッテリを交換する（取りはずす）と、BIOS セットアップの再設定を行う必要があります。
通常の使用環境では、バッテリの寿命は約３年です（使用環境や保管状態により、満たされない場合があります）。
バッテリが寿命に達すると、次のメッセージが表示されますので手順に従って交換を行ってください。

```
CMOS Battery Low.
```

⚠ 注 意　・本製品の内蔵バッテリには、リチウム電池が使われています。リチウム電池の取り扱いについては、次のことを必ずお守りください。
取り扱いを誤ると、発熱、破裂、発火、中毒、やけどなどの危険があります。
・充電、電極除去、分解をしない
・100℃以上の加熱、焼却をしない
・電池は水にぬらさない
・子供が飲み込んだりしないよう、十分注意する
・電池の内部の液がもれたときは、液にふれない
リチウム電池を廃棄する場合は、地方自治体の条例、または規則に従ってください。

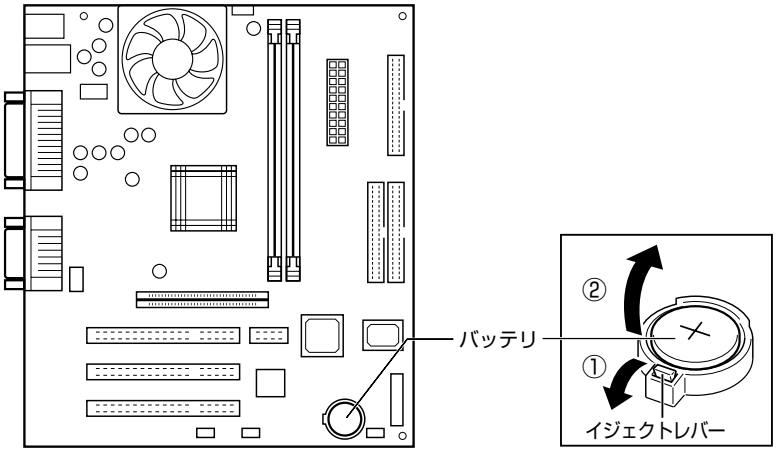
お願い
・電池を取りはずすと、システム構成情報（BIOS セットアップでの設定）が失われます。あらかじめシステム構成情報を控えておき、電池を交換した後で設定し直してください。
☞「7 章 BIOS セットアップ」
・本製品に使用できる内蔵バッテリは CR2032 リチウム電池です。交換の際は、市販の CR2032 リチウム電池をお買い求めのうえ、ご使用ください。

バッテリの交換は必ず次の手順に従ってください。

1 「3 章 4 機器の拡張を行うときは」での事前の注意事項を確認する

2 本体カバーを取りはずす
☞「3 章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

3 イジェクトレバーを図の①の方向へ押す
バッテリが少し浮き上がります②。



・バッテリが浮き上がらない場合は、イジェクトレバーの部分だけを押してください。
ケースの部分を一緒に押さえていると、レバーは押せません。

4 新しいバッテリを（＋）を上にして取り付ける

・バッテリの極性（＋、－）を間違えないように取り付けてください。
＋側は、「+」マークや「CR2032」と表示されている側です。

5 本体カバーを取り付ける

☞「3 章 5 本体カバーの取りはずし／取り付け」

・BIOS セットアップの設定は、既定値の状態になっています。電源 ON 時に BIOS セットアップを起動し、もう 1 度設定してください。
☞ BIOS セットアップについて ➪「7 章 BIOS セットアップ」

5

再セットアップ

本製品に同梱されているリカバリ CD を使って、
システムやアプリケーションをご購入時の状態に戻すことができます。
本章では、リカバリ CD の使いかたについて説明します。

1 再セットアップとは 102

2 再セットアップする 103

1 再セットアップとは

システムやアプリケーションをリカバリ（復元）することを再セットアップといいます。

再セットアップが必要なとき

次のようなときに、再セットアップしてください。

- C ドライブをフォーマットしてしまった
- ハードディスク内のシステムファイルを削除してしまった
- 電源を入れても、システム（Windows）が起動しない
- パソコンが正しく動作しない　など

再セットアップする前に

「6 章 困ったときは」に、いろいろなトラブル解決方法が書かれています。そちらをご覧のうえ、解決できないときに再セットアップしてください。

再セットアップすると、ハードディスク内に保存されていたデータは、すべて消えてしまいます。ご購入後に作成したファイルなど、必要なデータは、あらかじめ外部記憶メディアにバックアップをとってください。

また、再セットアップ後も現在と同じハードウェア設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

リカバリ CD ／アプリケーション CD について

本製品には再セットアップのときに使用するリカバリ CD（「Product Recovery CD-ROM」）が同梱されています。

☞「本章 2 再セットアップする」

また、本製品に添付されているアプリケーションが入っているアプリケーション CD（「Application CD-ROM」）も同梱されています。

アプリケーションなどの一覧および概要、注意事項とインストール方法についてはアプリケーション CD を CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにセットし、表示される初期画面をご覧ください。

・リカバリ CD ／アプリケーション CD は絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② 再セットアップする

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元します。

必要なもの

次のものを使用します。

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）

アプリケーションモデルの場合は、上記に加えて製品に同梱されている次のものを使用します。

- Microsoft® Office XP Personal CD-ROM
- Microsoft® Bookshelf® Basic CD-ROM

操作手順

注 意

・復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行ってください。

・BIOS セットアップの［Advanced CMOS Setup］で［1st Boot Device］、［2nd Boot Device］、［3rd Boot Device］の設定がご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行ってください。
☞ BIOS セットアップについて ➪「7 章 BIOS セットアップ」

メモ

・ご購入時の状態でシステムを復元した場合、工場出荷時のパーティション設定は、約半分の領域が C ドライブ（NTFS）に設定されています。残りの領域をドライブとして使用するには、「ディスクの管理」を使用してください。

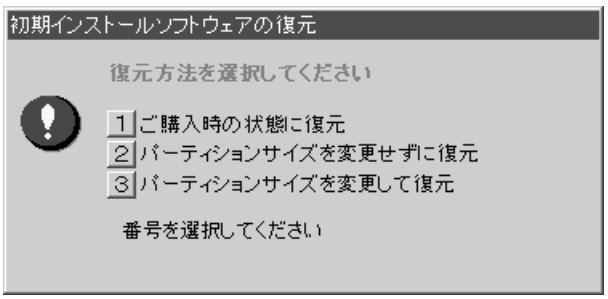
1 パソコンをご購入時の状態に戻す

取り付けた拡張カード類や周辺機器などはすべて取りはずし、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。

2 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットする

3 パソコンを再起動する

「復元方法を選択してください」というメッセージが表示されます。



4 ご購入時の状態に復元する場合は1キーを、現在のパーティション設定をそのまま使用する場合は2キーを、パーティション設定を変更する場合は3キーを押す

「SPARE DISK TOOL」を使用する場合は1キーを押してください。

●1キーまたは 2キーを押した場合：

「復元を開始します！よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

●3キーを押した場合：

［パーティションサイズの割合］画面が表示されます。

①←→キーを使ってパーティションサイズを変更する

ここではパーティション１のサイズを設定します。ディスク容量が残った場合はパーティション２として設定されます。

②Enterキーを押す

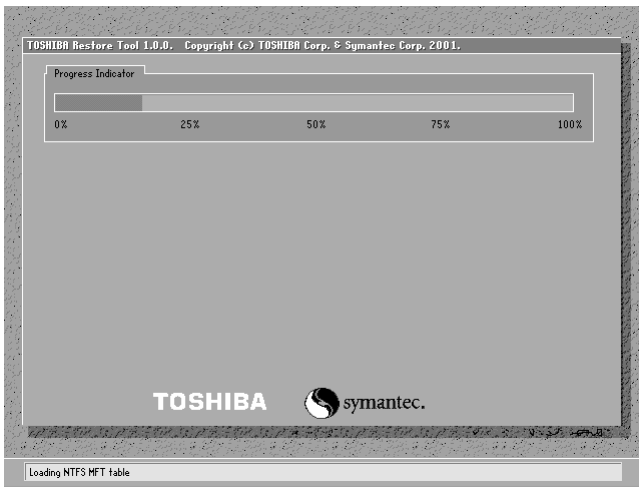
「復元を開始します！よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

5 復元を行う場合はYキーを、復元を中止する場合はNキーを押す

Yキーを押すと「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

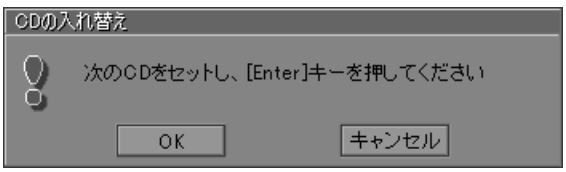
6 復元を続行する場合はYキーを、復元を中止する場合はNキーを押す

復元中は、次の画面が表示されます。

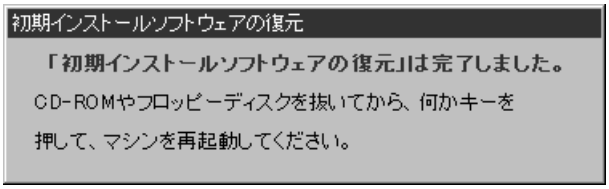


7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合、CDを入れ替え、Enterキーを押してください。処理が続きます。



復元の進行状況を示すグラフ表示が、100%まで伸びた後、もう1度0%から始まります。
グラフが2度目に100%に達し、次の画面が表示されたら完了です。



8 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

9 Windowsのセットアップを行う

☞ Windowsのセットアップについて ➪「1章 4 初めて電源を入れるときは」

アプリケーションモデルの場合

Microsoft Office (*1)、は、以上の手順では復元されません。
Windowsのセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されている説明書を参照のうえ、復元してください。

(*1) Microsoft® Office XP Personal および Microsoft® Bookshelf® Basic

6

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1 困ったときのQ＆A 108

1 困ったときのQ&A

本製品がうまく操作できないとき、動作がおかしいと感じたときには、本章をお読みください。
各システムのコマンドを使用しているときにエラーメッセージが表示された場合は、『各システムに付属の説明書』をご覧ください。
アプリケーションソフトをご使用のかたは、それぞれの『アプリケーションソフトに付属の説明書』をお読みください。

- 電源が入らない 108
- 正常に起動しない 109
- エラーメッセージが表示される 109
- 画面の表示がおかしい 109
- キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない 110
- マウスの操作ができない 111
- フロッピーディスクドライブが使えない 111
- フロッピーディスクが使えない 112
- アプリケーションソフトが使えない 113
- ハードディスクドライブが使えない 113
- CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブが使えない 114
- サウンドが鳴らない 114
- 印刷できない 115
- テレビ、ラジオに障害が出る 115
- 省電力機能が正常に動作しない 116
- 異常や故障の場合 116
- どうしてもわからない場合 116

電源が入らない

状 況 ●本体の電源が入らない

確 認 電源コードはパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込まれていますか？

対 処 ●電源コードをパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込んでください。

確 認 AC スイッチは ON になっていますか？

対 処 ●本体背面の AC スイッチを ON にしてください。

確 認 電源ランプは点灯していますか？

対 処 ●電源スイッチを押してください。

確 認 電源コンセントに電源が通じていますか？

対 処 ●電源の通じている電源コンセントに差してください。

正常に起動しない

状 況 ●システムが正常に起動しない

確 認 オプションカードを増設しましたか？

対 処 ●オプションカードスロットを変更してください。

エラーメッセージが表示される

状 況 ●起動時にエラーメッセージが表示される

確 認 システムの入っていないフロッピーディスクがセットされていませんか？

対 処 ●フロッピーディスクを抜き出してから、再起動してください。

確 認 電源を切って、また、すぐに入れませんでしたか？

対 処 ●電源を切ってから５秒以上待って電源を入れてください。

●「付録 3 エラーメッセージ」をご覧のうえ、メッセージに対応した処置を行ってください。

状 況 ●アプリケーションソフト使用時にエラーメッセージが表示される

対 処 ●『アプリケーションソフトに付属の説明書』をお読みください。

状 況 ●「CMOS Battery Low.」というエラーメッセージが表示される

確 認 内蔵バッテリが消耗していませんか？

対 処 ●内蔵バッテリを交換してください。
☞「4 章 2 内蔵バッテリの交換」

画面の表示がおかしい

状 況 ●画面に何も映らない

確 認 パソコン本体およびディスプレイの電源は入っていますか？

対 処 ●電源を入れてください。

確 認 ディスプレイ用電源コードは接続されていますか？

対 処 ●電源をいったん切ってから、コンセントに差し込んでください。

確 認 ディスプレイ用信号ケーブルは正しく接続されていますか？

対 処 ●信号ケーブルの固定用ネジにゆるみがないように正しく接続してください。

確　認　表示自動停止機能が働いていませんか？

対　処　●Shiftキーを押したり、マウスを動かしたり、電源スイッチを押してください。

確　認　USB 対応機器は接続していますか？

対　処　●接続されているUSB 対応機器によっては、USB 対応機器の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入れると、パソコン本体が起動しない場合があります。パソコン本体の電源を入れてからUSB 対応機器の電源を入れてください。

確　認　ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行いましたか？

対　処　●ご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。
また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバとユーティリティの再インストールを行ってください。

状　況　●画面の表示が乱れる、あるいは画面のサイズや表示位置などが異常である

確　認　ディスプレイの輝度、コントラスト等の調整および、各調整スイッチでの調整は正しくできていますか？

対　処　●輝度、コントラストおよび各調整スイッチを用いて、正しく調整してください。
☞『ディスプレイに付属の説明書』

確　認　ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行いましたか？

対　処　●ご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。
また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバとユーティリティの再インストールを行ってください。

キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない

状　況　●キーボードから入力できない

確　認　キーボードのプラグをマウスコネクタに接続していませんか？

対　処　●キーボードのプラグをキーボードコネクタに接続してください。

状 況 ●どのキーを押しても反応しない

対 処 ● Ctrl + Alt + Delete キーを押してください。

●電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。

状 況 ●半角の「 ~ 」（チルダ）が入力できない

対 処 ● Shift + ~ ^ へ キーを押してください。

状 況 ●希望の文字が入力できない

対 処 ●キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。お使いの日本語入力システムに付属の説明書を参照して、文字ロックを希望の状態にしてください。

マウスの操作ができない

状 況 ●マウスを操作しても反応しない

確 認 マウスがキーボードコネクタに接続されていませんか？

対 処 ●マウスをマウスコネクタに接続してください。

フロッピーディスクドライブが使えない

状 況 ● システムが入ったフロッピーディスクをセットし、 Ctrl + Alt + Delete キーを押しても、システムが再起動しない

確 認 システムが入っていないフロッピーディスクをセットしていませんか？

対 処 ●システムが入ったフロッピーディスクをセットしてください。

確 認 フロッピーディスクは正しく挿入されていますか？

対 処 ●正しく挿入されていない場合があります。フロッピーディスクを 1 度抜いて、挿入し直してください。

どうしてもフロッピーディスクドライブが使えない場合は、フロッピーディスクドライブが故障しているおそれがあります。お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションへご連絡ください。

状 況 ● FDD アクセスランプが消えない

対 処 ● 大量のデータを処理しているときは、ランプが消えるまで待ってください。どうしてもランプが消えないときは、作業を中断（フロッピーディスクを取り出してから電源を切る、または Ctrl + Alt + Delete キーを押す）してください。再起動後、同じ作業を繰り返してみて、それでも FDD アクセスランプが消えない場合は、お買い上げの販売店、もしくは同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションへご連絡ください。

フロッピーディスクが使えない

状 況 ●「書き込み禁止です。」というエラーメッセージが表示された

確 認 フロッピーディスクが書き込み禁止状態になっていませんか？

対 処 ● フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にしてください。
☞ 書き込み可能状態について ➪「3 章 3 フロッピーディスクドライブ」

状 況 ●「ファイルが作れません。」というエラーメッセージが表示された

確 認 フォルダは作成されていますか？

対 処 ● フォルダを作って、そこにファイルを作ってください。

状 況 ●「ディスクがいっぱいです。」というエラーメッセージが表示された

確 認 ディスクの空き容量が少なくありませんか？

対 処 ● 不要なファイルを削除して、やり直してください。
● 別のフロッピーディスクを使用してください。

状 況 ● フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを挿入しているのに、「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」というメッセージ画面が表示される

対 処 ● ［キャンセル］ボタンをクリックして画面を閉じた後、フロッピーディスクを挿入し直して、もう 1 度アクセスを行ってください。

状 況 ●フロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクを挿入しているのに、「ドライブAのディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？」というメッセージ画面が表示される

確 認 フロッピーディスクはフォーマットされていますか？

対 処 ●フロッピーディスクがフォーマットされている場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてメッセージ画面を閉じた後、フロッピーディスクを挿入し直して、もう1度アクセスを行ってください。

●フロッピーディスクがフォーマットされていない場合、書き込み（データの保存）ができません。このままフォーマットをする場合は、［はい］ボタンをクリックしてください。

アプリケーションソフトが使えない

状 況 ●アプリケーションソフトが思うように動かない

確 認 システム構成は正しく設定されていますか？

対 処 ●『アプリケーションソフトに付属の説明書』を読んで、指示があればシステム構成を変更してください。

状 況 ●アプリケーションソフトが動かない

確 認 そのアプリケーションソフトはシステムに対応していますか？

対 処 ●システムに対応していないアプリケーションソフトは使えません。お使いのシステムに対応しているアプリケーションソフトをお買い求めください。

ハードディスクドライブが使えない

状 況 ●データの読み／書きができない

対 処 ●故障しているおそれがあるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。

CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブが使えない

※内蔵されているドライブの種類は、ご購入のモデルによって異なります。

状 況 ● CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにアクセスできない

確 認 CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイはきちんとしまっていますか？

対 処 ● CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイを正しく格納してください。

確 認 CD がきちんとセットされていますか？

対 処 ● CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイを引き出し、ラベルが付いている方を上にして、CD をセットしてください。

確 認 CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイに異物がありませんか？

対 処 ● 何かはさまっていたら取り除いてください。

確 認 CD が汚れていませんか？

対 処 ● 水か中性洗剤で湿らせた布で、汚れを拭き取ってください。

確 認 対応していないフォーマットの CD をセットしていませんか？

対 処 ● CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブが対応しているフォーマットの CD をセットしてください。

☞「3 章 2 CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブ」

状 況 ● CD が取り出せない

確 認 電源が切れていませんか？

対 処 ● 電源を入れてから、CD を取り出してください。

サウンドが鳴らない

状 況 ● 音楽用 CD や WAV ファイルを再生しても、音が出ない

確 認 ボリュームが下がっていませんか？

対 処 ● ［スタート］-［すべてのプログラム］または［プログラム］-［アクセサリ］-［エンターテイメント］-［ボリュームコントロール］から音量を確認してください。

確 認 外部スピーカが接続されていますか？

対 処 ● 本体背面の LINE OUT 端子に外部スピーカ（別売り）が正しく接続されているか確認してください。

印刷できない

状 況 ●本体に接続したプリンタが動作しない

確 認 プリンタの電源は入っていますか？

対 処 ●本体の電源をいったん切り、プリンタ、本体の順で電源を入れ直してください。

確 認 接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていますか？

対 処 ●正しく接続してください。

状 況 ●画面上の表示と異なった印刷物が出てきたり、うまく印刷できない

確 認 アプリケーションソフト上でのプリンタの設定条件は、ご使用のプリンタの設定に合っていますか？

対 処 ●アプリケーションソフト上、またはWindowsのプリンタ設定で正しく設定し直してください。
☞『アプリケーションソフトに付属の説明書』

確 認 BIOSセットアップでのパラレルモード設定は合っていますか？

対 処 ●BIOSセットアップの［Peripheral Setup］の［OnBoard Parallel Port］をお使いのプリンタに合わせて設定してください。
☞「7章 BIOSセットアップ」
☞『プリンタに付属の説明書』

テレビ、ラジオに障害が出る

状 況 ●テレビ、ラジオの調子がおかしい

確 認 テレビ、ラジオの近くにパソコン本体やディスプレイを置いていませんか？

対 処 ●テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変えてください。

●テレビ、ラジオに対するパソコン本体やディスプレイの方向を変えてください。

●テレビ、ラジオから離してください。

●テレビ、ラジオの電源コンセントとは別の電源コンセントを使ってください。

●電源コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてください。

●受信機に屋外アンテナを使ってください。

●平行フィーダを同軸ケーブルに替えてください。

省電力機能が正常に動作しない

状 況 ●省電力機能が正常に動作しない

確 認 市販のオプションカードまたはUSB対応機器を使用していますか？

対 処 ●オプションカードまたはUSB対応機器の種類によっては、省電力機能が正常に動作しない場合があります。
BIOSセットアップを起動し、［Power Management Setup］の［ACPI Standby State］を［S1/POS］に設定してください。
☞「7章 BIOSセットアップ」

●Windows上の省電力機能を使用しないでください。
☞「2章 3 省電力機能について」

異常や故障の場合

状 況 ●異常な臭いや過熱に気がついた

対 処 ●電源を切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

●次のところに連絡してください。
・お買い上げの販売店

それでもわからない場合は、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。

・使用している機器の名称
・ご購入年月日
・現在の状態

できるだけ詳細にご連絡ください。

どうしてもわからない場合

操作できない原因がどうしてもわからない場合は、巻末の「トラブルチェックシート」で必要事項をご確認のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにご連絡ください。
お近くのサービスステーションについては、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。

7

BIOS セットアップ

本章では、BIOS セットアッププログラムの使いかたと機能について説明します。
BIOS セットアッププログラムを使って、パソコン本体のシステム構成の設定や、
パスワードの登録／削除などができます。

1 BIOS セットアップとは 118
2 BIOS を工場出荷時設定に戻すには 122
3 Standard CMOS Setup の詳細 126
4 Advanced CMOS Setup の詳細 128
5 Advanced Chipset Setup の詳細 131
6 Power Management Setup の詳細 ... 134
7 PCI/Plug and Play Setup の詳細 138
8 Peripheral Setup の詳細 139
9 Hardware Monitor Setup の詳細 142
10 Auto-Detect Hard Disks 144
11 パスワードの設定 145

1 BIOS セットアップとは

BIOS セットアップとは、パスワードやハードディスク、周辺機器の使いかたなどを本体に設定するプログラムのことです。
BIOS セットアップで設定された情報は、CMOS-RAM と呼ばれる特殊なメモリに保存され、電源を切っても設定した内容が消失しないように内蔵バッテリで保持されます。
メモリの増設の変更をしない限り、1 度 BIOS セットアップを行えば以降は必要ありません。ただし、内蔵バッテリが消耗すると BIOS セットアップは既定値に戻りますので、設定した内容はメモをとるなどして忘れないようにしてください。
なお、BIOS セットアップの内容は出荷時期により多少異なる場合があります。

メモ ・BIOS セットアップ画面は英語表示のみです。日本語での、項目／説明の表示はありません。

1 起動方法

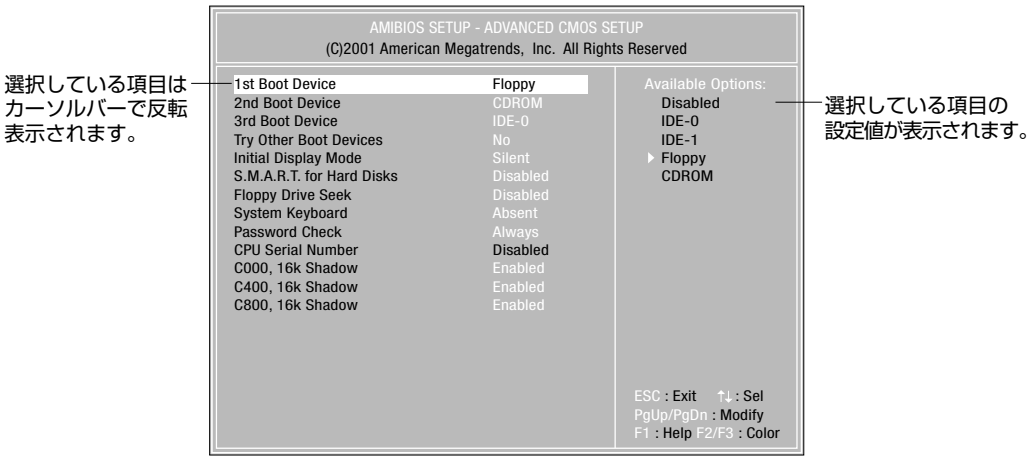
1 電源を入れた直後（起動時）に Delete キーを押す

起動時に、次の「TOSHIBA」画面が表示されます。目安として、この画面表示中に Delete キーを押します。

お願い ・Delete キーの入力が受け付けられるのは、パソコンの電源を入れてから数秒間です。この時間内に Delete キーを押さないと、システムが起動します。
BIOS セットアップが起動できなかった場合は、通常の終了操作を行ってパソコン本体の電源を切り、上記の手順 1 をやり直してください。

2 操作方法

BIOS セットアップ画面について



使用するキーについて

BIOS セットアップでは、マウスが使用できないため、キーボード上のキーで、メニューや項目の移動、値の入力などを行います。
ここでは、BIOS セットアップで主に使用するキーについて説明します。

● ↑キー

1 つ前の項目に移動します。

● ↓キー

1 つ先の項目に移動します。

● PageUpキー

項目の選択値を 1 つ前の値に変更します。

● PageDownキー

項目の選択値を 1 つ後の値に変更します。

● F10キー

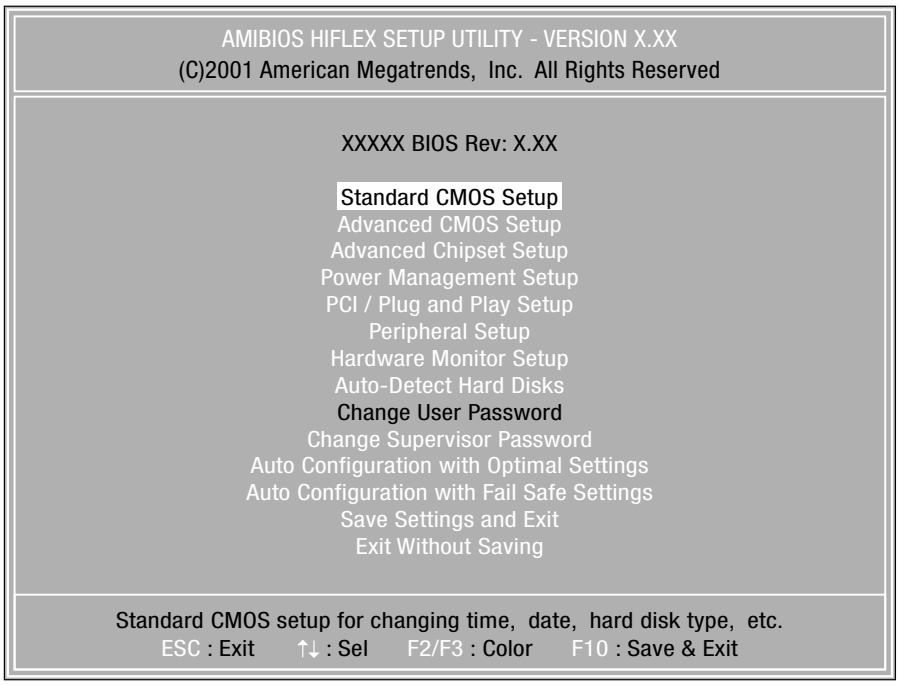
現在の設定を保存し（CMOS-RAM に書き込み）、BIOS セットアップを終了して、システムを起動します。
メインメニュー画面で、F10キーを押すと「Save current settings and exit (Y/N) ? Y」というメッセージが表示されます。設定を保存して終了する場合はYキーを、保存しないでセットアップを続ける場合はNキーを押してEnterキーを押します。

● Esc キー

メインメニュー画面で Esc キーを押すと「Quit without saving（Y/N）？ N」というメッセージが表示されます。設定を保存しないで終了する場合には Y キーを、終了しないでセットアップを続ける場合は N キーを押して Enter キーを押します。
サブメニュー中では、1 つ前の状態に戻したり、1 つ前の画面を表示します。

3 メインメニュー

メインメニューは次のような画面です。



BIOS セットアップには次のサブメニューがあります。
詳細を表示する、または機能を実行するには、サブメニューを選択して Enter キーを押します。

● Standard CMOS Setup
日付や時刻などを設定します。

● Advanced CMOS Setup
起動するドライブや、ディスプレイの表示などを設定します。

● Advanced Chipset Setup
チップセットの設定をします。

● Power Management Setup
省電力などの設定をします。

● PCI / Plug and Play Setup
プラグアンドプレイの設定をします。

● Peripheral Setup
周辺機器の設定をします。

● Hardware Monitor Setup
本製品の動作状態を表示します。

● Auto-Detect Hard Disks
接続されているドライブを検出します。

・ドライブが接続されると［Standard CMOS Setup］の項目にある［Type］が［Auto］以外の接続されているドライブに変わります。

● Change User Password
ユーザパスワードの設定・変更をします。
管理者パスワード（Supervisor Password）が設定されている場合のみ有効です。

● Change Supervisor Password
管理者パスワードの設定・変更をします。

● Auto Configuration with Optimal Settings
設定を初期状態に戻します。

● Auto Configuration with Fail Safe Settings
設定をフェイルセーフの初期状態に戻します。
システムが正常に動かなくなってしまった場合にのみ使用します。

● Save Settings and Exit
設定した内容をCMOSに保存し、セットアップを終了します。

● Exit Without Saving
変更内容をCMOSに保存しないでセットアップを終了します。

② BIOSを工場出荷時設定に戻すには

1 **BIOSセットアップを起動する**

☞ BIOSセットアップの起動方法 ➪「本章 1-1 起動方法」

2 **メインメニューより［Auto Configuration with Optimal Settings］を選択し、Enterキーを押す**

「Load high performance settings（Y/N）？N」というメッセージが表示されます。

3 **Yキーを押す**

4 **各項目を工場出荷時の設定にする**

☞「本節 - 工場出荷時の設定値」

5 **Escキーを押してメインメニューに戻り、F10キーを押す**

「Save current settings and exit（Y/N）？Y」というメッセージが表示されます。

6 **［Y］が選択されていることを確認し、Enterキーを押す**

変更した設定を保存して終了します。

工場出荷時の設定値

Standard CMOS Setup

項 目		工場出荷時の設定値	既定値
Date		–	
Time		–	
Floppy Drive A		1.44M 3 1/2	
Floppy Drive B		Not Installed	
Pri Master	Type	Auto	
	32Bit Mode	Auto	
Pri Slave	Type	Auto	
	32Bit Mode	Auto	
Sec Master	Type	Auto	
	32Bit Mode	Auto	
Sec Slave	Type	Auto	
	32Bit Mode	Auto	
Boot Sector Virus Protection		Disabled	

Advanced CMOS Setup

項 目	工場出荷時の設定値	既定値
1st Boot Device	Floppy	CDROM
2nd Boot Device	CDROM	Floppy
3rd Boot Device	IDE-0	
Try Other Boot Devices	No	Yes
Initial Display Mode	Silent	
S.M.A.R.T. for Hard Disks	Disabled	
Floppy Drive Seek	Disabled	
System Keyboard	Absent	Present
Password Check	Always	
CPU Serial Number	Disabled	
C000, 16k Shadow	Enabled	
C400, 16k Shadow	Enabled	
C800, 16k Shadow	Enabled	

Advanced Chipset Setup

項 目	工場出荷時の設定値	既定値
CPU Ratio Selection	12.0x	7.5x
System Memory Frequency	Auto	
DRAM Refresh	15.6uS	
DRAM Cycle time(SCLKs)	6/8	
CAS# Latency(SCLKs)	3	
RAS to CAS delay(SCLKs)	3	
SDRAM RAS# Precharge(SCLKs)	3	
AGP Aparture Size	64MB	
CPU Latency Timer	Enabled	
USB Controller	Rear Side USB	All USB Port
USB Device Legacy Support	Disabled	All Device
Local Memory Frequency	133MHz	
Initialize Display Cache Memory	Disabled	Enabled
Paging Mode Control	Open	
RAS-to-CAS	Default	
CAS Latency	Slow	
RAS Timing	Slow	
RAS Precharge Timing	Slow	

Power Management Setup

項 目	工場出荷時の設定値	既定値
ACPI Standby State	S3/STR	
Power Management/APM	Enabled	
Suspend Time Out	Disabled	
Power Button Function	On/Off	
Restore on AC/Power Loss	Power Off	Last State
Resume On Ring	Disabled	
Resume On LAN	Disabled	Enabled
Resume On PME	Disabled	Enabled
Resume On RTC Alarm	Disabled	
Alarm Date	– (15)	
Alarm Hour	– (12)	
Alarm Minute	– (30)	
Alarm Second	– (30)	

PCI/Plug and Play Setup

項 目	工場出荷時の設定値	既定値
Plug and Play Aware O/S	No	
Primary Graphics Adapter	External AGP	
OnBoard VGA Status	Enabled	

Peripheral Setup

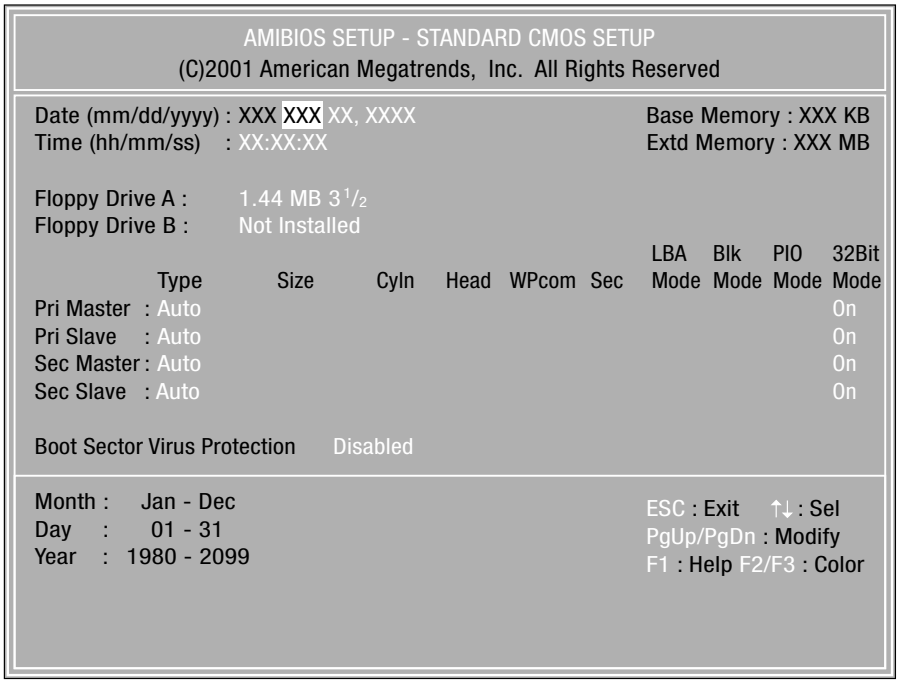
項目	工場出荷時の設定値	既定値
OnBoard IDE	Both	
OnBoard AC '97 Audio	Enabled	
OnBoard LAN	Enabled	
OnBoard LAN Chip Boot ROM	Disabled	
OnBoard FDC	Auto	
OnBoard Serial PortA	Auto	
OnBoard Serial PortB	Auto	
Serial PortB Mode	Normal	
IR Duplex Mode	Half Duplex	
IR Receiver Polarity	Active Low	
IR Xmitter Polarity	Active Low	
OnBoard Parallel Port	Auto	
Parallel Port Mode	ECP	
Parallel Port IRQ	Auto	
Parallel Port DMA Channel	Auto	

Hardware Monitor Setup

項目	工場出荷時の設定値	既定値
FAN Speed Control	55℃～59℃	Disabled
Chassis Intrusion	Disabled	

3 Standard CMOS Setupの詳細

日時の設定、ハードディスクドライブの設定などを行います。



Date（mm/dd/yyyy）

年（西暦）月日を設定します。
［月／日／年］の項目移動には、↑ ↓キーを使います。

Time（hh/mm/ss）

時刻（24時間単位）を設定します。
［時：分：秒］の項目移動には、↑ ↓キーを使います。

Base Memory

システムメモリ量を表示します。（表示のみ）

Extd Memory

拡張メモリ量を表示します。（表示のみ）

Flpppy Drive A　Floppy Drive B

フロッピーディスクドライブ A、B のタイプを設定します。
本製品は標準で、ドライブ A に［1.44 /1.25MB 3 1/2］タイプのフロッピーディスクドライブを搭載しています。

・Not Installed.....なし
・360KB 5 1/4
・1.2MB 5 1/4
・720KB 3 1/2
・1.44MB 3 1/2 .....3.5 型 3 モード
・2.88MB 3 1/2

Pri Master　Pri Slave　Sec Master　Sec Slave

IDE インタフェース上のドライブを設定します。

・Pri Master .....メインボード上の第 1（Primary）IDE インタフェースのマスタ（Master）
・Pri Slave .....メインボード上の第 1（Primary）IDE インタフェースのスレーブ（Slave）
・Sec Master.....メインボード上の第 2（Secondary）IDE インタフェースのマスタ（Master）
・Sec Slave .....メインボード上の第 2（Secondary）IDE インタフェースのスレーブ（Slave）

本製品は、標準状態でハードディスクドライブが［Pri Master］に、CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブが［Sec Master］に設定されています。

▼Type

IDE ドライブのタイプを設定します。

・Auto .....自動設定
・CDROM .....CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブ
・Not Installed.....使用しない
・ARMD .....ATAPI リムーバブルメディアデバイス
・1 ～ 46.....HDD のパラメータを選択することができます。
・User.....HDD のパラメータを設定することができます。

・工場出荷時の設定値以外の設定に変更するとドライブを認識できなくなることがあります。通常は変更しないでください。

▼32Bit Mode

IDE の接続モードを設定します。

・On .....32Bit モードで接続する
・Off .....16Bit モードで接続する

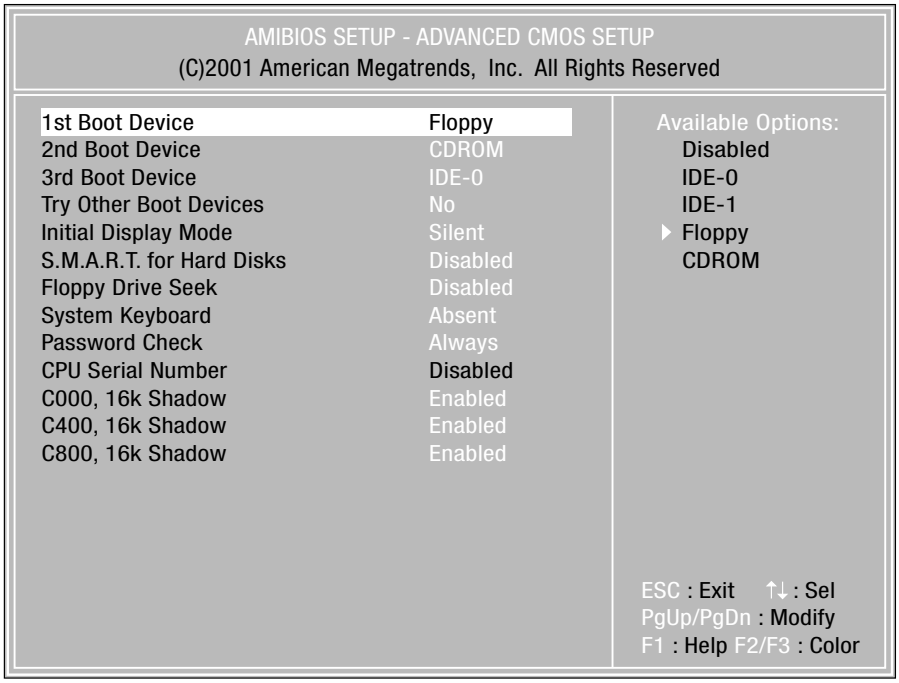
Boot Sector Virus Protection

ハードディスクのブートセクタへの書き込みを禁止します。

・Disabled.....書き込み可
・Enabled .....書き込み禁止

4 Advanced CMOS Setupの詳細

起動するドライブの順番や周辺装置についての設定を行います。



1st Boot Device 2nd Boot Device 3rd Boot Device

ドライブが起動する順番を指定できます。［1st Boot Device］は起動する際に優先順位が最も高いドライブで、以下［2nd Boot Device］［3rd Boot Device］と順位が下がります。

また、F3キーを押しながらパソコンの電源を入れると、BIOSの設定に関係なく起動ドライブを変更することができます。表示されたメニューから選択してください。

・Disabled ..... 指定しない
・IDE-0 ..... 第1（Primary）IDEインタフェースのマスタ（Master）に接続されたハードディスクドライブ
・IDE-1 ..... 第1（Primary）IDEインタフェースのスレーブ（Slave）に接続されたハードディスクドライブ
・Floppy ..... フロッピーディスクドライブ
・CDROM ..... CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブ
・IBA 4.0.22 S ..... ネットワーク経由で起動する場合に選択する

［IBA 4.0.22 S］は、［Peripheral Setup］の［OnBoard LAN Chip Boot ROM］が［Enabled］の状態で起動したときのみ表示されます。

Try Other Boot Devices

ブートするドライブを選択するかどうかを設定します。

・Yes ..... 選択する
・No ..... 選択しない

Initial Display Mode

起動時に TOSHIBA ロゴ画面表示を消すかどうかの設定をします。

・BIOS ..... 表示しない
・Silent ..... 表示する

S.M.A.R.T. for Hard Disks

"S.M.A.R.T." は、"Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology" を表します。

ハードディスクドライブの状態を監視し、いくつかの（すべてではなく）障害を予測する機能です。この機能を使用するには、対応するハードディスクドライブとソフトウェアが必要となります。

・Disabled ..... S.M.A.R.T. 機能を使用しない
・Enabled ..... S.M.A.R.T. 機能を使用する

Floppy Drive Seek

起動時にフロッピーディスクドライブをチェックするかどうかを設定します。

・Disabled ..... チェックしない
・Enabled ..... チェックする

System Keyboard

起動時にキーボードの有無をチェックするかどうかを設定します。

・Absent ..... チェックしない
・Present ..... チェックし、キーボードが無い場合にエラーメッセージを表示する

・工場出荷時には［Absent］に設定されています。
［Auto Configulation with Optimal Settings］メニューで既定値に戻した場合、［Present］に設定されますので［Absent］に設定し直してください。

Password Check

パソコン本体が起動するたび、もしくは、BIOS のセットアップを起動するたびにパスワードチェックを行うように設定できます。

パスワードが設定されている場合のみ有効です。

・Setup ..... BIOS のセットアップを起動するたびにパスワード入力画面を表示する
・Always ..... パソコンを起動するたびにパスワード入力画面を表示する

CPU Serial Number

CPU が持っているシリアルナンバ機能を無効にするかどうかを設定します。

本製品ではご使用になれません。

C000, 64k Shadow　C400, 64k Shadow　C800, 64k Shadow

特定のメモリ領域から始まるROMの内容を制御します。

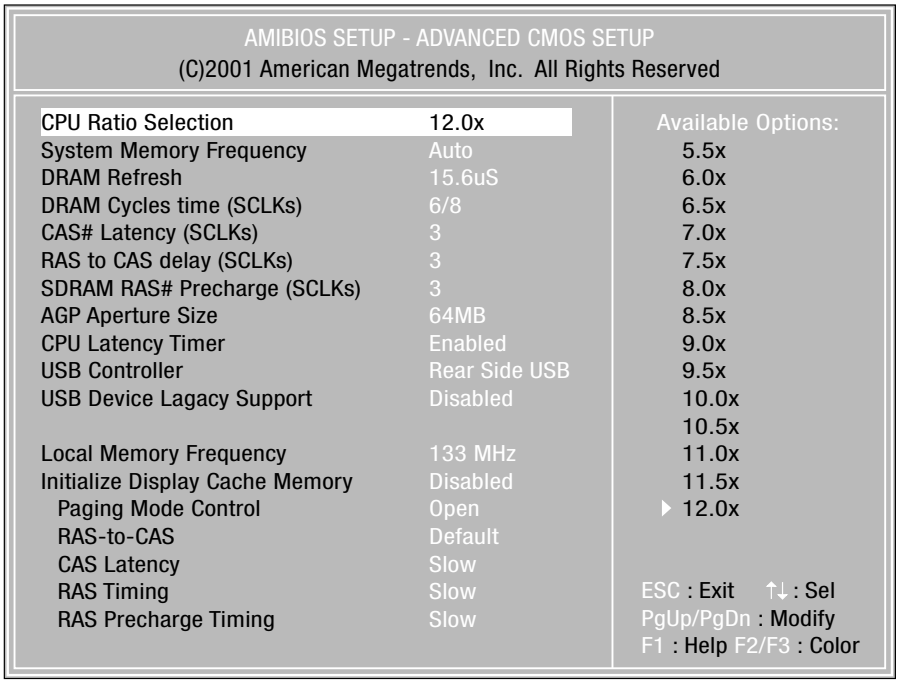
・Disabled ..... ビデオROMの内容をRAMにコピーしない

・Enabled ..... C000,64kのとき「C0000h」-「CFFFFh」部の内容をシステムメモリ（RAM）の同じアドレスに書き込む
C400,64kのとき「C4000h」-「D3FFFh」部の内容をシステムメモリ（RAM）の同じアドレスに書き込む
C800,64kのとき「C8000h」-「D7FFFh」部の内容をシステムメモリ（RAM）の同じアドレスに書き込む

・Cached/WP ..... RAMにコピーされたROMの内容をさらにキャッシュメモリに読み込み、書き込む

5 Advanced Chipset Setupの詳細

周辺機器や本製品のチップセットの設定を行います。



CPU Ratio Selection

CPUの動作クロック数を設定します。
本製品では、CPUの動作クロックは搭載されているCPUにあわせて自動的に設定されるため、本設定は無効になります。

System Memory Frequency

メインメモリで使用するDIMMの周波数を設定します。

- 100MHz
- 133MHz
- Auto

DRAM Refresh

メインメモリのリフレッシュ間隔を設定します。

- Auto
- 15.6uS
- 7.8uS
- 128Clocks

DRAM Cycle time（SCLKs）

メインメモリのサイクルタイムを設定します。
設定単位はクロックです。
・5/7
・6/8

CAS# Latency（SCLKs）

CAS 信号が入力されてからメモリの内容が出力されるまでの時間を設定します。
設定単位はクロックです。
・3
・2

RAS to CAS delay（SCLKs）

RAS 信号から CAS 信号を出力するときの遅延時間を設定します。
設定単位はクロックです。
・3
・2
・Auto

SDRAM RAS# Precharge（SCLKs）

メインメモリのプリチャージ時間を設定します。
設定単位はクロックです。
・3
・2
・Auto

AGP Aparture Size

AGP カードが DIME 機能を使用する際のアパーチャサイズ（メモリ容量）を指定します。
・64MB
・32MB

CPU Latency Timer

CPU Latency Timer を有効にするかどうかを設定します。
・Disabled ..... 無効にする
・Enabled ..... 有効にする

USB Controller

有効なUSBポートを指定します。

・Disabled.....すべてを無効にする
・Rear Side USB .....背面のUSBポートを有効にする
・Front Side USB .....前面のUSBポートを有効にする
・All USB Port .....すべてを有効にする

・工場出荷時には［Rear Side USB］に設定されています。
［Auto Configulation with Optimal Settings］メニューで既定値に戻した場合、［All USB Port］に設定されますので［Rear Side USB］に設定し直してください。

USB Device Lagacy Support

USB対応機器のレガシーサポートについて設定します。

・Disabled.....無効にする
・No Mice.....USBマウスを無効にする
・All Device .....すべて有効にする

・工場出荷時には［Disabled］に設定されています。
［Auto Configulation with Optimal Settings］メニューで既定値に戻した場合、［All Device］に設定されますので［Disabled］に設定し直してください。

Local Memory Frequency

メモリの動作スピードを設定します。
本製品ではこの機能をサポートしていないので、常に［133MHz］の設定でご使用ください。

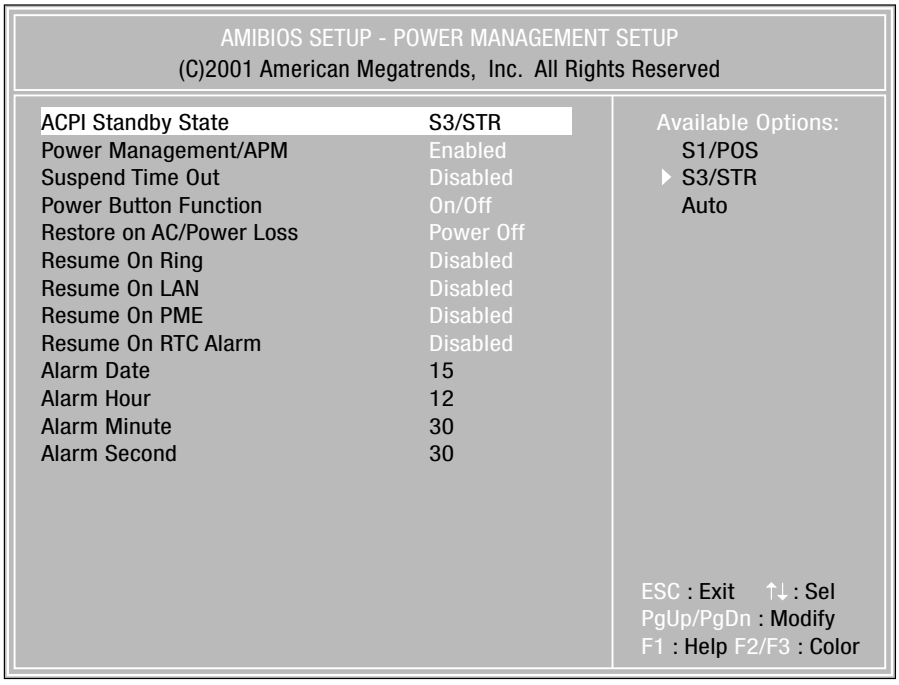
Initialize Display Cache Memory

本製品ではこの機能をサポートしていないので、常に［Disabled］の設定でご使用ください。

・工場出荷時には［Disabled］に設定されています。
［Auto Configulation with Optimal Settings］メニューで既定値に戻した場合、［Enabled］に設定されますので［Disabled］に設定し直してください。

6 Power Management Setupの詳細

パソコン本体やディスプレイの省電力機能について設定を行います。



ACPI Standby State

使用する省電力モードの状態を設定します。

・S1/POS ..... Power On Suspend：周辺デバイスの電源を切断する
・S3/STR..... Suspend To RAM：メモリ以外の電源を切断する
・Auto ..... 使用する省電力モードを状態により自動的に切り替える

メモ

・オプションカードスロットまたはUSBコネクタに接続したデバイスによっては、正常にスタンバイ状態に移行しない、またはスタンバイ状態から通常モードへ復帰しない場合があります。
動作に問題が生じる場合は、［S1/POS］に設定してください。それでも動作に問題が生じる場合は、省電力機能を使用しない設定に変更してください。
☞ 省電力設定について ➪「2章 3 省電力機能について」

Power Management/APM

省電力管理および、APM(Advanced Power Management)を有効にするかどうかを設定します。

・Disabled.....無効にする
・Enabled .....有効にする

Suspend Time Out

一定時間キーボード、マウスなどを操作しなかった場合に、サスペンドモードに移行する前のシステム停止期間（分）を設定します。
Windows の起動時は、システム上の設定に従って省電力モードに移行するため本設定は無効になります。
サスペンドモードでは、消費電力が大幅に節約されます。
［Power Management/APM］が［Enabled］に設定されている場合のみ設定できます。

- Disabled ..... 設定しない
- 1
- 2
- 4
- 8
- 10
- 20
- 30
- 40
- 50
- 60

Power Button Function

電源スイッチの用途を設定します。
Windows の起動時は、システム上の設定に従って省電力モードに移行するため本設定は無効になります。

- On/Off ..... 電源を入れる／切る
- Suspend ..... サスペンドモードに移行する

Restore on AC/Power Loss

停電などにより電気の供給が止まった場合、電源が復帰した後のシステムの状態を設定します。

- Power Off ..... 電源を入れない
- Power On ..... 電源を入れる
- Last State ..... 電気の供給が止まったときの状態に戻す

・工場出荷時には［Power Off］に設定されています。
［Auto Configulation with Optimal Settings］メニューで既定値に戻した場合、［Last State］に設定されますので［Power Off］に設定し直してください。

Resume On Ring

シリアルポートにモデムを接続している状態で、モデムの RI 信号によりシステムの電源を入れる機能を使用するかどうかを設定します。

- Disabled ..... 電源を入れない
- Enabled ..... 電源を入れる

Resume On LAN

他のコンピュータからのWOL（Wake On LAN）信号で、システムの電源を入れる、または省電力モードから通常モードへの復帰を行う機能を使用するかどうかを設定します。

・Disabled ..... 使用しない
・Enabled ..... 使用する

・内蔵LANでWOL機能を使用する場合には、次の［Resume On PME］を［Enabled］に設定してください。本設定はPCIのLANカードを使用する場合に使用します。

・工場出荷時には［Disabled］に設定されています。
［Auto Configulation with Optimal Settings］メニューで既定値に戻した場合、［Enabled］に設定されますので［Disabled］に設定し直してください。

Resume On PME

PME信号の入力による動作を設定します。

・Disabled ..... PME信号の入力を無視する
・Enabled ..... PME信号の入力でシステムを起動する、または省電力モードを解除する

・内蔵LANでWOL機能を使用する場合には、［Enabled］に設定してください。

・工場出荷時には［Disabled］に設定されています。
［Auto Configulation with Optimal Settings］メニューで既定値に戻した場合、［Enabled］に設定されますので［Disabled］に設定し直してください。

Resume On RTC Alarm

システムを起動する（電源を入れる、または省電力モードから復帰する）時間を設定できます。

・Disabled ..... 設定しない
・Enabled ..... 設定する

Alarm Date

［Resume On RTC Alarm］が、［Enabled］に設定されている場合、システムを起動する日を設定できます。

・1, 2, ..., 31, Every Day

Alarm Hour

［Resume On RTC Alarm］が、［Enabled］に設定されている場合、システムを起動する時間を設定できます。

・0, 1, 2, ..., 23

Alarm Minute

[Resume On RTC Alarm]が、[Enabled]に設定されている場合、システムを起動する分を設定できます。

・0, 1, 2, ..., 59

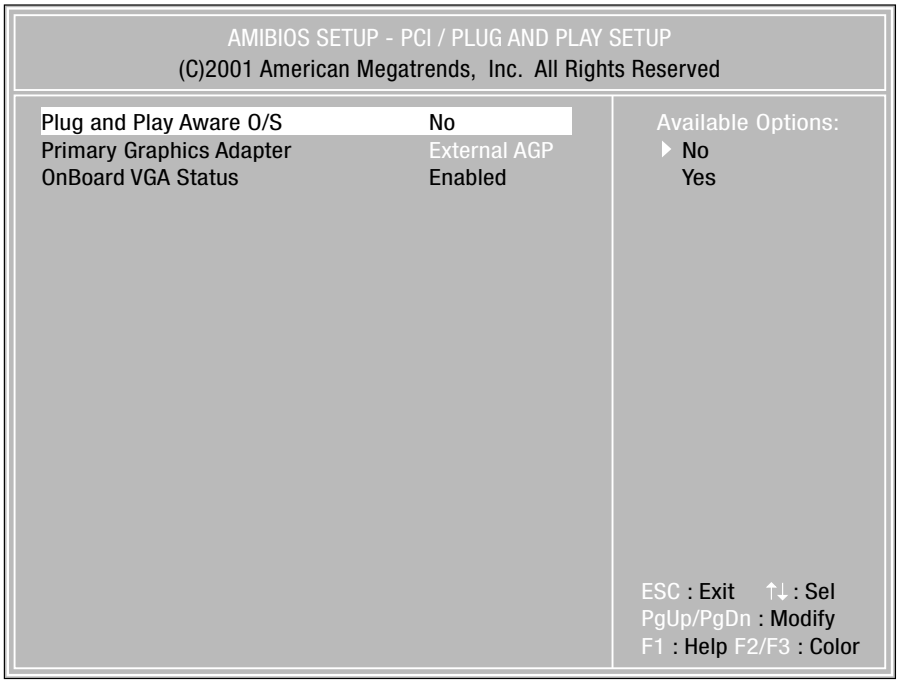
Alarm Second

[Resume On RTC Alarm]が、[Enabled]に設定されている場合、システムを起動する秒を設定できます。

・0, 1, 2, ..., 59

7 PCI/Plug and Play Setupの詳細

プラグアンドプレイやPCIデバイスについて設定を行います。



Plug and Play Aware O/S

BIOSがリソースの割り当てを行います。
本製品では［No］の設定で使用します。

・No ..... デフォルトのリソース割り当てを行う
・Yes ..... 最低限のリソース割り当てを行う

Primary Graphics Adapter

オプションカードスロットに外付けのグラフィックカードを取り付けたときに、プライマリとしてどのグラフィックカードを使用するかを設定します。

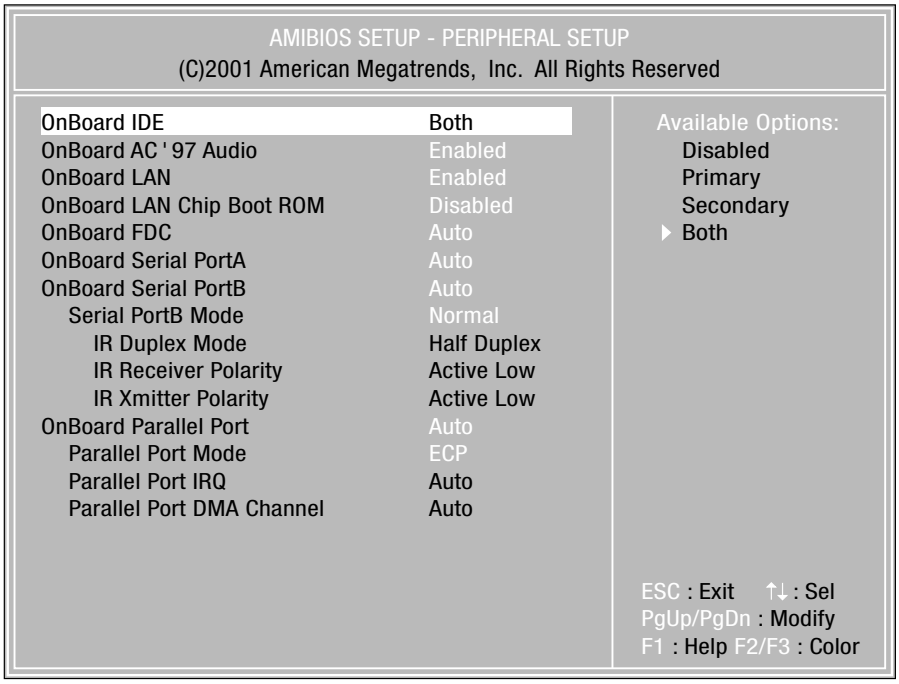
・OnBoard VGA ..... メインボード上のグラフィック機能を使用する
・External AGP ..... AGPスロットに取り付けたカードを使用する
・External PCI ..... PCIスロットに取り付けたカードを使用する

OnBoard VGA Status

メインボード上のグラフィック機能を使用するかどうかを設定します。
本製品では、常に［Enabled］となります。

8 Peripheral Setupの詳細

周辺機器などの設定を行います。



OnBoard IDE

メインボードのPCIローカルバスのIDEコントローラを設定します。

・Disabled.....IDEインタフェース上の全てのデバイスを使用不可にする
・Primary.....IDEインタフェース上のプライマリに接続されているデバイスのみ使用する
・Secondary.....IDEインタフェース上のセカンダリに接続されているデバイスのみ使用する
・Both.....IDEインタフェース上の全てのデバイスを使用する

OnBoard AC'97 Audio

メインボードのオーディオコントローラを使用するかどうかを設定します。

・Enabled.....使用する
・Disabled.....使用しない

OnBoard LAN

メインボードのLANを使用するかどうかを設定します。

・Disabled.....使用しない
・Enabled.....使用する

OnBoard LAN Chip Boot ROM

内蔵LANのブートROMを使用するかどうかを設定します。

・Disabled ..... 使用しない
・Enabled ..... 使用する

OnBoard FDC

メインボードのフロッピーディスクドライブコントローラを使用するかどうかを設定します。

・Auto ..... 自動設定
・Disabled ..... 使用しない
・Enabled ..... 使用する

OnBoard Serial Port A　OnBoard Serial Port B

メインボードのシリアルポートA（COM1）またはB（COM2）を使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

・Auto
・Disabled
・3F8/COM1
・2F8/COM2
・3E8/COM3
・2E8/COM4

▼Serial Port B Mode

シリアルポートB（COM2）のモードを設定します。

・Normal
・IrDA
・ASKIR

［IrDA］または［ASKIR］を選択した場合、次の項目が設定できます。

●IR Duplex Mode

・Half Duplex
・Full Duplex

●IR Receiver Polarity

・Active High
・Active Low

●IR Xmitter Polarity

・Active High
・Active Low

OnBoard Parallel Port

メインボードのパラレルポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

・Auto
・Disabled
・378h
・278h
・3BCh

▼Parallel Port Mode

パラレルポートのモードを設定します。
［OnBoard Parallel Port］が［Disabled］以外の場合に設定できます。

・Normal
・Bi-Dir
・EPP 1.9
・EPP 1.7
・ECP

▼Parallel Port IRQ

パラレルポートのIRQを設定します。
［OnBoard Parallel Port］が［378h］［278h］［3BCh］いずれかの場合に設定できます。

・5
・7

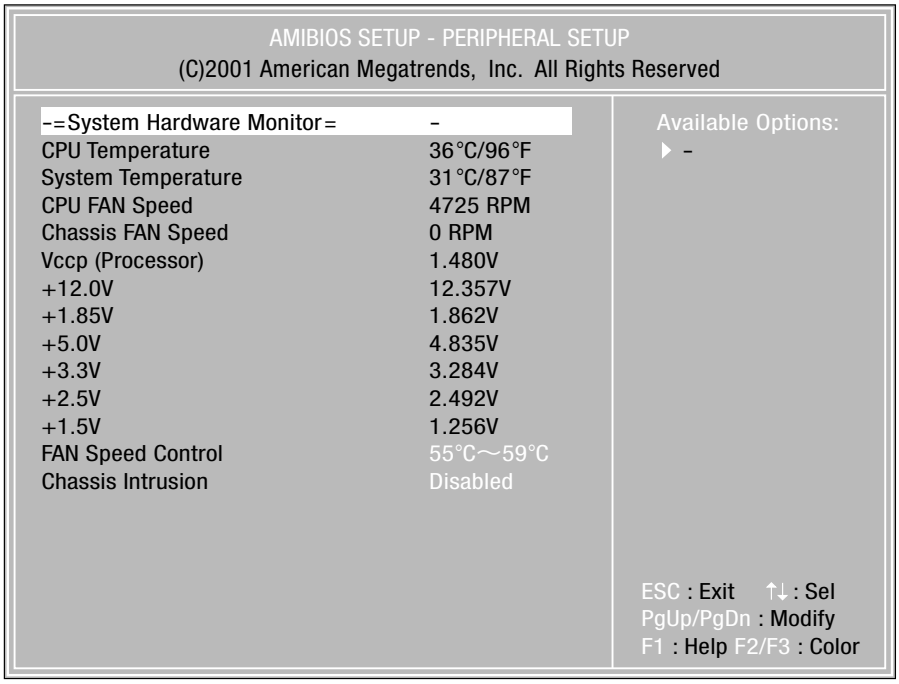
▼Parallel Port DMA Channel

パラレルポートのDMAチャネルを設定します。
［OnBoard Parallel Port］が［378h］［278h］［3BCh］いずれかの場合に設定できます。

・0
・1
・3

9 Hardware Monitor Setupの詳細

本製品の動作状態を表示します。



CPU Temperature

CPUの温度を表示します。（表示のみ）

System Temperature

システムの温度を表示します。（表示のみ）

CPU FAN Speed

CPUのファン速度を表示します。（表示のみ）

Chassis FAN Speed

シャーシのファン速度を表示します。（表示のみ）
本システムでは使用しません。

Vccp (Prosessor) / +12V / +1.85V / +5.0V / +3.3V / +2.5V / +1.5V

電圧を表示します。（表示のみ）

FAN Speed Control

CPU Fanのスピードを制御します。設定値は変更しないでください。

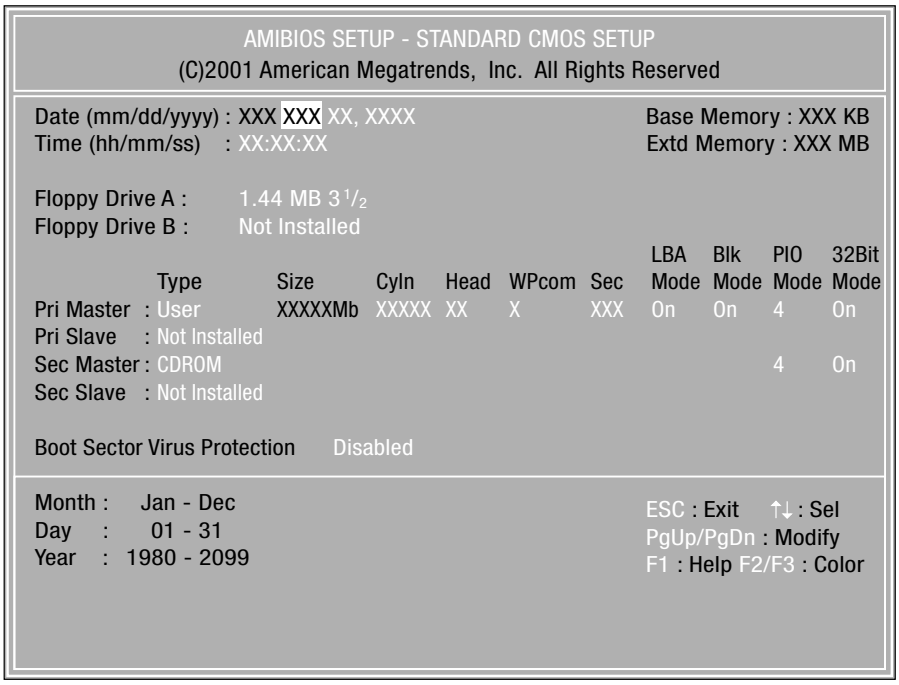
・Disabled.....制御しない
・52℃～56℃
・55℃～59℃
・58℃～62℃

・工場出荷時には［55℃～59℃］に設定されています。
［Auto Configulation with Optimal Settings］メニューで既定値に戻した場合、［Disabled］に設定されますので［55℃～59℃］に設定し直してください。

Chassis Intrusion

本体カバーの開閉の検出をするかどうかを設定します。
本製品はこの機能をサポートしていないので、常に［Disabled］の設定でご使用ください。

10 Auto-Detect Hard Disks



Enterキーを押すと、自動的にすべてのIDEドライブを検出し、パラメータを設定します。

ドライブが検出されると［Standard CMOS Setup］の項目にある［Type］が［Auto］以外の接続されているドライブに変わります。

［Type］が［Auto］以外の設定の場合、ドライブが認識できなくなることがあります。その場合は、［Standard CMOS Setup］で［Type］の設定を工場出荷時の設定値の［Auto］に戻すか、再度［Auto-Detect Hard Disks］メニューを実行してください。

11 パスワードの設定

パソコン本体にパスワードを設定して、他の人がパソコンを使用したり、設定を変えたりできないようにすることができます。
電源投入時にパスワードを正しく入力しないとパソコン本体は使用できません。
パスワードにはユーザパスワード（User Password）と管理者パスワード（Supervisor Password）の２つがあり［Change User Password］ではユーザパスワードを、［Change Supervisor Password］では管理者パスワードを設定できます。
管理者パスワードを設定しないとユーザパスワードを設定することはできません。

・パスワードを登録する場合は、忘れないように必ずパスワードを控えてください。
・パスワードを登録した場合は、省電力モード時から解除するときに、パスワードの入力が必要になります。
・パスワードは表示されませんので確認することはできません。
・パスワードを忘れてしまった場合は、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションにパスワードの解除をご依頼ください。
パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

・パスワードは１～６文字で設定します。
キーボードから入力した文字は、画面上に「＊＊＊」で表示されます。

Change Supervisor Password

管理者パスワードの設定、変更を行います。
［Change Supervisor Password］でパスワードを設定している場合、パソコンを起動すると「Enter CURRENT Password」というメッセージが表示されます。設定したパスワードを入力すると画面が表示されます。

パスワードの設定や変更は次の入力画面が表示されますので、手順に従って入力してください。

▼Enter current supervisor password

現在のパスワードを入力し、Enterキーを押します。

▼Enter new supervisor password

新しいパスワードを入力し、Enterキーを押します。
パスワードを解除するときは、何も入力せずに、Enterキーを押します。

▼Retype new supervisor password

確認のためパスワードを再入力し、Enterキーを押します。

パスワードを設定したら何かキーを押すと、メインメニューに戻ります。

・管理者パスワードを使用しているときは、BIOS セットアップのすべての項目を設定できます。

Change User Password

ユーザパスワードの設定、変更を行います。[Change User Password]でパスワードを設定している場合、パソコンを起動すると「Enter CURRENT Password」というメッセージが表示されます。設定したパスワードを入力すると画面が表示されます。
管理者パスワード（Supervisor Password）が設定されていないと、ユーザパスワードを設定することはできません。

パスワードの設定や変更は次の入力画面が表示されますので、手順に従って入力してください。

▼Enter current user password

現在のパスワードを入力し、Enterキーを押します。
管理者パスワードでパソコンを起動した場合は表示されません。

▼Enter new user password

新しいパスワードを入力し、Enterキーを押します。
パスワードを解除するときは、何も入力せずに、Enterキーを押します。

▼Retype new user password

確認のためパスワードを再入力し、Enterキーを押します。

パスワードを設定したら何かキーを押すと、メインメニューに戻ります。

・ユーザパスワードでパソコンを起動した場合は、BIOS セットアップで設定変更できる項目は制限されます。

付 録

本製品の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

1 製品仕様 148

2 各インタフェース 152

3 エラーメッセージ 160

4 技術基準適合について 162

1 製品仕様

仕様概要

モデルにより多少異なります。

機　種				EQUIUM 3140
プロセッサ	メインプロセッサ			Celeron 1.2GHz
				・CACHE（32KB）・FPU内蔵 ・2次CACHE（256KB）
メモリ	標準メモリ			SDRAM DIMM 128MB／256MB／512MB（100MHz）
	増設メモリ			DIMMスロットx2（内1つまたは2つを標準メモリで使用） 最大512MB（256x2）
				使用可能 DIMM 128MB/256MB PC100/PC133*1
	ROM			FLASH MEMORY 4Mbit（書き換え可能）
表示機能	コントローラ			Intel 815e Integrated
	ビデオRAM			メインメモリ共用
	グラフィック表示 (ノンインタレース)			640x480　256・64K・16M色 800 x600　256・64K・16M色 1024x768　256・64K・16M色 1280x1024　256・64K・16M色 1600x1200　256色
通信機能	伝送速度			100Mbps／10Mbps
	適合規格			100BASE-TX／10BASE-T
サウンド	コントローラ			Intel i815E Integrated Soft Audio
補助記憶装置	FDD	標準		3.5型　1台装備 720KB／1.2MB／1.44MB（3モード）
	HDD*2	標準		3.5型　20GB／40GB／80GB
		増設		内蔵3.5型スロット
	CD-ROM*2 または CD-R/RW	標準	CD-ROM	ATAPI　48倍速（最大）
			CD-R/RW	ATAPI CD-ROM　：40倍速（最大読み込み） CD-RW　：10倍速（最大書き込み） CD-R　：24倍速（最大書き込み）
入力装置	キーボード			109Aキー　分離型
	マウス			2ボタンホイール付き PS/2マウス
システム制御				PCI（Peripheral Component Interconnect）
ファイル スロット	3.5型 ドライブキャリア			3スロット（内2つはFDDとHDDで使用）
	5型 ファイルスロット			2スロット（内1つはCD-ROMまたはCD-R/RWで使用）

*1 PC100（100MHz）での動作となります。また、ECC付きメモリも使用できますがECC機能はサポートされません。

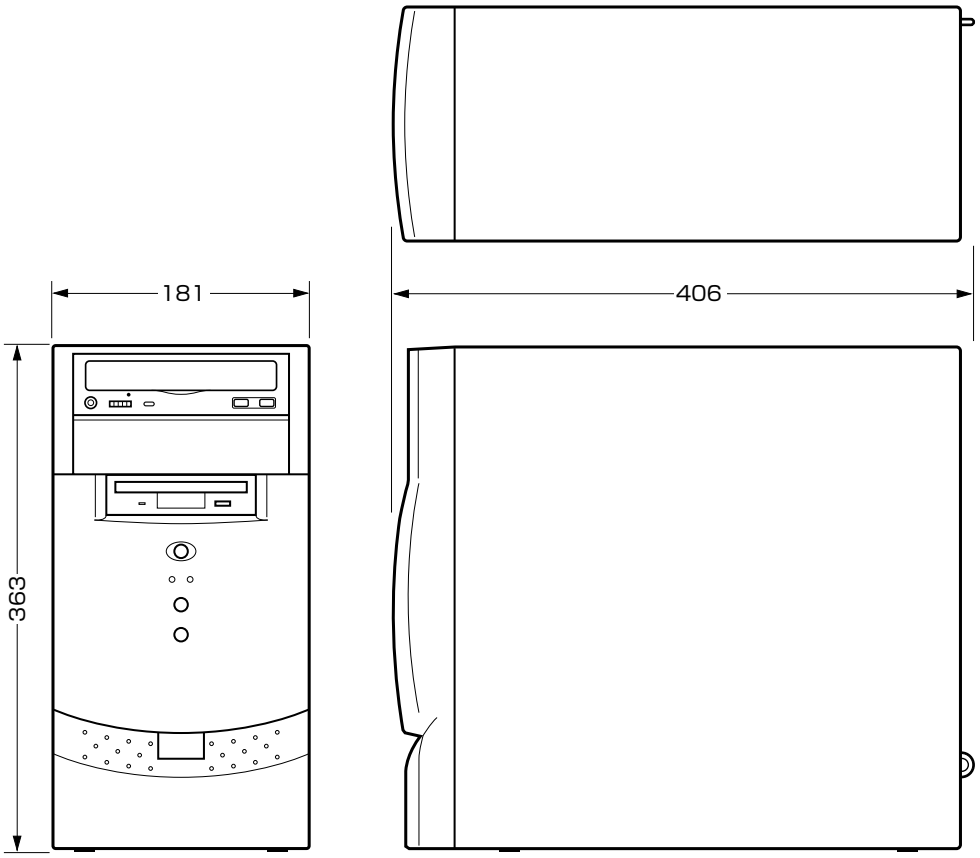
*2 ご購入のモデルにより、異なります。

機　種		EQUIUM 3140
インタフェース	シリアル	2ポート　D-Sub 9ピン、16C550互換
	パラレル	1ポート　セントロニクス準拠
	アナログRGB	1ポート　アナログ　RGB セパレート信号出力、ミニD-sub15ピン（3列タイプ）
	PS/2マウス	1ポート
	PS/2キーボード	1ポート
	LAN	1ポート
	オーディオ	LINE IN、LINE OUT、マイク端子
	USB	2ポート 1.1
拡張スロット	PCI	PCIフルサイズx3*3
	AGP	AGPx4対応 x1*3
カレンダ機能		日付、時計機能 ボタン型バッテリ使用　電池交換可
特殊機能	パワーマネージメント	HDD：パワーダウン
	PnP	Plug&Play対応BIOS
電源	電源条件	100V　50/60Hz
	最大消費電力	200W
周囲温度	動作	10℃～35℃
	非動作	−20℃～60℃
相対湿度	動作	20%Rh～80%Rh（ただし結露しないこと）
	非動作	20%Rh～90%Rh（ただし結露しないこと）
外形寸法	本体	181(W) x 406(D) x 363(H) mm
	キーボード	454(W) x 173(D) x 42(H) mm（非チルトアップ時）
質量	本体	約10.2kg
	キーボード	約0.9kg

*3 内蔵3.5インチベイに増設した場合は、290mm以下となります。

外形寸法図

＊イラストは、CD-ROM モデルです。



（単位：mm）

ハードウェアリソースについて

メモリマップ、I/O マップ、割り込みレベル、DMA チャネルは次の方法で確認できます。
ご使用の環境（ハードウェア／ソフトウェア）によって変更される場合があります。

Windows XP の場合

1 ［スタート］-［すべてのプログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［システム情報］をクリックする

2 画面左側のツリーから［ハードウェアリソース］をダブルクリックする

3 調べたい項目をクリックする

メモリマップ　：［メモリ］
I/O マップ　　：［I/O］
割り込みレベル：［IRQ］
DMA チャネル　：［DMA］

Windows 2000 の場合

1 ［マイコンピュータ］を右クリックして［管理］をクリックする

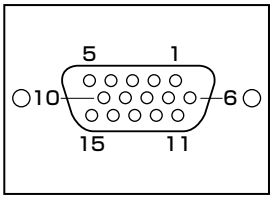
2 画面左側のツリーから［システム情報］-［ハードウェアリソース］をダブルクリックする

3 調べたい項目をクリックする

メモリマップ　：［メモリ］
I/O マップ　　：［I/O］
割り込みレベル：［IRQ］
DMA チャネル　：［DMA］

2 各インタフェース

アナログ RGB インタフェース



（注）I/O は本製品から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意　味	I/O
1	CRV	赤色ビデオ信号	O
2	CGV	緑色ビデオ信号	O
3	CBV	青色ビデオ信号	O
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Unused	未使用	
10	GND	信号グランド	
11	ID0	モニタID	
12	DDCDAT	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号(TTL)	O
14	-CVSYNC	垂直同期信号(TTL)	O
15	DDCCLK	SCLデータクロック信号	I/O

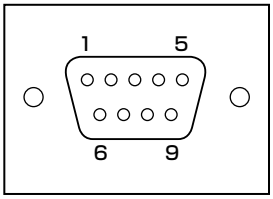
アナログ RGB インタフェースの同期信号

解像度 / 色数	640 x 480	800 x 600	1024 x 768	1280 x 1024	1600 x 1200
	垂直（Hz）				
256	60-85	60-85	60-85	60-85	60-85
64K	60-85	60-85	60-85	60-85	—
16M	60-85	60-85	60-85	60-85	—

色数　256:256 色、64K:65,536 色、16M:1,677 万色

ご使用になれる解像度、色数は接続するディスプレイによって異なります。
☞『ディスプレイに付属の説明書』

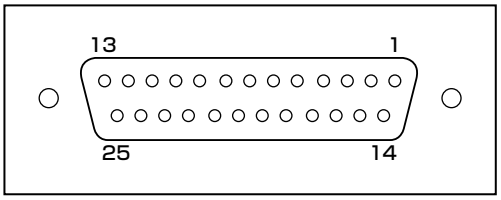
シリアルインタフェース



（注）I/O は本製品から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意　味	I/O
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グランド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

パラレルインタフェース

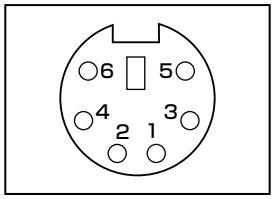


（注）I/O は本製品から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意　味	I/O
1	-STROBE	PD0～PD7のデータを書き込むための同期用出力信号	O
2～9	PD0～PD7	データの0ビット目から7ビット目の情報を送信する出力信号	O
10	-ACK	プリンタ内のBUSY状態が解除された直後に出る、プリンタ側からの要求パルス	I
11	BUSY	プリンタがデータ受信可能な状態であるかどうかを示すDCレベルの信号	I
12	PE	用紙切れの検出を知らせるDCレベルの信号	I
13	SELECT	プリンタのセレクト／ディセレクト状態を示すDCレベルの信号	I
14	-AUTFD	入出力信号	O
15	-ERROR	プリンタのエラー状態を示すDCレベルの信号	I
16	-PINIT	プリンタ制御部を初期状態にする出力信号	O
17	-SLIN	未使用	I/O
18～25	GND	信号グランド	

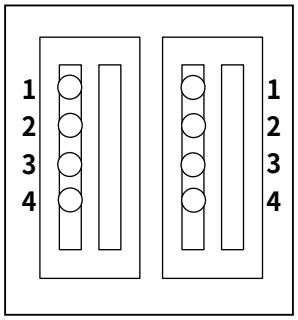
キーボード・マウスインタフェース

（注）I/O は本製品から見た場合の入出力を示します。



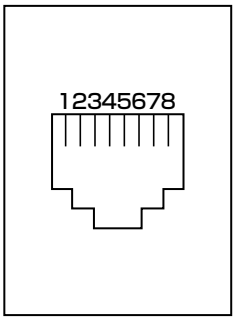
ピン番号	信号名	意　味	I/O
1	DATA	データ	I/O
2	Unused	未使用	
3	GND	信号グランド	
4	+5V	+5V	
5	CLOCK	クロック	I/O
6	Unused	未使用	

USB インタフェース



ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	-Data	I/O
3	+Data	I/O
4	GND	

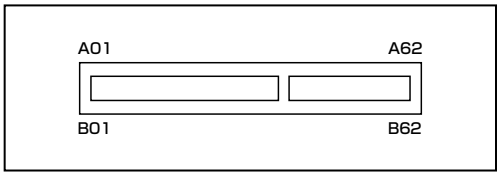
LAN インタフェース



ピン番号	信号名	意　味	I/O
1	TX	送信データ（+）	O
2	−TX	送信データ（−）	O
3	RX	受信データ（+）	I
4	Unused	未使用	
5	Unused	未使用	
6	−RX	受信データ（−）	I
7	Unused	未使用	
8	Unused	未使用	

拡張スロット

PCI スロット



（注）I/O は本製品から見た場合の入出力を示します。

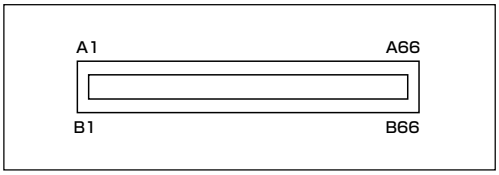
ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
1	-12V		TRST#	I
2	TCK	I	+12V	
3	GND		TMS	I
4	TDO	O	TDI	I
5	+5V		+5V	
6	+5V		INTA#	I/O
7	INTB#	I/O	INTC#	I/O
8	INTD#	I/O	+5V	
9	PRSNT1#	O	予約	
10	予約		+5V(I/O)	
11	PRSNT2#	O	+3.3V aux	
12	GND		GND	
13	GND		GND	
14	予約		予約	
15	GND		RST	I
16	CLK	I	+5V(I/O)	
17	GND		GNT#	I/O
18	REQ#	I/O	GND	
19	+5V(I/O)		PME#	
20	AD〔31〕	I/O	AD〔30〕	I/O
21	AD〔29〕	I/O	+3.3V	
22	GND		AD〔28〕	I/O
23	AD〔27〕	I/O	AD〔26〕	I/O
24	AD〔25〕	I/O	GND	
25	+3.3V		AD〔24〕	I/O

（注）I/O は本製品から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
26	C/BE〔3〕#	I/O	IDSEL	I
27	AD〔23〕	I/O	+3.3V	
28	GND		AD〔22〕	I/O
29	AD〔21〕	I/O	AD〔20〕	I/O
30	AD〔19〕	I/O	GND	
31	+3.3V		AD〔18〕	I/O
32	AD〔17〕	I/O	AD〔16〕	I/O
33	C/BE〔2〕#	I/O	+3.3V	
34	GND		FRAME#	I/O
35	IRDY#	I/O	GND	
36	+3.3V		TRDY#	I/O
37	DEVSEL#	I/O	GND	
38	GND		STOP#	I/O
39	LOCK#	I/O	+3.3V	
40	PERR#	I/O	予約	I/O
41	+3.3V		予約	I/O
42	SERR#	I/O	GND	I/O
43	+3.3V		PAR	I/O
44	C/BE〔1〕#	I/O	AD〔15〕	
45	AD〔14〕	I/O	+3.3V	
46	GND		AD〔13〕	I/O
47	AD〔12〕	I/O	AD〔11〕	I/O
48	AD〔10〕	I/O	GND	
49	GND		AD〔09〕	I/O
50	コネクタ・キー			
51	コネクタ・キー			
52	AD〔08〕	I/O	C/BE〔0〕#	I/O
53	AD〔07〕	I/O	+3.3V	
54	+3.3V		AD〔06〕	I/O
55	AD〔05〕	I/O	AD〔04〕	I/O
56	AD〔03〕	I/O	GND	
57	GND		AD〔02〕	I/O
58	AD〔01〕	I/O	AD〔00〕	I/O
59	+5V(I/O)		+5V(I/O)	
60	ACK64C#	I/O	REQ64C#	I/O
61	+5V		+5V	
62	+5V		+5V	

AGP スロット

AGPカード



AGP ユニバーサルコネクタ

（注）I/O は本製品から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	サイドB	I/O	サイドA	I/O
1			12V	
2	5.0V		TYPEDET#	I
3	5.0V		予約	
4				
5	GND		GND	
6	INTB#	I	INTA#	I
7	CLK	O	RST#	O
8	REQ#	I	GNT#	O
9	VCC3.3		VCC3.3	
10	ST0	O	ST1	O
11	ST2	O	予約	
12	RBF#	I	PIPE#	I
13	GND		GND	
14	予約		WBF#	I
15	SBA0	I	SBA1	I
16	VCC3.3		VCC3.3	
17	SBA2	I	SBA3	I
18	SB_STB	I	SB_STB#	I
19	GND		GND	
20	SBA4	I	SBA5	I
21	SBA6	I	SBA7	I
22	予約		予約	
23	GND		GND	
24	3.3Vaux		予約	
25	VCC3.3		VCC3.3	
26	AD31	I/O	AD30	I/O
27	AD29	I/O	AD28	I/O
28	VCC3.3		VCC3.3	
29	AD27	I/O	AD26	I/O
30	AD25	I/O	AD24	I/O

（注）I/O は本製品から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	サイドB	I/O	サイドA	I/O
31	GND		GND	
32	AD_STB1	I/O	AD_STB1#	I/O
33	AD23	I/O	C/BE3#	I/O
34	Vddq		Vddq	
35	AD21	I/O	AD22	I/O
36	AD19	I/O	AD20	I/O
37	GND		GND	
38	AD17	I/O	AD18	I/O
39	C/BE2#	I/O	AD16	I/O
40	Vddq		Vddq	
41	IRDY#	I/O	FRAME#	I/O
42	3.3Vaux		予約	
43	GND		GND	
44	予約		予約	
45	VCC3.3		VCC3.3	
46	DEVSEL#	I/O	TRDY#	I/O
47	Vddq		STOP#	I/O
48	PERR#	I/O	PME#	I
49	GND		GND	
50	SERR#	I/O	PAR	I/O
51	C/BE1#	I/O	AD15	I/O
52	Vddq		Vddq	
53	AD14	I/O	AD13	I/O
54	AD12	I/O	AD11	I/O
55	GND		GND	
56	AD10	I/O	AD9	I/O
57	AD8	I/O	C/BE0#	I/O
58	Vddq		Vddq	
59	AD_STB0	I/O	AD_ATB0#	I/O
60	AD7	I/O	AD6	I/O
61	GND		GND	
62	AD5	I/O	AD4	I/O
63	AD3	I/O	AD2	I/O
64	Vddq		Addq	
65	AD1	I/O	AD0	I/O
66	Vrefcg		Vrefgc	

拡張スロットの電流容量

拡張スロット全体（オプションカード、５型ドライブのすべてを含む）で使用可能な電流容量は次のとおりです。
拡張スロットの取り付けの際は、次の制限を必ず守ってください。

● 拡張スロットの許容電流値

電流容量	拡張スロットの合計
+5V	8A以下
+12V	2A以下
-12V	0.3A以下
+3.3V	8A以下

3 エラーメッセージ

この項目では、システム起動時に発生する可能性のあるブザー類およびエラーメッセージを説明します。

注 意 **・これらのエラーが繰り返し発生する場合は、エラーメッセージの内容と現在の本体の設定環境を具体的に記録し、『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、すぐにサービスステーションまでお問い合わせください。**

エラーメッセージ	説　明
A: Drive Error B: Drive Error	フロッピーディスクドライブを認識できません。フロッピーディスクドライブが正しく接続されているか、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。
Cache Memory Error	2次キャッシュメモリにエラーが発生しました。CPUが壊れている可能性があります。
CMOS Battery Low	内蔵バッテリが消耗しています。新しいバッテリと交換してください。
CMOS Checksum Bad	CMOSでエラーが検出されました。内蔵バッテリが消耗している可能性があります。バッテリが消耗している場合は、新しいバッテリに交換してください。または、CMOSの内容をリセットし、手動で工場出荷状態に設定してください。
CMOS Date/Time Not Set	CMOSに保存されている日付／時間が正しくありません。正常な日付／時間に設定してください。
CMOS Settings Wrong	CMOSに保存されていた内容が壊れている可能性があります。CMOSの内容をリセットし手動で工場出荷状態に設定してください。
DMA Error	DMAコントローラでエラーが発生しました。メインボードが壊れている可能性があります。
FDC Failure	フロッピーディスクコントローラでエラーが発生しました。メインボードが壊れている可能性があります。
GA20 Error	システムメモリのテスト中にプロテクトモードにてエラーが発生しました。システムメモリが壊れている可能性があります。
HDC Failure	ハードディスクコントローラでエラーが発生しました。メインボードが壊れている可能性があります。
Keyboard Error	キーボードを認識できません。キーボードのケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、起動中にキーを押さないでください。
KB/Interface Error	キーボードを認識できません。キーボードのケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、起動中にキーを押さないでください。
Memory Size Changed	前回起動したときと、メモリの容量が異なります。もしメインメモリの追加や交換を行っていなければ、メモリが壊れている可能性があります。
No Boot Device Available	システムを起動する装置が見つかりません。フロッピーディスクドライブから起動する場合は、システムの入ったフロッピーディスクをセットしEnterキーを押してください。ハードディスクドライブから起動する場合は、システムが正しくインストールされているか、また、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。
Off Board Parity Error	PCIカードが正しく取り付けられているか確認してください。

エラーメッセージ	説　明
Pri Master Drive-ATAPI Incompatible Pri Slave Drive-ATAPI Incompatible Sec Master Drive-ATAPI Incompatible Sec Slave Drive-ATAPI Incompatible	ドライブ装置を正しく認識できません。BIOSセットアップでドライブ装置の設定が正しく行われているかどうか確認してください。また、ドライブ装置が正しく接続されているかどうか、ケーブル類が正しく接続されているかどうか確認してください。必要に応じてドライブ装置のジャンパ設定が正しく行われているかどうか確認してください。
Pri Master HDD Error Pri Slave HDD Error Sec Master HDD Error Sec Slave HDD Error	ハードディスクドライブを正しく認識できません。ハードディスクドライブが正しく接続されているか、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。現象が変わらない場合にはハードディスクドライブが壊れている可能性があります。
Serial presence detect (SPD) device data missing or inconclusive. Do you wish to boot at 100MHz bus speed? [Y/N]	メインメモリの転送速度情報を読めません。メモリが壊れているか、本製品に使用できないメモリが装着されています。
Timer Error	システムタイマにエラーが発生しました。メインボードが壊れている可能性があります。

④ 技術基準適合について

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波対策について

本装置は「高調波ガイドライン適合品」です。

レーザー製品の取り扱いについて

・本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、説明書をよくお読みください。また、お読みいただいた後も必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに依頼してください。
・本説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
・レーザー光に直接被爆しないため、絶対に製品を分解しないでください。

クラス１レーザー製品

仕様について

お願い

・本製品の仕様は国内向けになっております。海外ではご使用にならないでください。

製品寿命について

●本製品の内蔵バッテリの寿命は約３年です（使用環境や保管状態により、満たされない場合があります）。

トラブルチェックシート

円滑に対応させていただくために、お問い合わせの前に下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせください。
東芝 PC ダイヤル（巻末参照）にお問い合わせの際には「お客様登録番号」をお伺いしております。あらかじめ「お客様登録（ユーザ登録）」いただきますようお願い申し上げます。

Q.1 ご使用になっているパソコン名（型名）は？（本書表紙に表記）

機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保証書などで以下を確認してください。

（製造番号：＿＿＿＿＿＿、購入店：＿＿＿＿＿＿＿＿、購入日：＿＿＿＿＿＿など）

Q.2 ご使用になっているソフトウェア環境は？

Windows® XP・Windows® 2000 など、お使いのシステムとアプリケーションをお知らせください

OS（システム）名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

その他：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Q.3 どのような症状が起こりましたか？

症状：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Q.4 その症状はどの様な操作をした後、発生するようになりましたか？

操作内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Q.5 エラーメッセージなどは表示されましたか？

表示内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Q.6 その症状はどれくらいの頻度で発生しますか？

□一度発生したが、その後発生しない

□電源を切らないと発生するが、電源を切って再起動すれば発生しない

□電源を切ってから再起動しても必ず発生する

□その他：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Q.7 その症状が発生するのは決まった操作の後ですか？

□ある一定の操作をすると発生する

□どんな操作をしても発生する

□その他：_____

Q.8 インターネットや通信に関するご相談の場合

プロバイダ名：_____

使用モデム名：_____

使用回線：□内線発信アリ　□マイライン契約アリ　□携帯
□DSL／ケーブルTV　□ISDN

Q.9 お問い合わせの内容が周辺機器の場合

機器名（製品名）：_____

メーカー名：_____

オペレーティングシステムのバージョンやCPUの種類については、「東芝PC診断ツール」の［基本情報の表示］ボタンをクリックしてご確認ください。